

Open-Base II 操作マニュアル

Ver. 6.1
2017/09/01

neo *GIS*

目次

1	はじめに.....	5
1-1	GIS基本用語.....	5
1-2	図形と属性の関係.....	6
2	システムの機能一覧.....	7
3	ログイン画面.....	11
4	初期画面.....	12
5	GIS基本機能.....	13
5-1	地図の拡大／縮小.....	13
5-2	地図の移動.....	14
5-3	地図の計測.....	15
6	図面切り替え.....	17
6-1	図面切り替え.....	17
6-2	2画面表示.....	18
6-3	写真図.....	18
6-4	背景地図（タイル画像）.....	19
6-5	背景レイヤ（WMS 画像）.....	21
7	地物の参照.....	22
7-1	吹き出し.....	23
7-2	単票.....	24
7-3	単票（複数から）.....	25
7-4	まとめて表示.....	26
7-5	添付ファイル参照.....	27
7-6	地物更新.....	28
7-7	地物登録.....	29
8	地物の検索.....	30
8-1	地物検索.....	30
8-2	住所検索.....	31
8-3	座標（緯度、経度）検索.....	32
9	地物の情報一覧.....	34
9-1	属性一覧.....	34
9-1-1	図面表示.....	34
9-1-2	属性表示.....	35
9-1-3	属性更新.....	35
9-1-4	リンク設定.....	35
9-1-5	リンク解除.....	36
9-1-6	図形入力.....	36
9-2	検索、表示.....	37
9-2-1	項目選択.....	37
9-2-2	並び替え.....	37
9-2-3	条件検索.....	38
9-2-4	コード変換.....	40
9-3	絞り込み（全文検索）.....	40
9-4	強調表示.....	41
9-5	選択表示.....	42
9-6	CSV 作成.....	43

1 0	地物の絞り込み.....	44
10-1	領域制限.....	45
10-2	図形選択制限.....	49
10-3	地図表示制限.....	51
1 1	印刷.....	52
11-1	ラスト印刷とSVG印刷.....	52
11-2	標準印刷.....	53
11-3	分割印刷.....	55
11-4	レイアウト印刷.....	57
11-4-1	印刷設定可能な情報.....	57
11-4-2	レイアウト可能な項目.....	57
1 2	凡例.....	61
1 3	レイヤON/OFF.....	62
1 4	レイヤグループ管理.....	63
14-1	操作メニュー説明.....	63
14-2	レイヤグループの追加.....	64
14-3	レイヤグループの削除.....	64
14-4	レイヤグループへのレイヤ登録.....	65
14-5	レイヤグループからのレイヤ削除.....	66
1 5	位置情報.....	67
1 6	データ切り出し.....	68
1 7	地物の登録.....	71
17-1	地物の登録、作図、図形編集の関係.....	71
17-2	ポリゴン登録.....	72
17-3	ポリゴン修正.....	74
17-4	ポリゴン削除.....	75
17-5	ライン登録.....	76
17-6	ライン修正.....	78
17-7	ライン削除.....	79
17-8	シンボル登録.....	80
17-9	シンボル修正.....	82
17-10	シンボル削除.....	83
1 8	作図.....	84
18-1	作図機能.....	84
18-2	表示.....	85
18-3	入力.....	86
18-3-1	点入力.....	86
18-3-2	線入力.....	89
18-3-3	面入力.....	90
18-4	編集.....	92
18-4-1	点編集.....	92
18-4-2	線編集.....	93
18-4-3	面編集.....	94
18-4-4	添付画像.....	95
18-5	移動.....	96
18-5-1	点移動.....	96
18-5-2	線移動.....	97
18-5-3	面移動.....	98

18-6	レイヤ管理.....	99
18-7	ダウンロード.....	100
18-8	アップロード.....	101
19	図形編集.....	102
19-1	ポリゴン編集.....	103
19-2	ライン編集.....	110
19-3	ポイント編集.....	110
19-4	新規図形の入力.....	111
19-5	図形の移動.....	111
19-6	図形の回転.....	111
19-7	図形の拡大・縮小.....	112
19-8	図形の結合.....	112
19-9	図形の分割.....	113
19-10	図形の接触.....	115
19-11	共有点の移動.....	116
19-12	共有線分の修正.....	117
19-13	図形の削除.....	118
19-14	変更の取消.....	118
19-15	全変更の取消.....	118
19-16	変更内容の保存.....	118
20	登録図面.....	119
20-1	レイヤ設定.....	121
20-1-1	ポリゴン設定.....	122
20-1-2	ライン設定.....	124
20-1-3	シンボル設定.....	126
20-1-4	パターン/ライン/シンボル/カラー.....	128
20-2	図面登録 《ランク》.....	129
20-2-1	ランク設定.....	129
20-2-2	テンプレート作成.....	131
20-2-3	ランク表示と null、空白.....	132
20-2-4	複合ランク.....	133
20-3	属性表示.....	134
20-3-1	設定手順.....	134
20-3-2	オプション、その他.....	135
20-4	ラスター設定.....	137
20-5	属性制限設定.....	138
20-6	領域制限設定.....	140
20-7	印刷設定.....	143
20-8	索引図用登録.....	143
20-9	図面一覧の並び替え.....	144
21	ユーザ管理.....	145
22	グラフ表示.....	146
22-1	円グラフ.....	147
22-2	棒グラフ.....	149
22-3	積み上げ棒グラフ.....	151

1 はじめに

Open-Base II の操作説明の前に、GIS (Geographic Information System : 地図情報システム) に関する用語、扱うデータの関係等の概要を説明します。

1-1 GIS基本用語

属性：通常のデータベースで扱う文字・数値情報を意味します。
図形データに対して「属性」と呼びます。

テーブル：

属性データの集合の呼び方。

- 例) 顧客テーブル (顧客マスタのテーブル)
- 目標物テーブル (目標物マスタのテーブル)
- 路線テーブル (路線マスタのテーブル)
- 駐車場テーブル (駐車場マスタのテーブル)

図形：GISで扱う図形情報 (点、線、面) を属性データに対して「図形」と呼びます。
図形はそれぞれ以下のように呼ばれます。

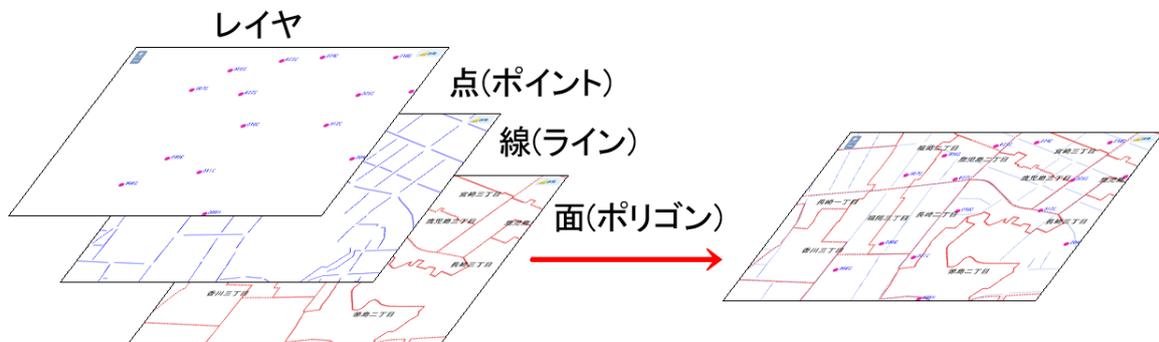
- 点 ポイント
- 線 ライン
- 面 ポリゴン

レイヤ：GISで扱う図形データの集合の呼び方。

- 例) 目標物レイヤ (目標物マスタのそれぞれの位置を表す点データ)
- 路線レイヤ (路線マスタのそれぞれの位置を表す線データ)
- 駐車場レイヤ (駐車場マスタのそれぞれの位置を表す面データ)

リンク：属性と図形 (テーブルとレイヤ) が紐付けられていることを、リンクしていると言います。

- 例) 目標物テーブルと目標物レイヤはリンクしている。
- 路線テーブルと路線レイヤはリンクしている。
- 駐車場テーブルと駐車場レイヤはリンクしている。



地物：GISで管理する対象です。通常は図形と属性を対で管理します。

- (例) 顧客 (顧客マスタと所在地ポイント)
- 筆 (課税マスタと筆ポリゴン)

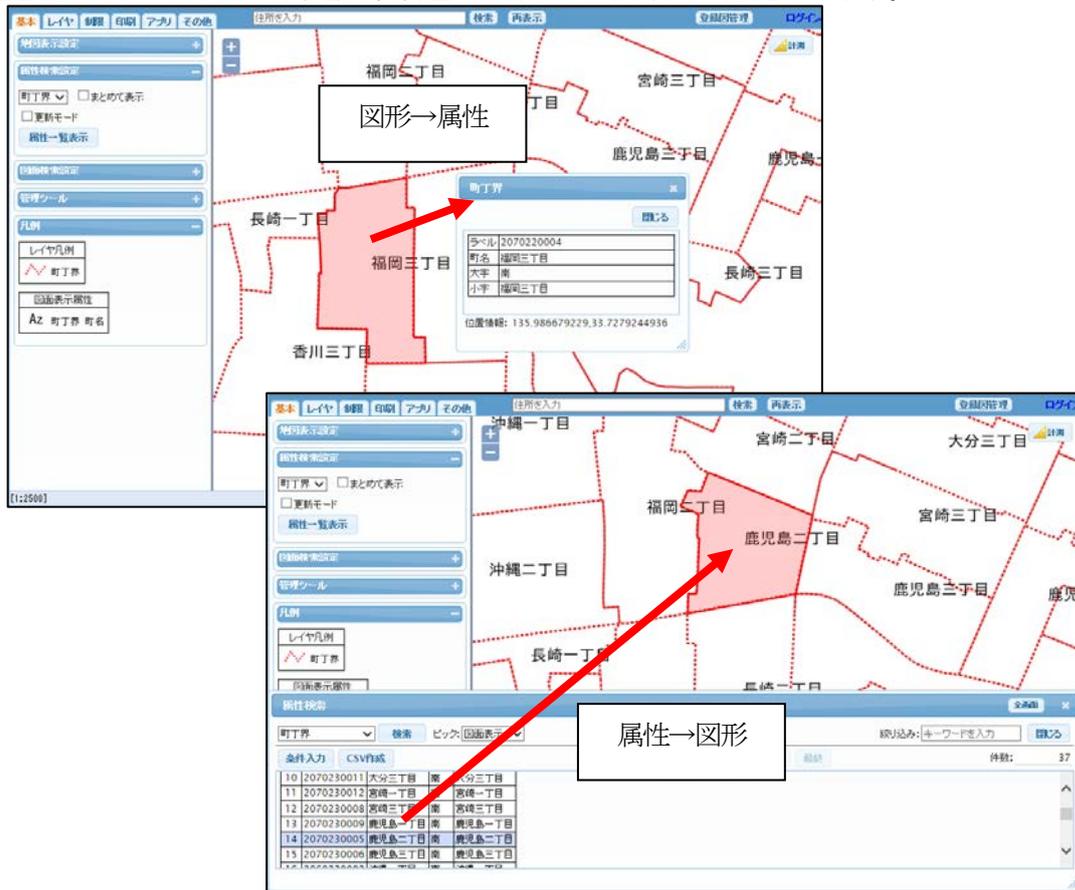
ピック：地物をマウスでクリックすることを、本マニュアルでは、「ピック」と呼びます。

リンク表示：

地物はその属性によって色分け表示したり、その属性によってシンボルを変えて表示することを、本マニュアルでは、リンク表示と呼びます。

1-2 図形と属性の関係

属性と図形がリンクしている場合は、属性 \longleftrightarrow 図形の呼び出しが可能となります。



図形と属性とのリンクは1対1または1対nです。

図形と属性のリンクは必須ではありません。

背景レイヤ等、図形のみで属性とリンクしていないレイヤも存在します。

宛名マスタ等、属性のみで図形とリンクしていないテーブルも存在します。

GISは、リンクした図形と属性のデータベースを扱う情報処理システムとなります。

2 システムの機能一覧

Open-Base IIは、大きく分けて以下の機能があります。

(注意) お客様のアプリケーション、環境によりすべての機能が実装されているわけではありません。

- GIS 基本機能 地図の拡大／縮小／移動を行ないます。
操作方法は「5 GIS 基本機能」を参照



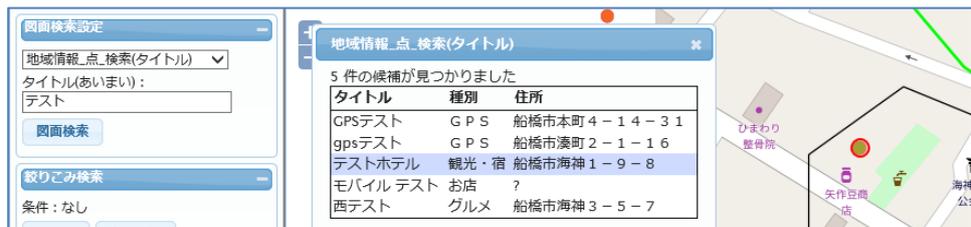
- 図面切り替え 図面の切り替えを行ないます。
操作方法は「6 図面切り替え」を参照



- 地物の参照 地物の情報（属性）表示を行ないます。
操作方法は「7 地物の参照」を参照



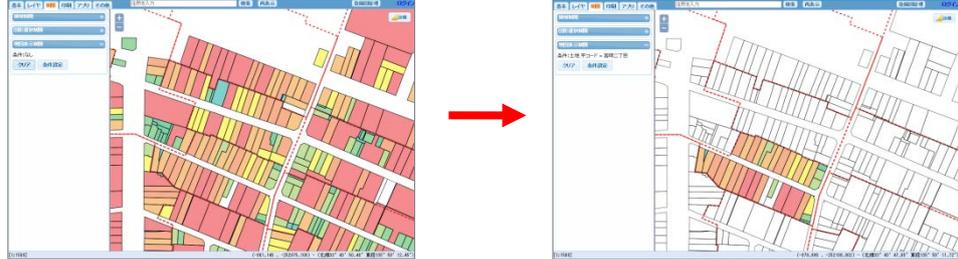
- 地物の検索 住所検索、地物の所在地検索を行います。
操作方法は「8 地物の検索」を参照



- 地物の情報一覧 地物の属性の一覧表示（検索、CSV出力、他）を行ないます。
操作方法は「9 地物の情報一覧」を参照



- 地物の絞り込み 表示する地物を属性の内容で絞り込みます。
操作方法は「11-5 属性制限設定」を参照



- 表示する地物をエリアで絞り込みます。
操作方法は「11-6 領域制限設定」を参照

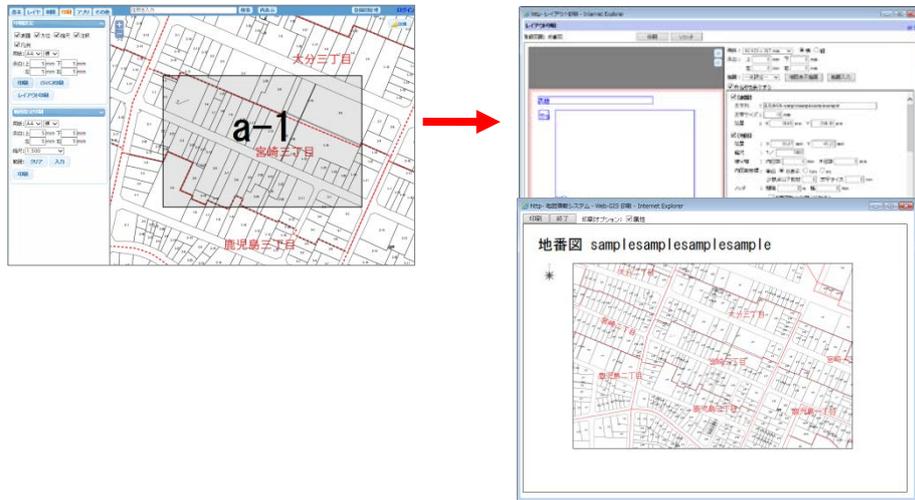


- 印刷

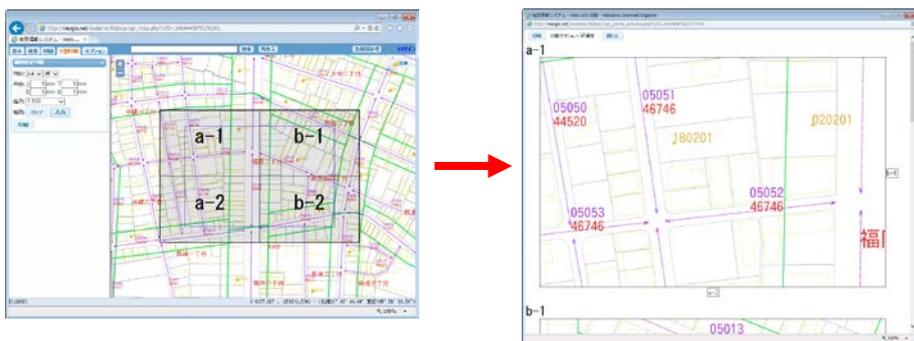
図面の印刷を行いません。
 操作方法は「11-2 標準印刷」を参照



任意のレイアウトで図面の印刷を行いません。
 操作方法は「11-4 レイアウト印刷」を参照



切り貼りして大きな紙地図を作成できる分割印刷を行いません。
 操作方法は「11-3 分割印刷」を参照

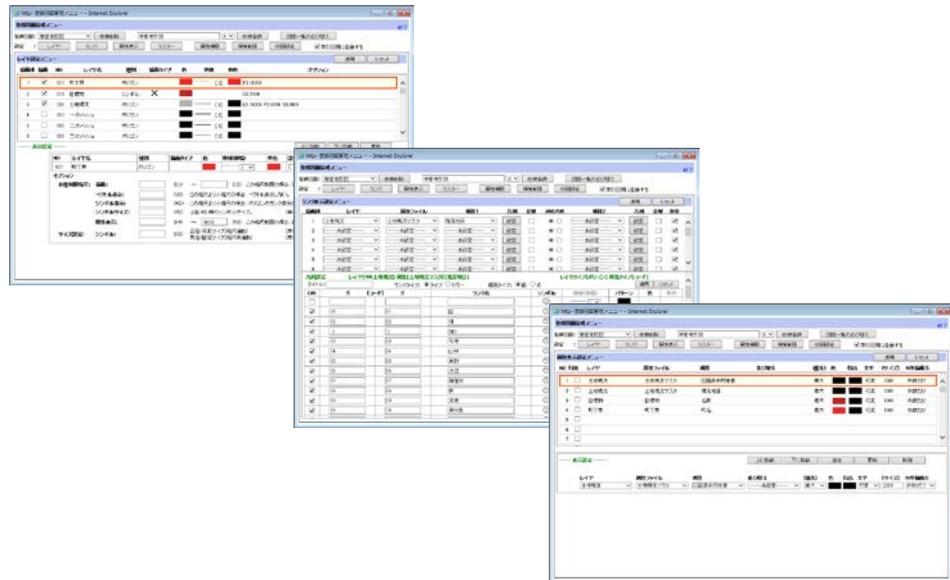


- 地物の登録
- 作図
- 図形編集

地物（図形、属性）を登録する機能です。
 お絵かき機能です。
 点、線、面のKMLを作成し、ダウンロード可能です。
 高度な図形編集機能です。

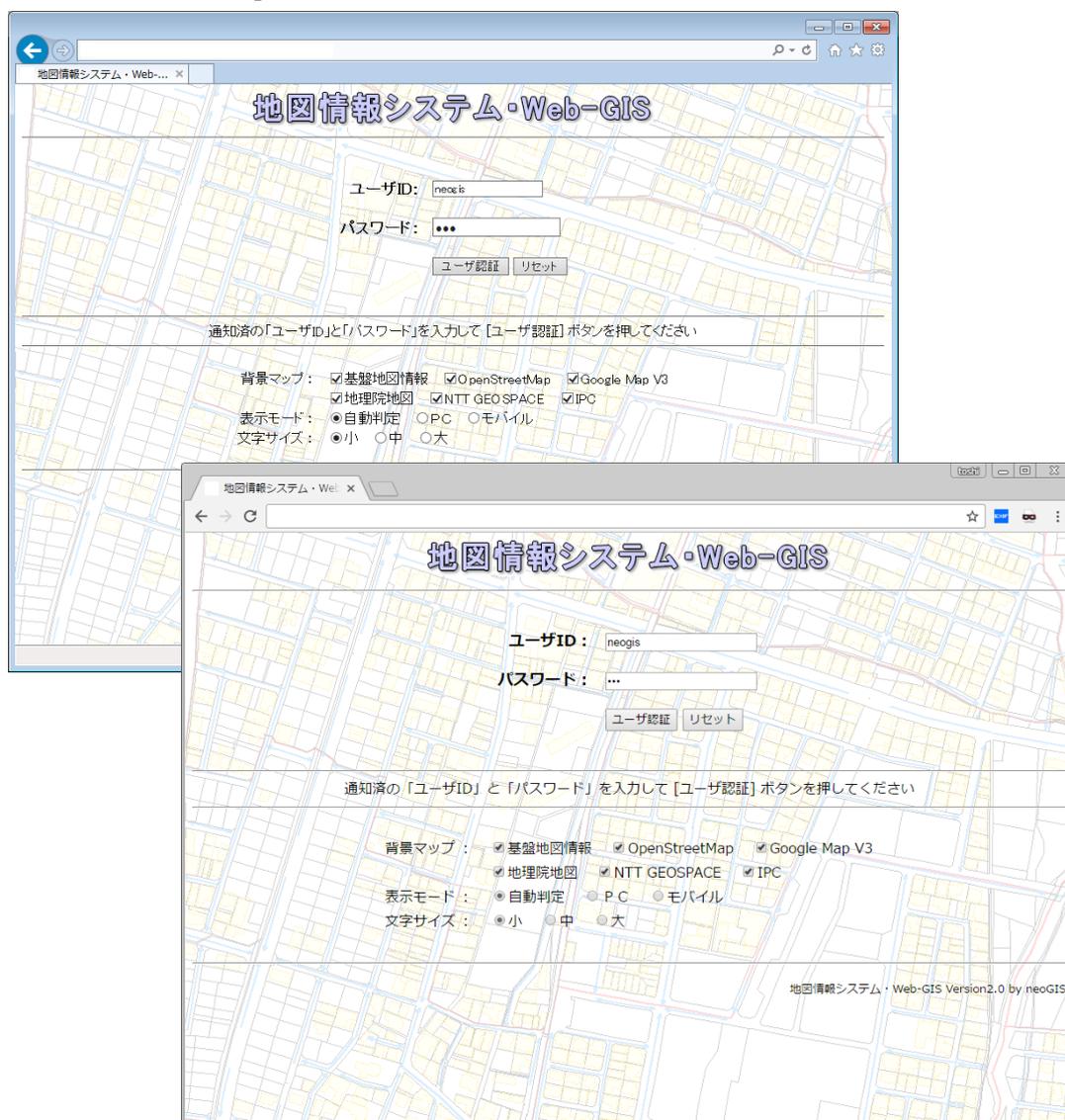
- 登録図面

表示する地物・表示方法(色塗り、シンボル表示等)を任意に設定可能です。
 設定した図面内容は、任意の名前で登録、呼び出し可能です。
 操作方法は「20 登録図面」を参照



3 ログイン画面

ブラウザのアドレスに、Open-Base IIの URL を入力します。



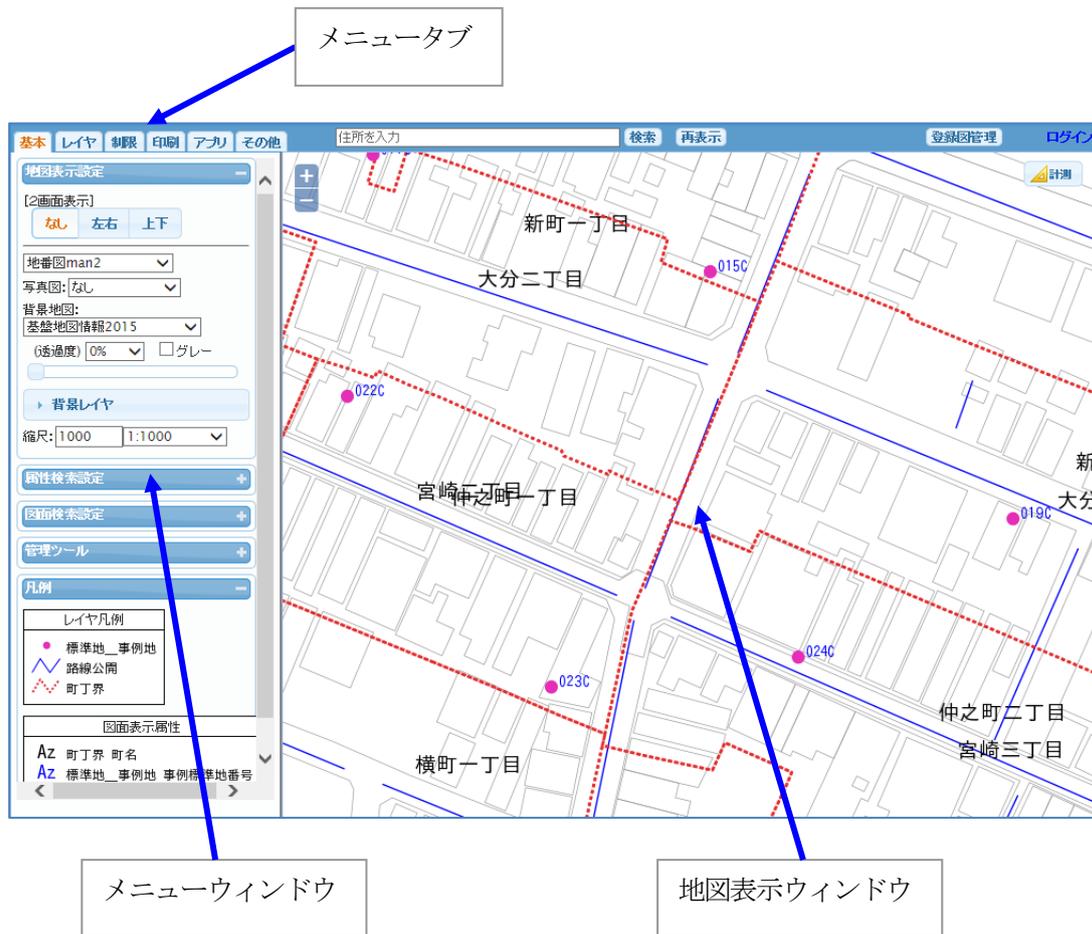
ログイン画面が表示されるので、通知済の「ユーザID」と「パスワード」を入力「ユーザ認証」ボタンをマウスでクリックします。

背景マップのチェックボックスは、後記の選択可能な「背景地図」と関連しています。

文字サイズは、ログイン後に表示される文字のサイズとなります。

4 初期画面

ログイン画面での認証が終わると、以下の初期画面が表示されます。



初期画面では、最初の登録図面が表示されます。

メニュータブ：

メニューウィンドウの切り替えを行います。

メニューウィンドウ：

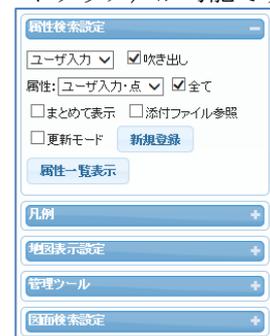
地図表示設定、属性検索設定、位置情報等の各種メニューが配置されています。

各グループは最小化と、表示順の入れ替え（タイトルバーのマウスドラッグ）が可能です。

地図表示ウィンドウ：

検索された図面が表示されます。

図面の属性表示でも使用します。

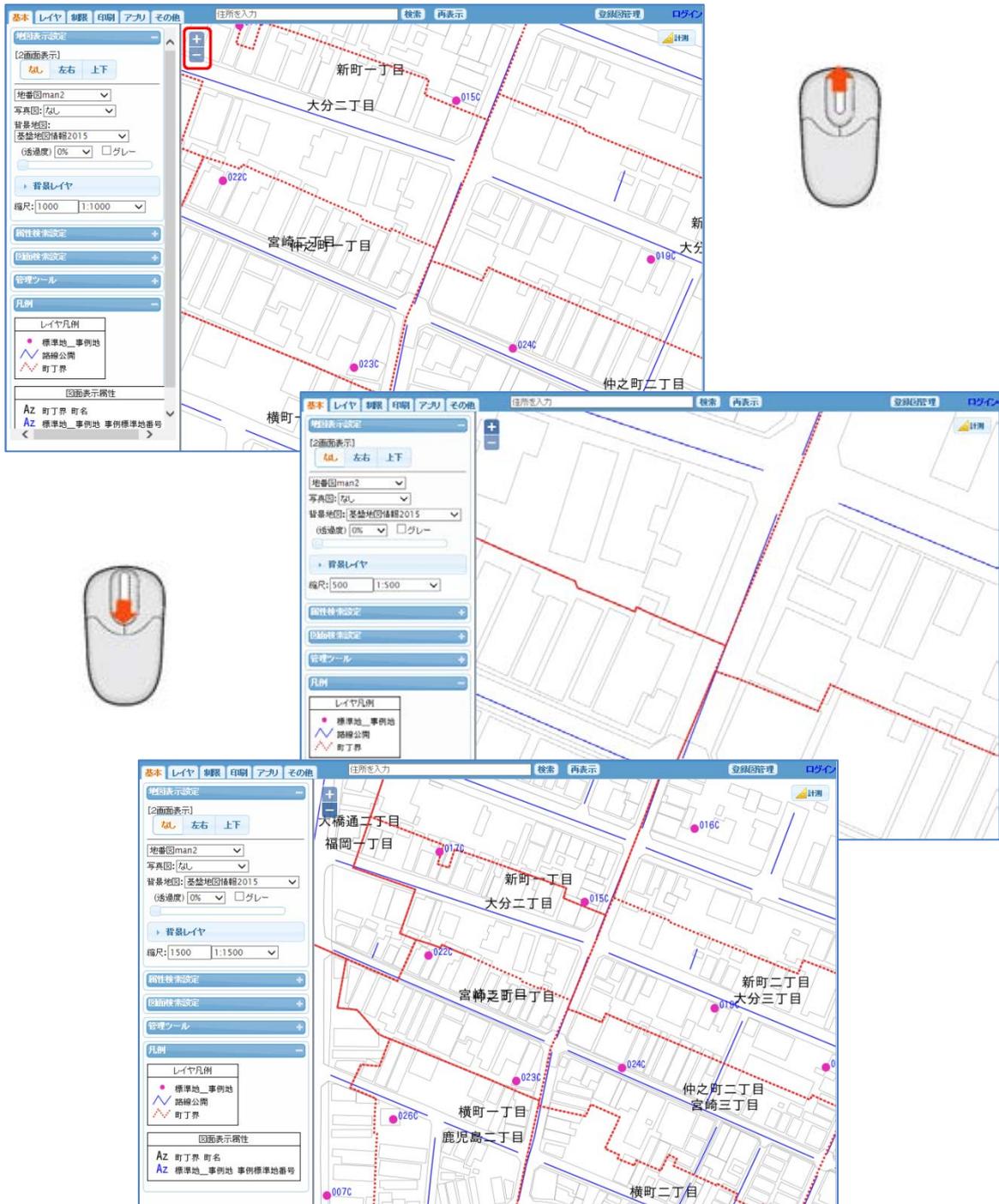


5 GIS 基本機能

地図の拡大／縮小／移動を行ないます。

5-1 地図の拡大／縮小

地図表示ウィンドウの左上の「+」クリック、もしくはマウスホイール上回転で地図の拡大を行ないます。
地図表示ウィンドウの左上の「-」クリック、もしくはマウスホイール下回転で地図の縮小を行ないます。

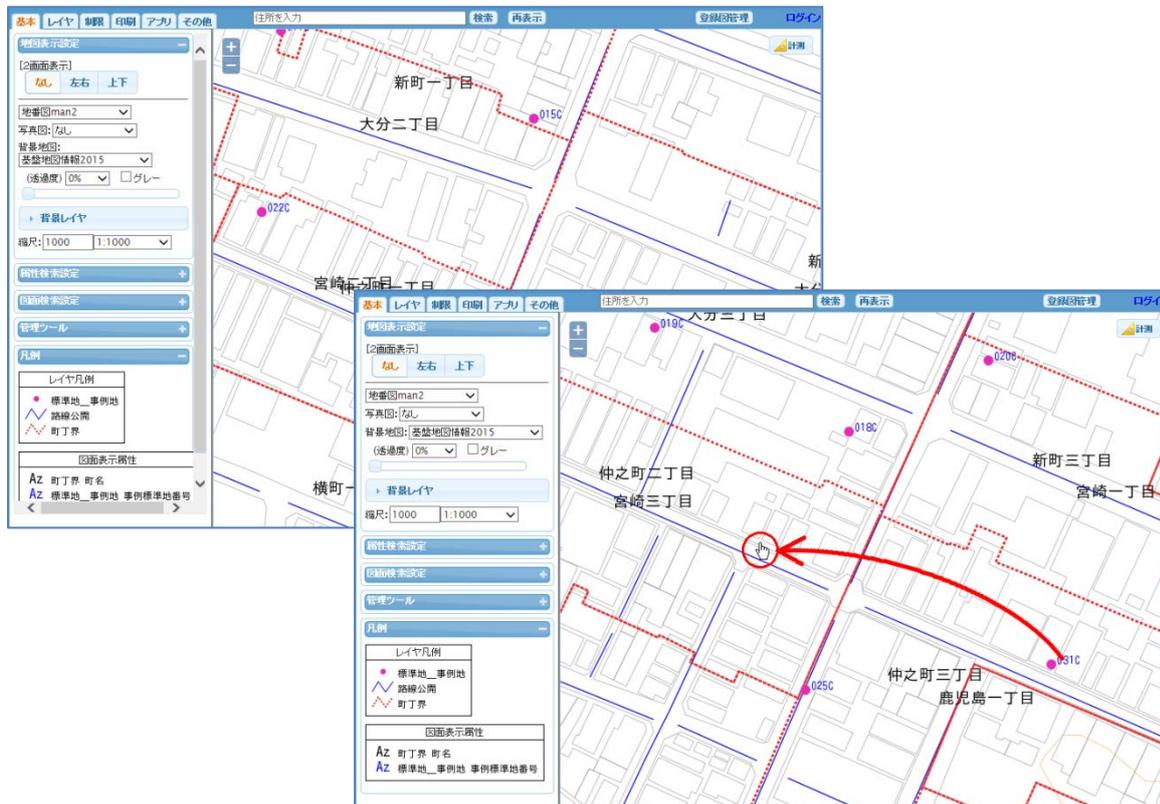


縮尺は背景地図「なし」の場合には「任意縮尺」が使用可能となります。
 後述の背景（タイル画像）を使用した場合には、縮尺は「レベル」表記となります。



5-2 地図の移動

地図表示ウィンドウ上で、マウスドラッグで地図の表示位置の移動を行ないます。



5-3 地図の計測

地図表示ウィンドウ内の「計測」ボタンをクリックして、「距離・面積計測」ウィンドウを表示します。



地図表示ウィンドウで、距離、面積、角度の計測が可能です。



距離計測

「距離」ボタンをクリック後、マウスで線を入力します。

入力終了はダブルクリックです。

ブラウザの左下にガイダンスが表示されます。

線入力 > 3点クリック: 終了



面積計測

「面積」ボタンをクリック後、マウスで領域を入力します。

入力終了はダブルクリックです。

ブラウザの左下にガイダンスが表示されます。

面入力 > ダブルクリック: 終了



角度計測

「角度」 ボタンをクリック後、
マウスで線分（3点）を入力します。

ブラウザの左下にガイダンスが表示されます。

線入力 > ダブルクリック: 終了

6 図面切り替え

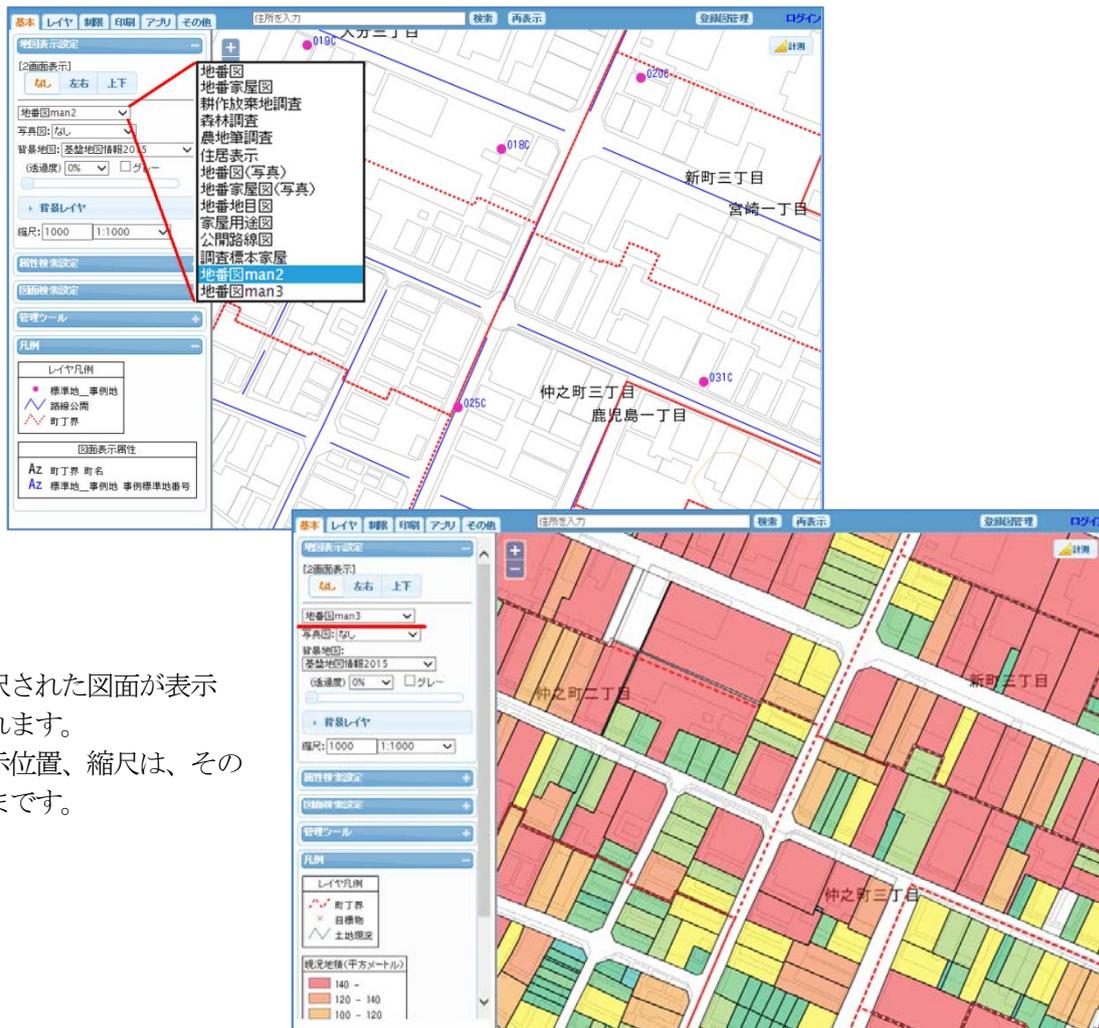
図面の切り替えを行ないます。

図面とは、表示する地物、表示方法（色、シンボル、パターン）、文字表示等をセットにして名前を付けたものです。

図面の登録、変更方法は、「20 登録図面」を参照願います。

6-1 図面切り替え

図面の一覧から図面を選択します。



選択された図面が表示されます。

表示位置、縮尺は、そのままです。

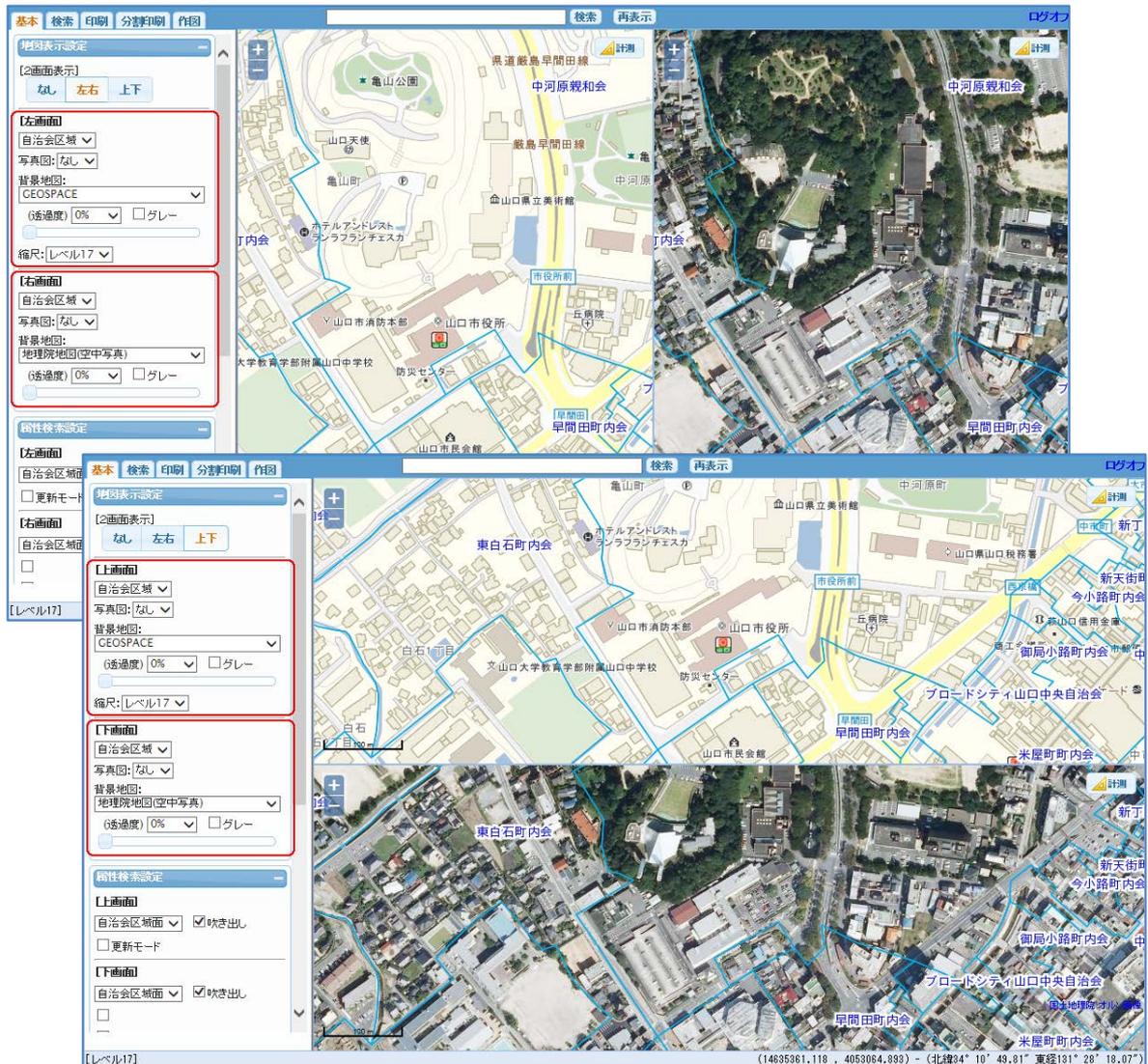
6-2 2画面表示

画面を2分割して表示します。

画面分割を「左右／上下」から選択します。

分割を中止する場合は、「なし」を選択します。

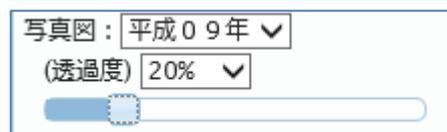
表示設定は、それぞれの画面に対して行うことができますが、拡大縮小・移動は、分割画面は連動して動作します。



6-3 写真図

航空写真等、座標付きイメージを、背景として重ねて表示可能です。

透過度の指定も可能です。



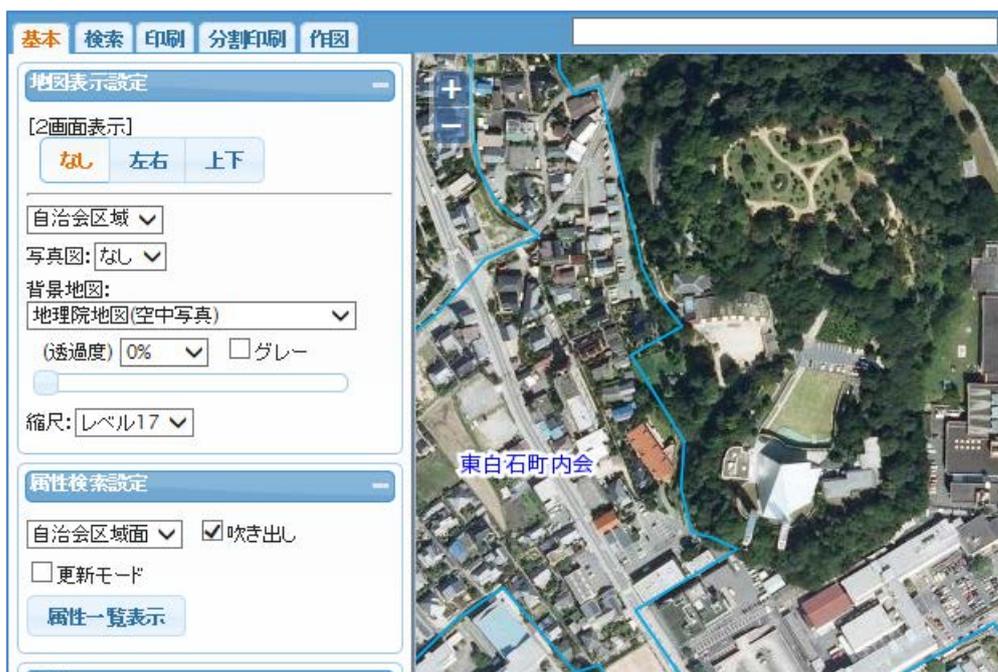
6-4 背景地図（タイル画像）

背景地図として、OpenStreetMap、地理院地図、Google マップ等のタイル画像を表示可能です。
背景地図は透過度の指定、グレースケール表示も可能です。
タイル画像の背景を使用した場合には、縮尺は「レベル」表記となります。

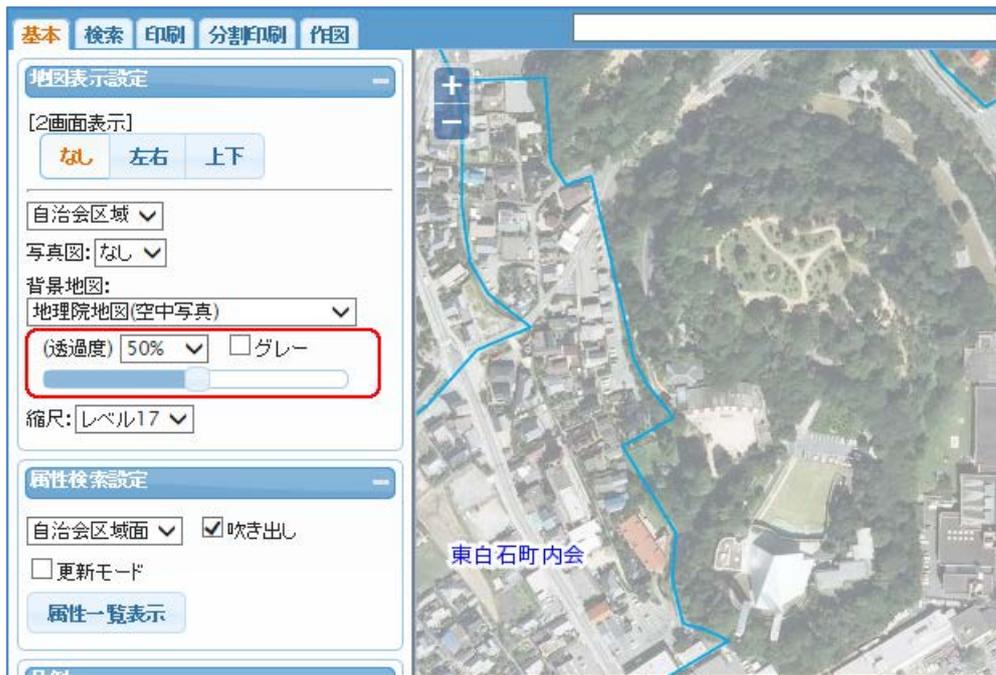
※タイル画像とは、特定縮尺ごとに画像を格子状に分割した画像群で、Web で使用される地図に多く用いられるものです。有償、無償があります。

有償： GEOSPACE CDS（NTT 空間情報(株)、Google マップ。。）

無償： OpenStreetMap、地理院地図



背景の透過度を変更



背景をグレースケールで表示



6-5 背景レイヤ (WMS 画像)

背景地図として、WMS 配信される地図画像を表示可能です。

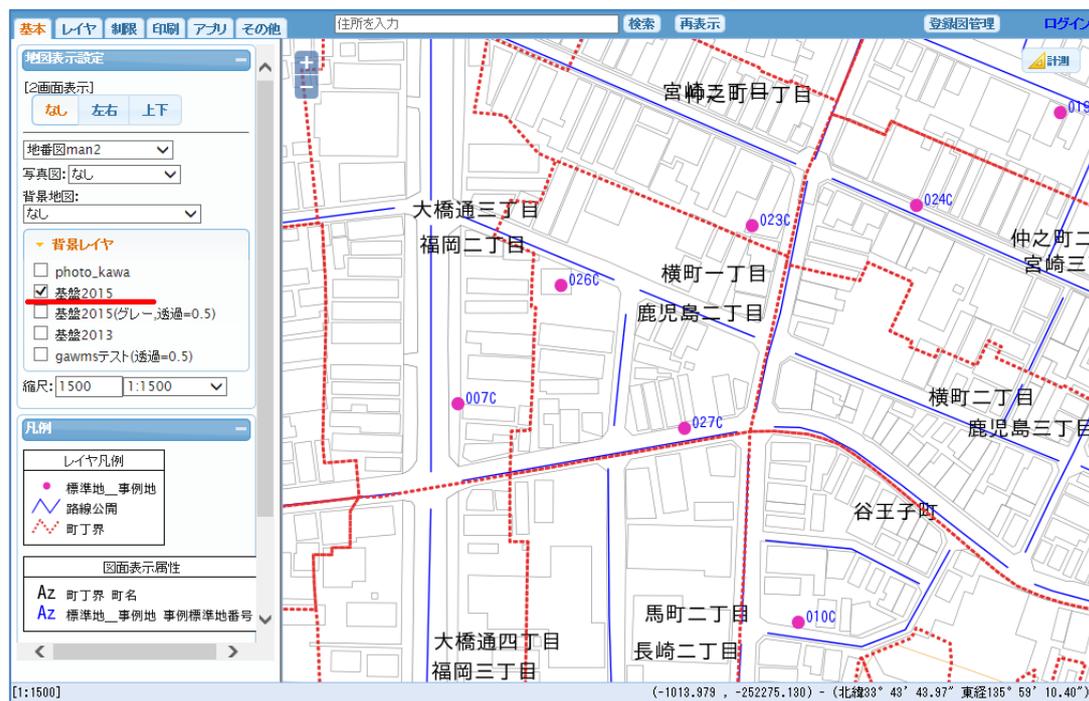
背景地図は透過度の指定、グレースケール表示も可能です。

WMS 画像の背景を使用した場合には、縮尺はタイル画像のように「レベル」表記に限定されません。

※WMS とは、タイル画像同様にクライアントからの要求に対して地図画像を配信するサービスですが、元々のベクトル地図を要求時に画像化して配信するために、任意の縮尺表示が可能となります。

サンプル

背景として WMS 基盤地図を表示

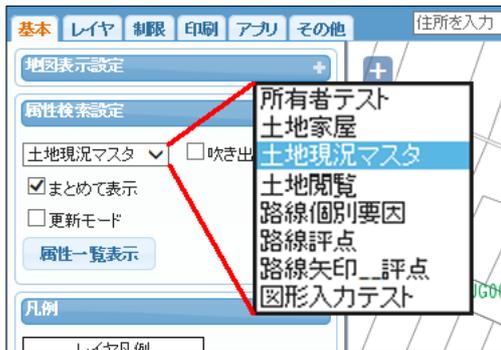


7 地物の参照

地物の情報（属性）の表示を行ないます。

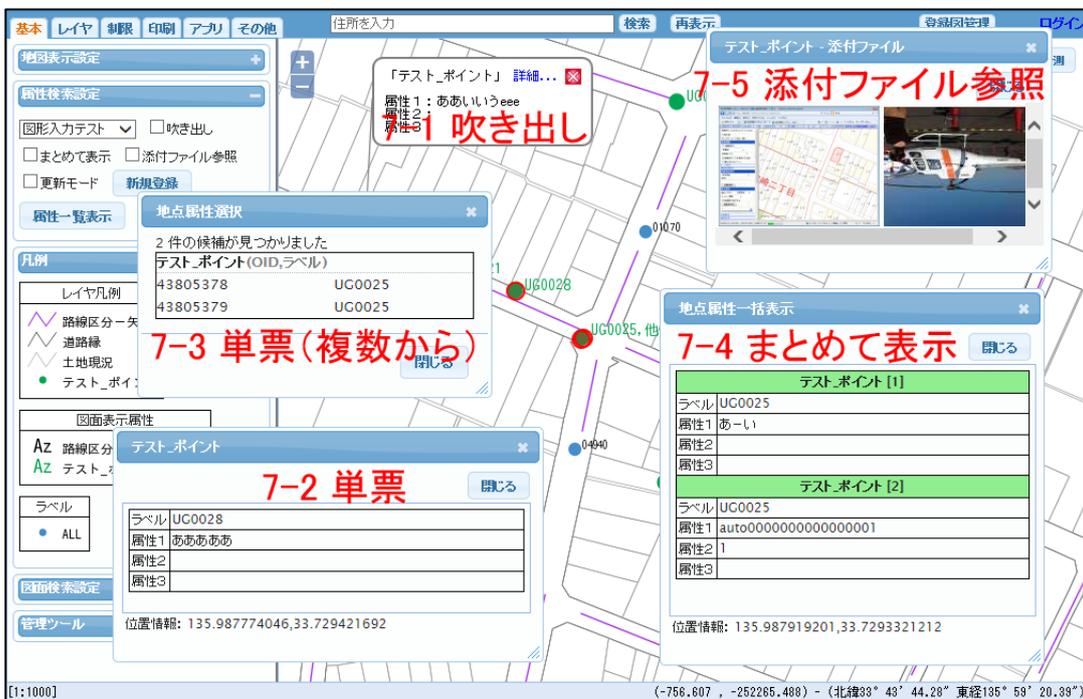
地図上に表示されている地物をマウスクリック(ピック)することにより情報が表示されます。

最初に、属性検索設定メニューで検索対象の属性ファイルを選択し、対象地物をピックします。



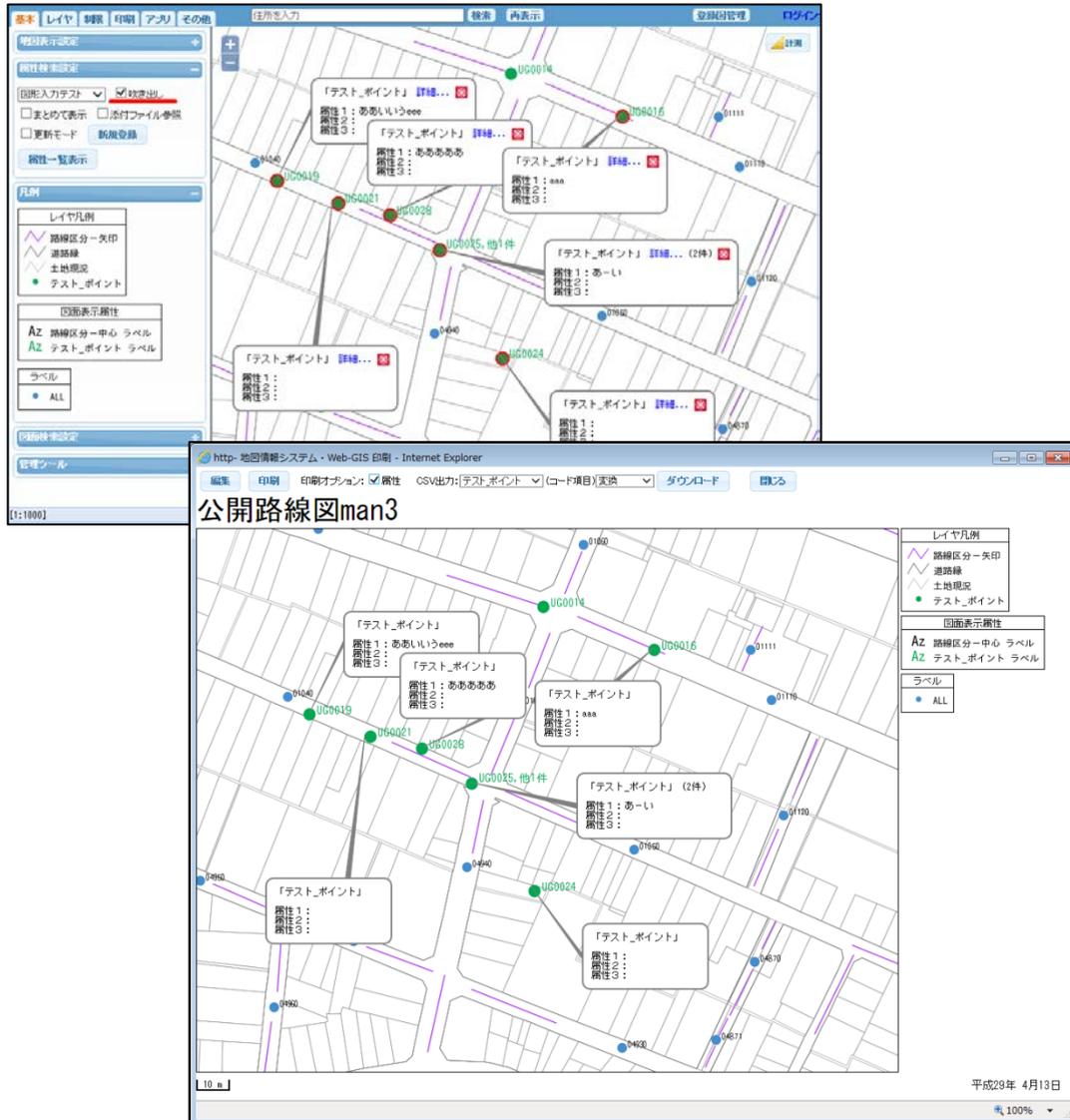
表示方法は以下の方法があります。

- 7-1 吹き出し
- 7-2 単票
- 7-3 単票（複数から）
- 7-4 まとめて表示
- 7-5 添付ファイル参照



7-1 吹き出し

「吹き出し」に☑が入っていると、マウスピックした地物の属性情報が吹き出し表示されます。吹き出しは複数表示可能で、重なる場合はマウスで移動可能です。吹き出しは、印刷も可能です。

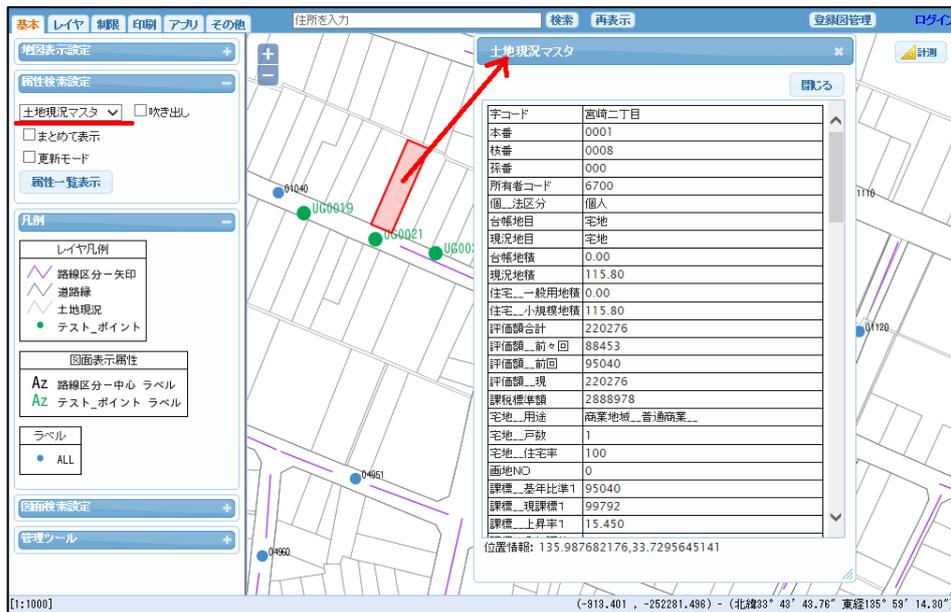
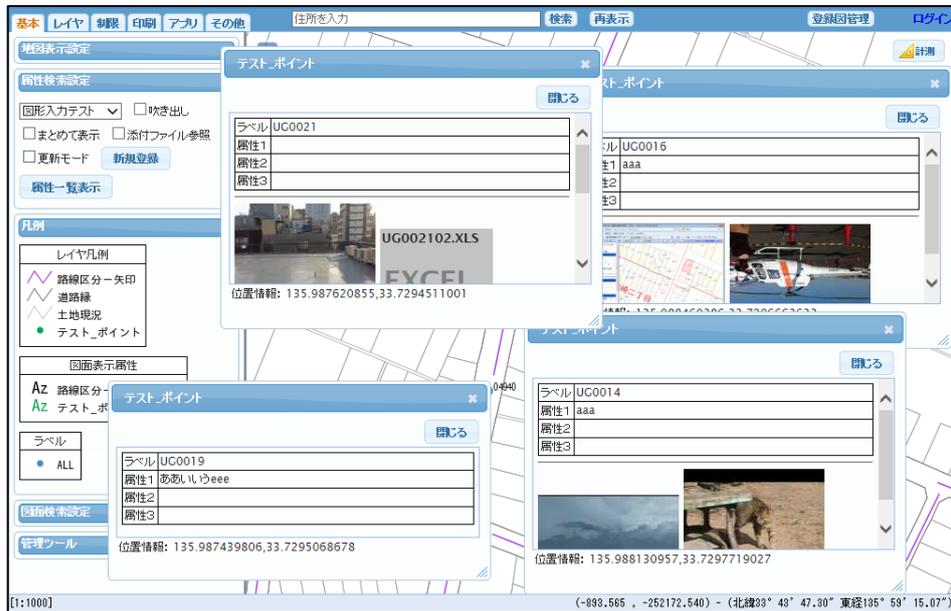


吹き出しの詳細クリックで「単票」表示が行われます。



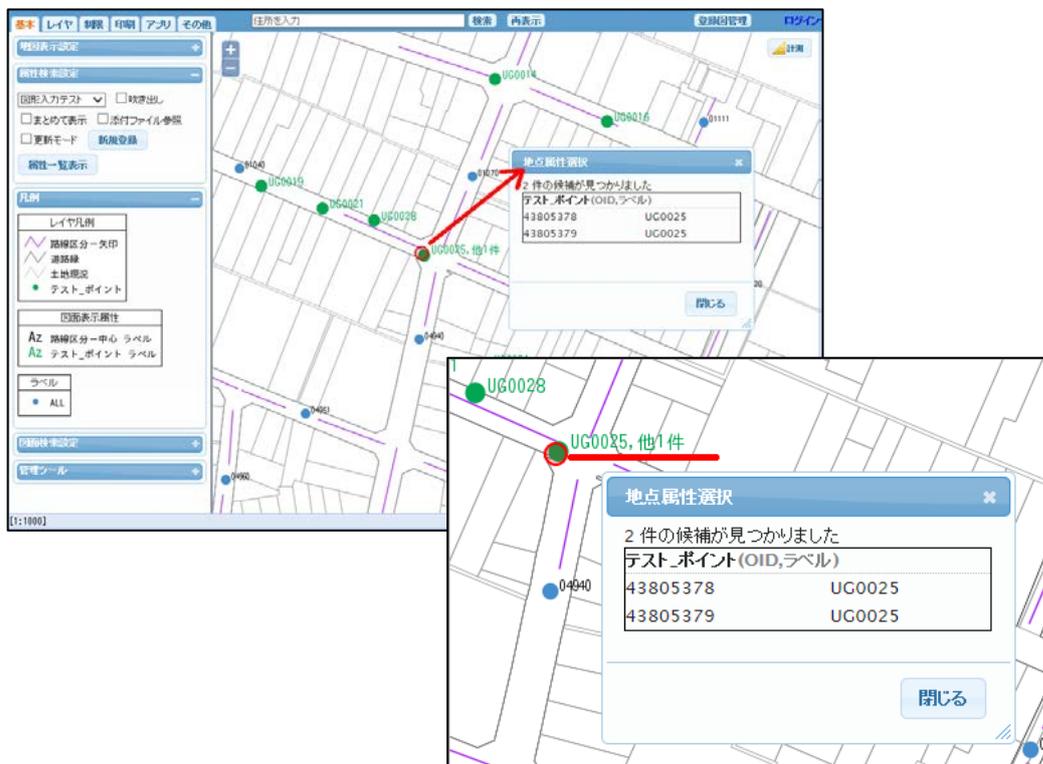
7-2 単票

「吹き出し」の☑を外すと、マウスピックした地物の属性情報が「単票」で表示されます。属性にファイルが添付されていると単票内で表示され、クリックで新規タブ表示が行われます。



7-3 単票（複数から）

複数の属性が登録された地物の場合、対象を選択するウィンドウが表示されます。

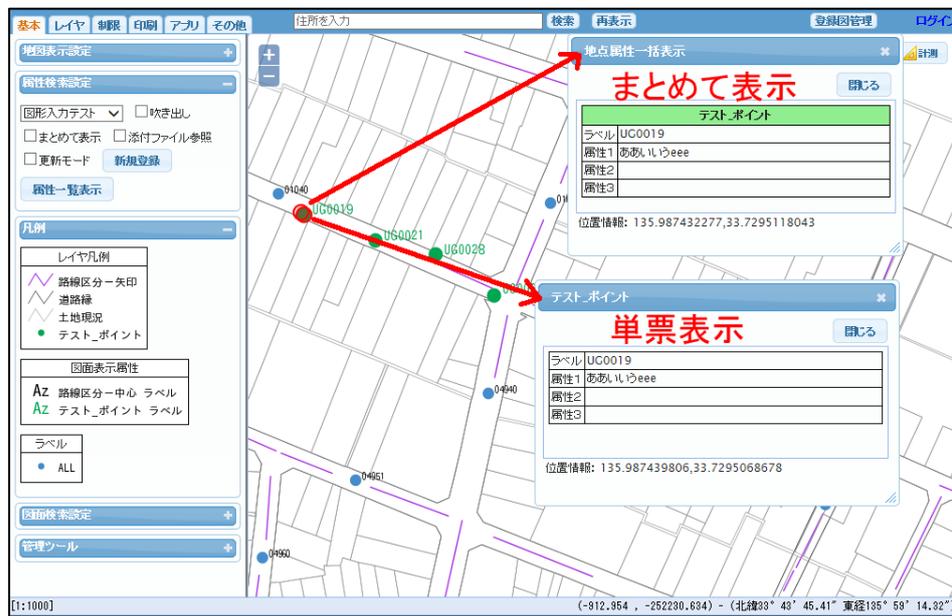


上記の場合、単票は選択した属性の表示を行ないますが、n件目の指定表示で別属性も表示可能です。



7-4 まとめて表示

図形に複数の属性が登録されている場合、「まとめて表示」に☑が入っていると、地物の属性情報が単票内に一括して表示されます。



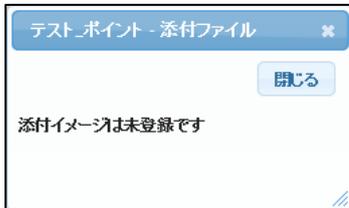
7-5 添付ファイル参照

「添付ファイル参照」に☑が入っていると、属性に添付ファイルがある場合、地図表示ウィンドウ上でマウスクリックすると、添付ファイルのみが表示されます。

「添付ファイル参照」の☑は、「吹き出し」と排他選択となっています。



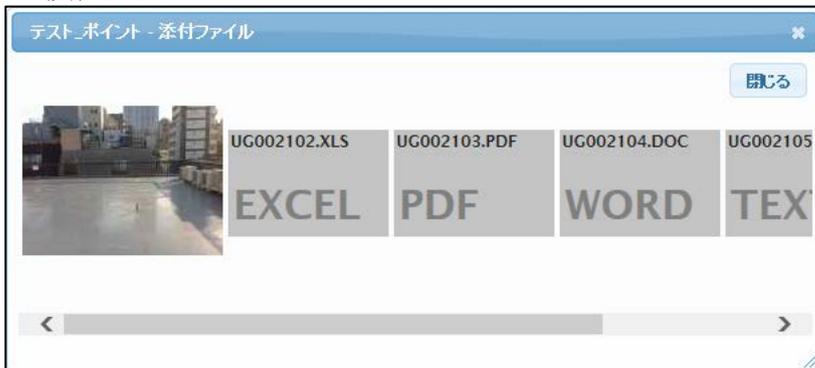
添付なし



添付あり



複数添付あり



7-6 地物更新

単票表示された属性情報は、「更新モード」に☑が入っていると「追加」「更新」「削除」が可能となります。
 ※ 地物の図形更新は、「17 地物の登録」を参照。



更新ウィンドウ

テストポイント	
追加	更新
削除	図形再入力
閉じる	
ラベル	UC0004
属性_文字	テスト
属性_数値	12345
属性_コード	02 属性B
登録者	neogis
登録日	2015-02-09
登録時間	17:19:10
経度	135.98761131600000
緯度	33.72996086820000
追加する添付ファイル: <input type="text"/> 参照...	
※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt	
位置情報: 135.987611316,33.7299608682	

文字、数値は、キーボードで入力します。

コード項目は、選択肢が表示されますので、マウスで選択入力可能です。

グレーアウトしている項目は、修正不可の項目です。

「参照」ボタンクリックで、添付するファイルを選択可能です。

「図形再入力」ボタンクリックで、図形の再入力も可能です。

「追加」ボタン:

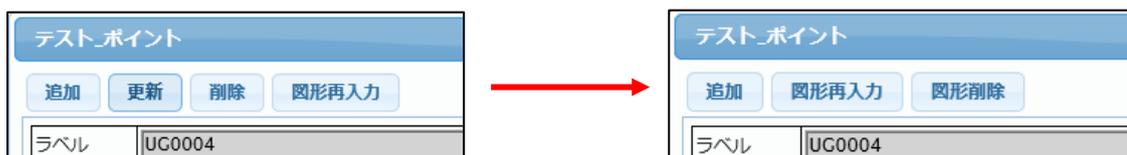
表示中の情報をコピーして、その地物に、レコードを追加します。この場合、一つの図形に複数の属性がリンクすることになります。



「更新」ボタン:

表示中の情報で、そのレコードを更新します。

「削除」ボタン： 地物の属性情報を削除します。
 図形と属性が1対1でリンクしている場合は、図形のみが残り、メニューが下図のように変わります。
 図形も削除する場合は、「図形削除」ボタンで削除します。
 図形と属性が1対n (nが2以上) の場合は、属性が1件削除されるのみで、メニューは下図のように変わりません。
 図形に対する属性が0件になった場合に、下図のメニューとなります。

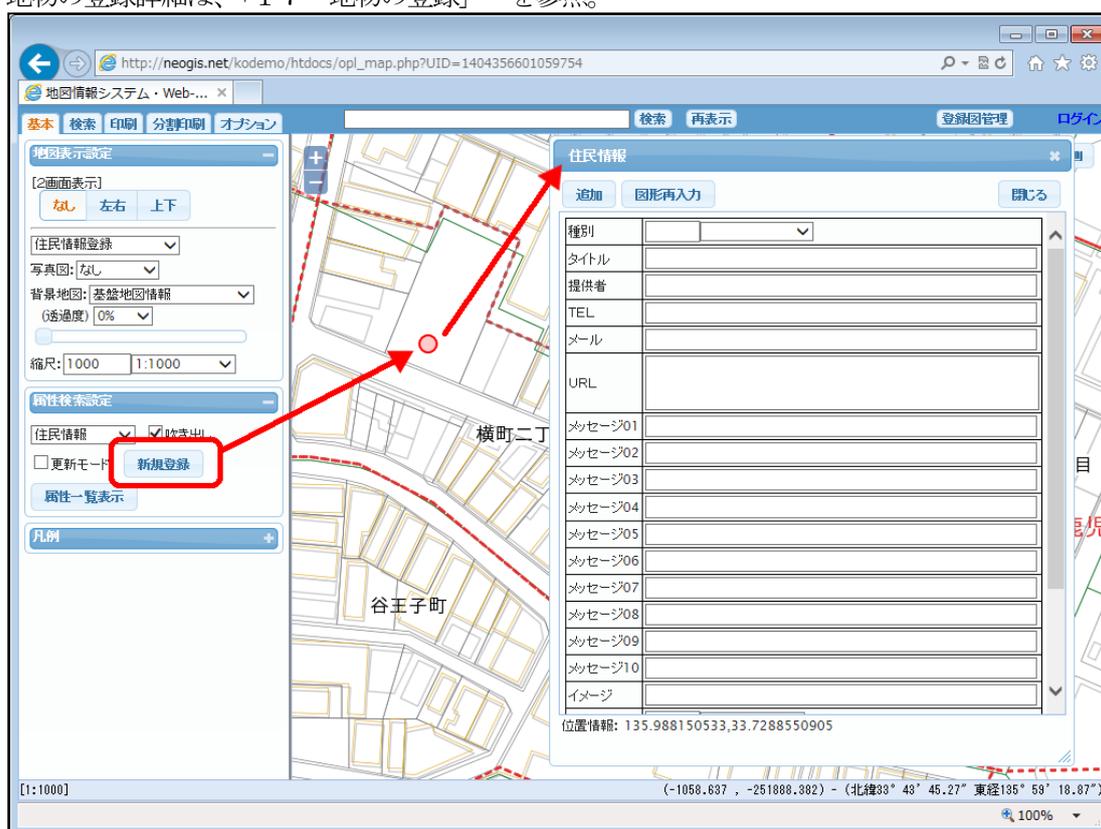


注意： お客様の環境により、最後の属性が削除された時点で、自動的に図形も削除される設定になっている場合もあります。

7-7 地物登録

属性検索設定から、「新規登録」クリック後、地図表示ウィンドウ上の任意のポイントをクリックし、属性の登録を行います。

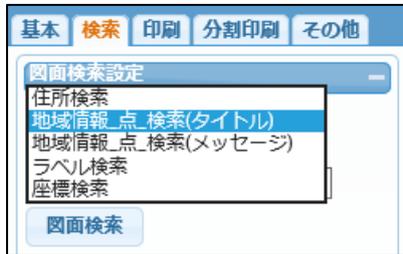
※ 地物の登録詳細は、「17 地物の登録」を参照。



地図表示ウィンドウへの図形入力方法は、(ポリゴン/ライン/シンボル) で異なります。

8 地物の検索

地物の検索には、地物の属性からの検索、住所検索、座標（緯度、経度）検索があります。その他、自治体等のお客様で、地番データを提供頂ける場合は地番検索も可能です。



8-1 地物検索

地物の属性によって、地物を直接検索することが可能です。管理している地物によりメニューが変わります。

下図は、地物のタイトルで検索しています。

例えば、“テスト”と入力して、「図面検索」ボタンをクリックすると、タイトルに“テスト”を含む候補一覧が表示されます。通常は「あいまい検索」の設定になっています。一覧から目的の地物を選択すると、その地物が地図検索され地図の中心に表示されます。

検索結果が1件の場合は、一覧の表示はなく、直接地図検索されます。



8-2 住所検索

住所で検索することも可能です。

この機能はウィンドウ上部にも用意されています。



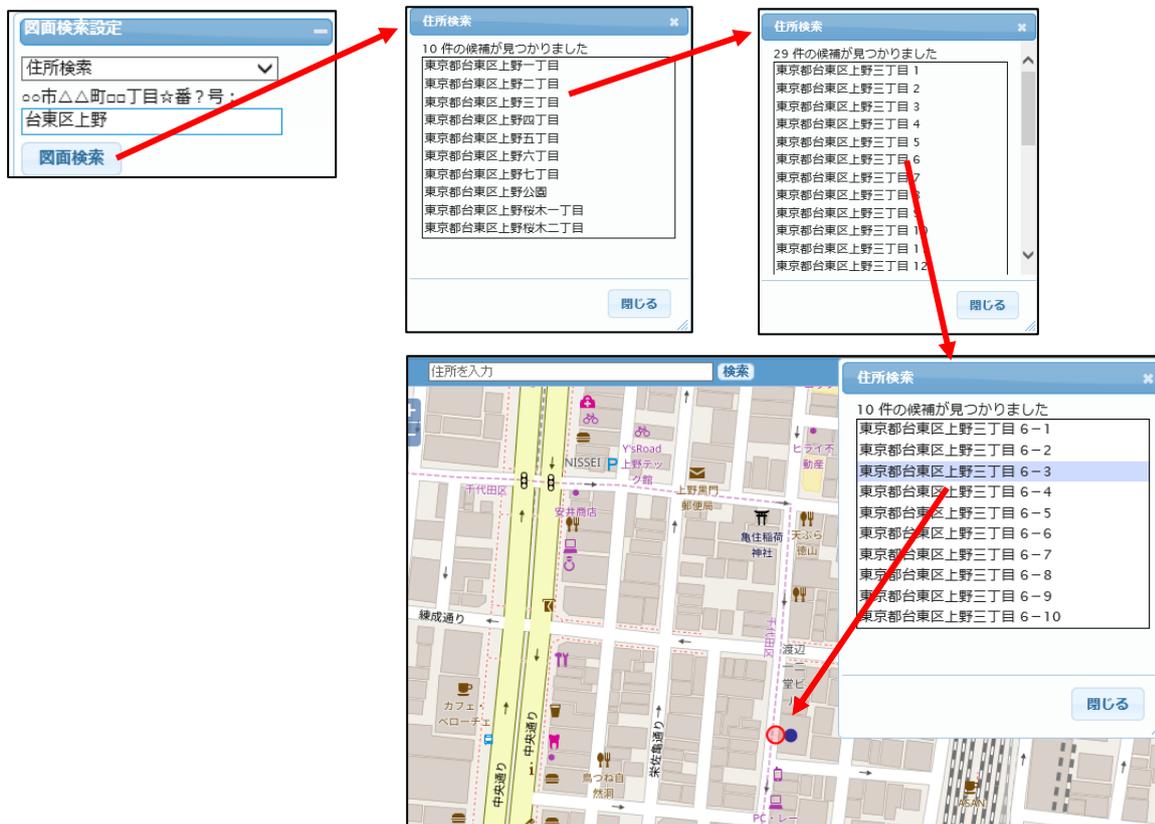
標準では、以下の住所データを使用しています。

- ・ 街区レベル位置参照情報
<http://nlftp.mlit.go.jp/isj/index.html>
- ・ 電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」
http://www.gsi.go.jp/kihonjohochousa/jukyo_jusho.html

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を複製したものである。

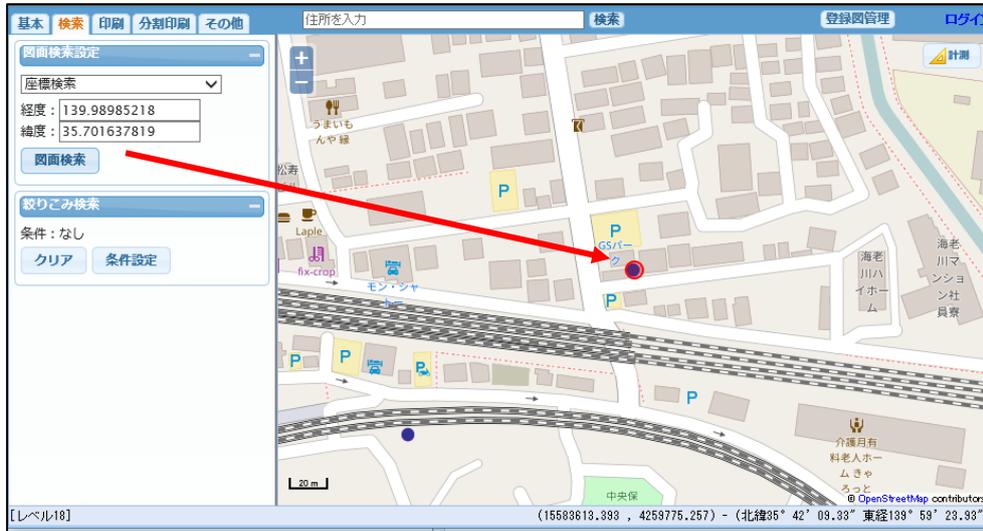
(承認番号 平 27 情複、第 110 号)」

例えば、“台東区上野”と入力して図面検索」ボタンをクリックすると、下図のように何丁目、何番、何号と順々に一覧が更新され、最後の号を選択すると、その住所が地図検索され地図の中心に表示されます。



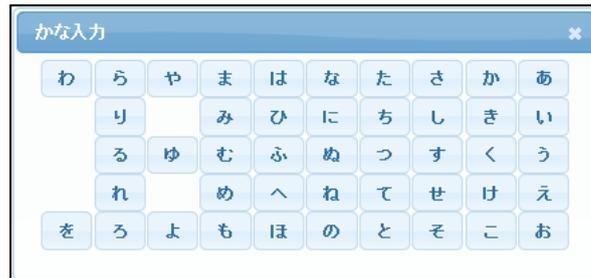
8-3 座標（緯度、経度）検索

緯度、経度の入力により、座標による検索も可能です。

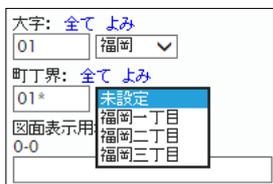


8-4 地番検索

自治体等のお客様で、地番データを提供頂ける場合は地番検索も可能です。



「よみ」を選択することで、選択リストが、その読みで始まる大字、小字に絞りこまれます。「全て」をクリックで、絞り込みは解除されます。



大字を選択すると、その大字内の小字リストが表示されます。

地番が既知の場合は、直接“1-1”等を入力し、「Enter」キー押下、または、「区画検索」ボタンのクリックで検索が開始され、見つければその地番が検索表示されます。

または、あいまい検索も使用可能です。

たとえば、“1*” と、アスタリスク (*) をつけて入力すると、地番が1で始まる一覧がポップアップ表示されますので、その中から対象の地番を選択すると、その地番が検索表示されます。リストは、最大100件までの表示となります。

The screenshot shows a software interface for land search. On the left is a '区画検索設定' (Block Search Settings) panel with the following fields:

- 土地・地番検索 (Land/Block Search): dropdown menu
- 大字: 全てよみ (Township: All Read): '01' in a text box, '福岡' (Fukuoka) in a dropdown
- 町丁界: 全てよみ (Block Boundary: All Read): '01*' in a text box, '未設定' (Not Set) in a dropdown
- 図面表示用地番: 0-0 (Map Display Block Number: 0-0): '1*' in a text box
- Buttons: '区画検索' (Block Search) and '名寄せ検索' (Name Merge Search)

On the right is a map showing a street grid with several blocks highlighted in purple and green. A '土地・地番検索' (Land/Block Search) popup window is overlaid on the map, displaying the following table:

12 件の候補が見つかりました (12 candidates found)

字コード	図面表示用地番	所有者コード	現況地目	現況地積
福岡二丁目	1-1	91	宅地	193.19
福岡二丁目	1-2	89	宅地	157.82
福岡二丁目	1-3	90	宅地	269.76
福岡二丁目	1-4	87	宅地	518.21
福岡二丁目	1-5	88	宅地	311.20
福岡三丁目	1-1	432	宅地	182.00
福岡三丁目	1-2	435	宅地	465.02
福岡三丁目	1-3	433	宅地	323.64
福岡三丁目	1-4	439	宅地	258.06
福岡三丁目	1-5	442	宅地	320.74
福岡三丁目	1-6	438	宅地	268.32

At the bottom right of the popup is a '閉じる' (Close) button.

9 地物の情報一覧

地物の属性の一覧を表示し、属性の検索、CSV出力等を行ないます。

これらの処理は、属性検索ウィンドウで行います。

属性検索設定メニューから「属性一覧表示」ボタンのクリックで、属性検索ウィンドウが起動します。

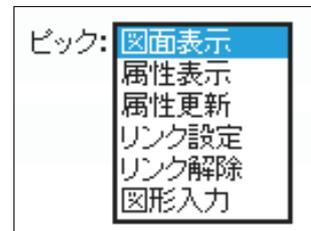
9-1 属性一覧

対象ファイルを選択し、「検索」ボタンクリックで一覧が表示されます。

属性の条件検索等、いろいろな機能がありますが、まずは、結果リストのレコード選択により実現している機能を説明します。

ピック：結果リストのレコードを選択したときの動作を指定します。

- 図面表示 : 選択レコードの図形を表示します。
- 属性表示 : 選択レコードを更新不可で単票表示します。
- 属性更新 : 選択レコードを更新可で単票表示します。
- リンク設定 : 選択レコードと図形をリンクします。
- リンク解除 : 選択レコードを図形のリンクを解除します。
- 図形入力 : 既存図形とのリンクではなく、新規に図形を作成しリンクします。



9-1-1 図面表示

検索リストをマウスで選択すると、その地物が地図上で検索表示されます。

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JR本才駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JR本才駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JR本才駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JR本才駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JR本才駅	855	JF

9-1-2 属性表示

検索リストをマウスで選択すると、その地物が単票表示されます。

The screenshot shows a GIS interface with a map on the left and a detailed attribute table on the right. A red arrow points from the selected row in the table to the corresponding road on the map.

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し

9-1-3 属性更新

検索リストをマウスで選択すると、その地物が更新モードで単票表示されます。

9-1-4 リンク設定

地物の属性を図形にリンクさせます。

地物の属性を他の図形にリンク変更する場合も使用します。

対象属性を一覧から選択し、リンクさせる図形をクリックすることによりリンクが行われます。

The screenshot shows a GIS interface with a map on the left and a table of attributes on the right. A red arrow points from a selected attribute in the table to a specific point on the map.

NO	ラベル	属性_文字	属性_数値	属性_コード	登録者	登録日	登録時間	経度	緯度
1	UC0001	Nmbbnnn		属性C	neogis	2014-06-13	13:56:23	135.98862556399999	33.72907506750000
2	UC0000	点検テスト	123.560	属性A	neogis	2013-08-31	16:05:40	135.98794233800001	33.72974349180000
3	UC0002	ああああああ		属性A	neogis	2014-10-15	16:42:02	139.87696576977100	35.82882809222990
4	UC0003				neogis	2015-01-26	22:36:52	135.98828273999999	33.72966556440000
5	UC0005	テスト			neogis	2017-05-10	19:03:25	135.98784057600000	33.72988061780000

9-1-5 リンク解除

地物の属性と図形のリンクを解除します。

対象属性を一覧から選択するだけです。

リンク解除後、図形とのリンク項目(下図の場合、ラベル)が、**null** となり、解除が確認されます。

属性検索									
テストポイント		検索		ピック: <u>リンク解除</u>					
条件入力		CSV作成							先頭
NO	ラベル	属性_文字	属性_数値	属性_コード	登録者	登録日	登録時間	経度	緯度
1	UG0001	Nvnbnnnn		属性C	neogis	2014-06-13	13:56:23	135.98862556399999	33.72907506750000
2	UG0000	点線テスト	123.560	属性A	neogis	2013-08-31	16:05:40	135.98794233800001	33.72974349180000
3	UG0002	ああああああ		属性A	neogis	2014-10-15	16:42:02	139.87696576977100	35.82882809222990
4	UG0003				neogis	2015-01-26	22:36:52	135.98828273999999	33.72966556440000
5		テスト			neogis	2017-05-10	19:03:25	135.98784057600000	33.72988061780000

9-1-6 図形入力

既存図形とのリンクではなく、新規に図形を作成しリンクします。

地物の属性を新規の図形にリンク変更する場合も使用します。

対象属性を一覧から選択し、マウスで図形を入力します。

属性検索									
テストポイント		検索		ピック: <u>図形入力</u>					
条件入力		CSV作成							先頭
NO	ラベル	属性_文字	属性_数値	属性_コード	登録者	登録日	登録時間	経度	緯度
1	UG0001	Nvnbnnnn		属性C	neogis	2014-06-13	13:56:23	135.98862556399999	33.72907506750000
2	UG0000	点線テスト	123.560	属性A	neogis	2013-08-31	16:05:40	135.98794233800001	33.72974349180000
3	UG0002	ああああああ		属性A	neogis	2014-10-15	16:42:02	139.87696576977100	35.82882809222990
4	UG0003				neogis	2015-01-26	22:36:52	135.98828273999999	33.72966556440000
5	UG0006	テスト			neogis	2017-05-10	19:03:25	135.98784057600000	33.72988061780000

9-2 検索、表示

「属性検索」一覧の「条件入力」ボタンクリックで「検索条件入力」ウィンドウが表示されます。



表示されるウィンドウでは「項目選択」「並び替え」「検索条件」「変換方法」の設定が可能です。

9-2-1 項目選択

検索リストの表示順を指定します。



並び替える項目を、左のリストから選択すると、右のリストに追加されます。

その際に項目の「昇順／降順」を選択しておくか、リストに追加後の項目を選択し、「変更」クリックで「昇順／降順」を変更することが出来ます。

右のリストの順列を入れ替える場合は、「順序変更」にを入れると、ボタンが表示され、順列変更が可能となります。

9-2-2 並び替え

検索リストの表示順を指定します。



表示する項目を、左のリストから選択すると、右のリストに追加されます。

右のリストの順列を入れ替える場合は、「順序変更」にを入れると、ボタンが表示され、順列変更が可能となります。

9-2-3 条件検索

検索条件を論理式で指定します。

項目定義がコードの場合、直接入力以外に該当コード一覧から選択することが出来ます。

検索条件入力

項目選択 並び替え 検索条件 コード項目: 変換

検索 閉じる

字コード = '0101'

条件式のクリア 条件式のセット 定数・コード値 他項目 データ選択

and	字コード	= (等しい)	0101	[0101] 福岡一丁目	全て
or	本番	≠ (等しくない)		[0102] 福岡二丁目	よみ
(枝番	< (小さい)		[0103] 福岡三丁目	
)	孫番	> (大きい)		[0201] 長崎一丁目	
	登記区分	≤ (以下)		[0202] 長崎二丁目	
	所有者コード	≥ (以上)		[0203] 長崎三丁目	
	個_法区分			[0301] 熊本一丁目	

コード定義に「よみ」が設定されている場合、選択リストをその読みで始まるコードのみに絞り込み可能です。

項目定義が値の場合(コードでない場合)、「定数・コード値」で直接入力します。

「他項目」を選択すると、他項目との比較が可能です。

検索条件入力

項目選択 並び替え 検索条件 コード項目: 変換

検索 閉じる

枝番 = 孫番

条件式のクリア 条件式のセット 定数・コード値 他項目 データ選択

and	字コード	= (等しい)	本番
or	本番	≠ (等しくない)	孫番
(枝番	< (小さい)	所有者コード
)	孫番	> (大きい)	戸数
	登記区分	≤ (以下)	階層
	所有者コード	≥ (以上)	建築年月日
	個_法区分		台帳床面積

「データ選択」を選択すると、項目定義がコードまたは値であってもテーブルに含まれる値のリストが、選択リストとして表示されます。

※ リストの生成限界は 100 件までとなっています。

コード項目の生成リスト

検索条件入力

項目選択 並び替え 検索条件 コード項目: 変換

検索 閉じる

字コード = '0101'

条件式のクリア 条件式のセット 定数・コード値 他項目 データ選択

and	字コード	= (等しい)	0101	[0101] 福岡一丁目	
or	本番	≠ (等しくない)		[0102] 福岡二丁目	
(枝番	< (小さい)		[0103] 福岡三丁目	
)	孫番	> (大きい)		[0201] 長崎一丁目	
	登記区分	≤ (以下)		[0202] 長崎二丁目	
	所有者コード	≥ (以上)		[0203] 長崎三丁目	
	個_法区分			[0301] 熊本一丁目	

「定数・コード値」選択の際のリストと異なり「全て/よみ」機能はありません。

定数項目の生成リスト

設定の手順は、「項目」を選択 → 「比較演算子」を選択 → 「定数・コード・他項目」を選択/入力 → 「条件式のセット」をクリック とすることで、リストの検索条件が決定します。

検索条件は、「and/or/()」を用いた式を設定することも可能です。
設定された検索条件は、一覧表示ウィンドウの下に表示されます。

注意！

データベースの世界では、データの値として” ブランク ” と ” null ” (値が入っていない) は、明確に区別されます。

条件検索等でも、null は、明示的に指定しない限り、条件から外されます。

null を検索したい場合は、何も入力せずに条件式のセットボタンをクリックします。

すると、下図のように、“coalesce(CAST(状類番号 AS text), '') = ''” のような式が自動入力されます。

これは、“状類番号が、null または、ブランクのもの” という条件となります。

9-2-4 コード変換

検索リストのコード項目の変換方法を指定します。

- 変換 : 対応するコード名称を表示します。
- 無変換 : レコードのデータをそのまま表示します。
- 変換省略 : 対応するコード名称を省略形で表示します。

9-3 絞り込み (全文検索)

単純な検索機能として、キーワードによる全文検索(全項目検索)機能も提供しています。

「絞り込み」に、検索キーワードを入力して **Enter** キー、または、「検索」ボタンクリックで実行されます。

NO	字コード	本番	枝番	孫番	所有者コード	個_法区分	台帳地目	現況地目	台帳地積	現況地積	一般用地積	小規模地積	評価額合計	課税標準額	用途	戸数
1	熊本二丁目	0003	0008	000	501	個人	宅地	宅地	0.00	345.10	0.00	94.47	27972	286272	商業地域_普通商業...	1
2	徳島一丁目	0070	0002	000	483	個人	宅地	宅地	0.00	66.25	0.00	99.17	19177	197453	住宅地域_普通住宅...	1
3	熊本二丁目	0002	0001	000	3	個人	宅地	宅地	0.00	156.62	0.00	153.35	38954	641241	商業地域_普通商業...	1
4	福岡二丁目	0002	0008	000	166	個人	宅地	宅地	0.00	144.70	0.00	47.68	61598	2629100	商業地域_普通商業...	1
5	福岡一丁目	0003	0002	000	17	個人	宅地	宅地	0.00	103.75	0.00	59.27	30399	231168	商業地域_普通商業...	1
6	福岡一丁目	0003	0003	000	16	個人	宅地	宅地	0.00	110.87	0.00	54.76	66589	2130837	商業地域_普通商業...	1
7	大分二丁目	0001	0012	000	97	個人	宅地	宅地	0.00	185.00	0.00	103.04	44103	594461	商業地域_普通商業...	1
8	大分二丁目	0002	0002	000	58	法人	宅地	宅地	0.00	212.34	0.00	0.00	41897	4550392	商業地域_普通商業...	0

例えば、「福岡」と入力して実行すると、

下図のように、福岡一丁目、福岡二丁目と、「福岡」を含むレコードのみが選択されます。

NO	字コード	本番	枝番	孫番	所有者コード	個_法区分	台帳地目	現況地目	台帳地積	現況地積	一般用地積	小規模地積	評価額合計	課税標準額	用途	戸数
1	福岡二丁目	0002	0008	000	166	個人	宅地	宅地	0.00	144.70	0.00	47.68	61598	2629100	商業地域_普通商業...	1
2	福岡一丁目	0003	0002	000	17	個人	宅地	宅地	0.00	103.75	0.00	59.27	30399	231168	商業地域_普通商業...	1
3	福岡一丁目	0003	0003	000	16	個人	宅地	宅地	0.00	110.87	0.00	54.76	66589	2130837	商業地域_普通商業...	1
4	福岡三丁目	0002	0001	000	370	個人	宅地	宅地	0.00	300.46	0.00	98.18	57757	547351	商業地域_普通商業...	1
5	福岡三丁目	0002	0009	000	252	個人	宅地	宅地	0.00	507.63	0.00	23.53	57179	129867	商業地域_普通商業...	2
6	福岡三丁目	0002	0007	000	190	個人	宅地	宅地	0.00	234.25	0.00	0.00	57179	4082990	商業地域_普通商業...	0
7	福岡三丁目	0002	0006	000	191	個人	宅地	宅地	0.00	324.83	0.00	0.00	57179	6675105	商業地域_普通商業...	0
8	福岡三丁目	0002	0005	000	2	個人	宅地	宅地	0.00	158.25	0.00	99.90	54909	529476	商業地域_普通商業...	1

※ これは、コード項目、値項目、すべてで検索されます。

※ 上記で、用途に、「。。福岡。。」という文字が入っていても検索されます。

9-4 強調表示

条件検索後、強調表示に☑を入れることで、検索された地物のみを地図上に強調表示します。

属性検索

路線個別要因 検索 ピック: 図面表示 強調表示 選択表示

絞り込み: キーワードを入力

条件入力 先頭 前頁 1 件目 次頁 最終 件数: 48

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	856	JF

[条件] 舗装 = '00'

検索結果のみを強調

属性検索

路線個別要因 検索 ピック: 図面表示 強調表示 選択表示

絞り込み: キーワードを入力

条件入力 先頭 前頁 1 件目 次頁 最終 件数: 48

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	856	JF

[条件] 舗装 = '00'

9-5 選択表示

条件検索後、選択表示に☑を入れることで、検索された地物のみの属性表示、ランク表示が行われます。
 ※ この機能は地物に対して、対象の属性で属性表示、ランク表示している場合のみ有効です。

属性検索

路線個別要因: [選択] 検索 ピック: [図面表示] 強調表示 選択表示 絞り込み: キーワードを入力

条件入力 CSV作成 先頭 前頁 1 1 件目 次頁 最終 件数: 48

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	856	JF

[条件] 舗装 = '00'

検索結果のみを表示

属性検索

路線個別要因: [選択] 検索 ピック: [図面表示] 強調表示 選択表示 絞り込み: キーワードを入力

条件入力 CSV作成 先頭 前頁 1 1 件目 次頁 最終 件数: 48

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	856	JF

[条件] 舗装 = '00'

9-6 CSV 作成

検索表示一覧データを CSV ファイルに出力する機能です。
ファイルはサーバからダウンロードします。

属性検索

路線個別要因 検索 ピック 画面表示 強調表示 選択表示 絞り込み: 区画 閉じる

条件入力 CSV作成 先頭 1 件目 次頁 最終 件数: 11

NO	ラベル	種別	位置	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中心駅名称	中心
1	04710	普通住宅	その他	3.5	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	無し	0953	JRネオ駅	765	JRネオ駅	中心	
2	04750	併用住宅	道	6.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	無し	0272	JRネオ駅	620	JRネオ駅	中心	
3	05590	普通住宅	その他	1.8	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	無し	0063	JRネオ駅	1104	JRネオ駅	中心	
4	05591	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	無し	0063	JRネオ駅	1143	JRネオ駅	中心	
5	05760	普通住宅	その他	0.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	無し	0742	JRネオ駅	1715	JRネオ駅	中心	

[条件] 舗装 = '00'

確認

CSVデータを作成します。よろしいですか？

OK キャンセル

Vデータダウンロード

CSVファイル作成完了

データ件数 : 4317 件
ファイルサイズ: 2.88 MB

ダウンロード

閉じる

10 地物の絞り込み

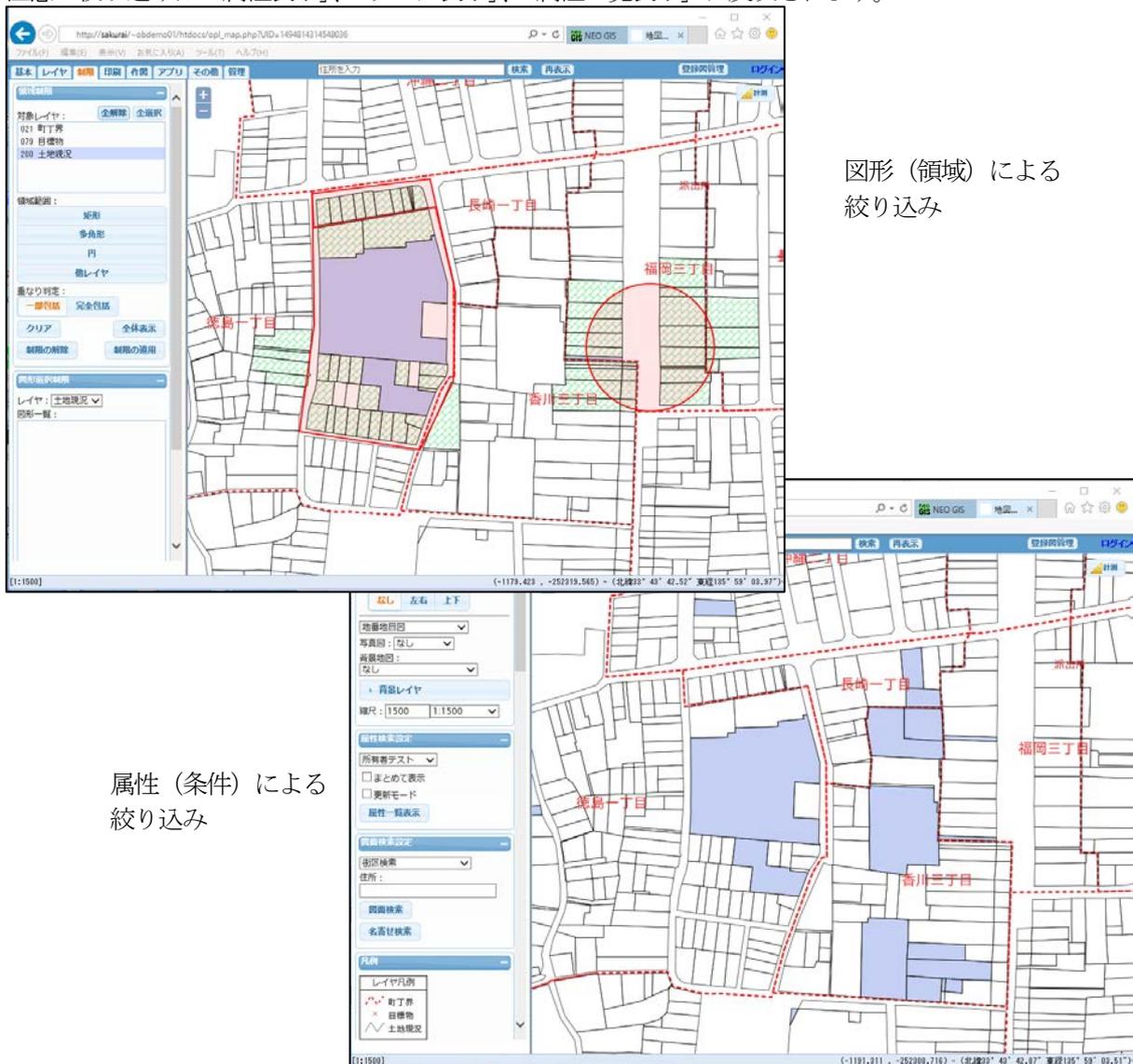
表示する地物を、属性、図形で絞り込みます。
絞り込みの方法は、以下があります。

- ・メニューから
 - 領域制限 表示する地物を図形（領域）で絞り込みます。
 - 図形選択制限 選択した地物のみを表示します。
 - 地図表示制限 表示する地物を、属性条件で絞り込みます。

- ・登録画面から
 - 属性制限 表示する地物を属性の内容で絞り込みます。
操作方法は 「20-5 属性制限設定」 を参照

 - 領域制限 表示する地物を図形（領域）で絞り込みます。
操作方法は 「20-6 領域制限設定」 を参照

注意：絞り込みは「属性表示」、「ランク表示」、「属性一覧表示」に反映されます。



10-1 領域制限

表示する地物を図形（領域）で絞り込みます。

図形での絞り込みは、「領域制限」メニューから行います。

また、「20-6 領域制限設定」でも使用することが出来ます。この場合領域制限を図面として登録可能となります。

ここでは「領域制限」メニューからの操作を説明します。

表示地物に対して、「領域」の制限を設定します。



次に、ウィンドウの説明を行います。



- ① ③の対象レイヤリストの全選択解除を行います
- ② ③の対象レイヤリストの全選択を行います
- ③ 領域制限を設定するレイヤを指定します

- ④ 領域の指定方法を、「矩形・多角形・円・他レイヤ」から選択します

- ⑤ ④で指定した範囲が、③のレイヤに含まれる判定を決定します
「一部包含」：図形が一部でも含まれていれば含まれていると判定する
「完全包含」：図形が完全に含まれていないと含まれていると判定しない

- ⑥ 設定した領域のクリアを行います
- ⑦ 設定した領域を、地図表示ウィンドウ全体で表示します
- ⑧ 領域制限を取り消します
- ⑨ 領域制限を適用します

設定手順

- ③に領域制限を行うレイヤを選択します。

対象レイヤ:	<input type="button" value="全解除"/>	<input type="button" value="全選択"/>
021 町丁界		
079 目標物		
200 土地現況		
220 家屋現況		

- ④で領域範囲の選択を行います
サンプルは円 : 半径 40m を設定

領域範囲:
<input type="button" value="矩形"/>
<input type="button" value="多角形"/>
<input checked="" type="button" value="円"/>
<input type="button" value="他レイヤ"/>
半径: <input type="text" value="40"/> m

「矩形」の場合は、ブラウザ左隅のガイドに従って入力します。

領域範囲:
<input checked="" type="button" value="矩形"/>
<input type="button" value="多角形"/>
<input type="button" value="円"/>
<input type="button" value="他レイヤ"/>
矩形入力 > クリック&ドラッグ

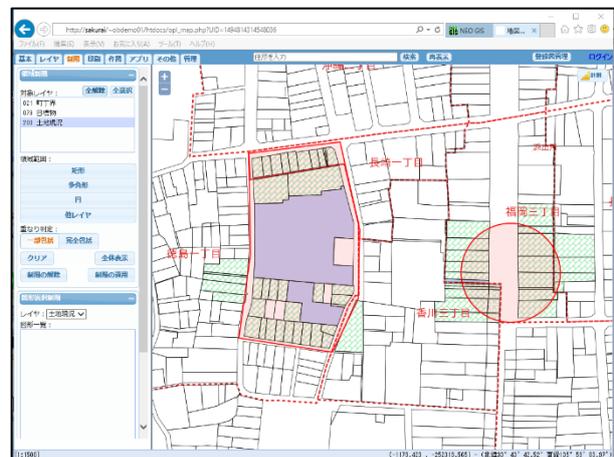
「多角形」はポイントをマウスクリックで入力し、終了はダブルクリックを行います。

領域範囲:
<input checked="" type="button" value="多角形"/>
<input type="button" value="矩形"/>
<input type="button" value="円"/>
<input type="button" value="他レイヤ"/>
面入力 > ダブルクリック:終了 "u":アンドゥ "r":リドゥ "Esc":再入力

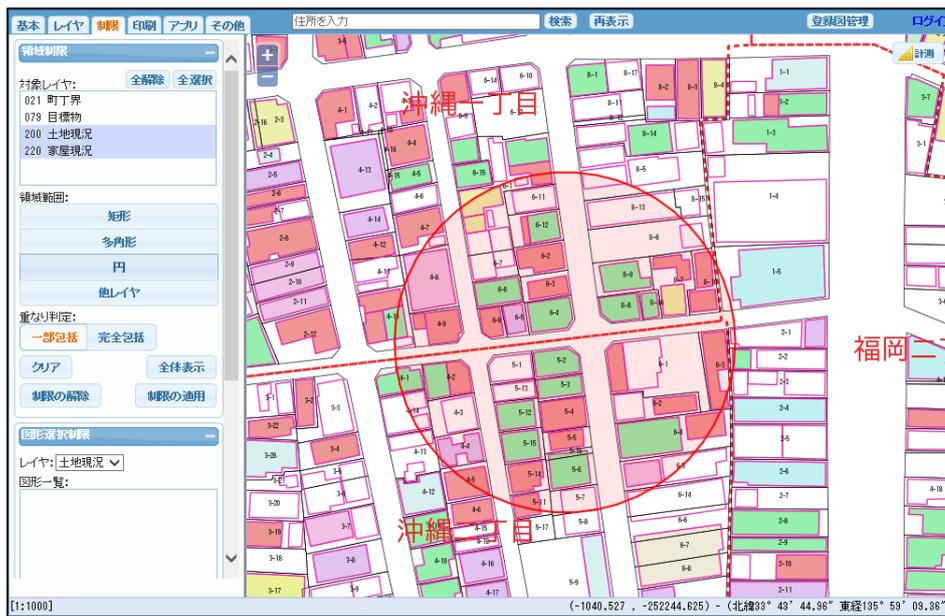
「他レイヤ」の場合は、該当レイヤを表示の「他レイヤ」から選択します。

領域範囲:
<input type="button" value="矩形"/>
<input type="button" value="多角形"/>
<input type="button" value="円"/>
<input checked="" type="button" value="他レイヤ"/>
他レイヤ:
021 町丁界
200 土地現況
220 家屋現況

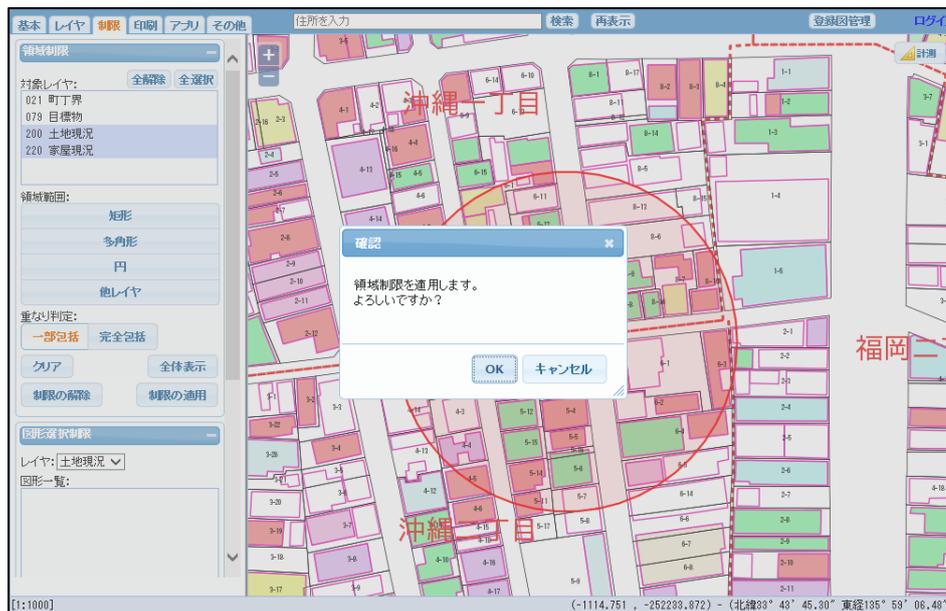
- ※ 領域の入力は、複数指定を行うことも可能です。



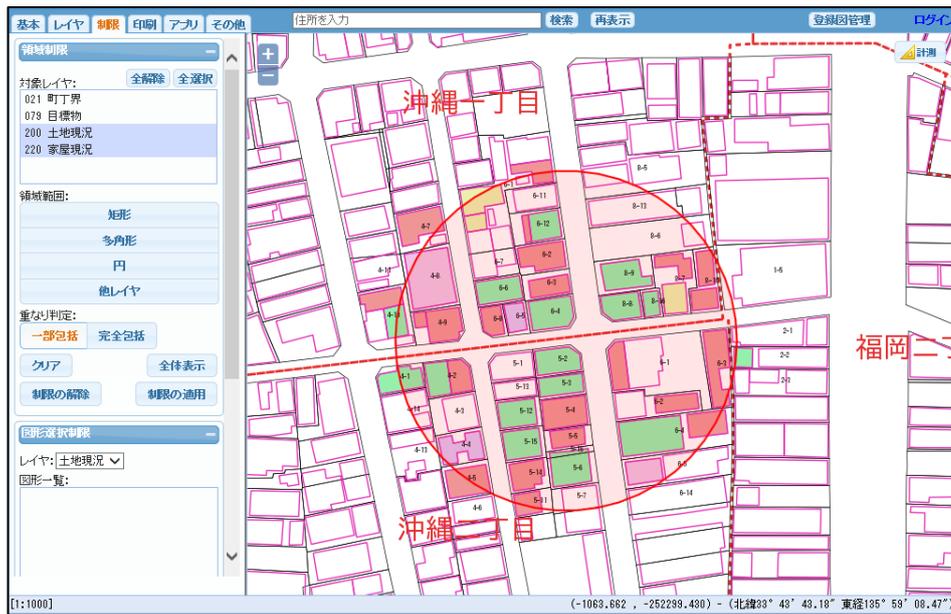
- 地図表示ウィンドウをクリックすると、半径 40m の円が設定されます。



- ⑤の重なり判定を選択し、⑨の制限の適用をクリックします。
確認表示に対して「OK」をクリックします。



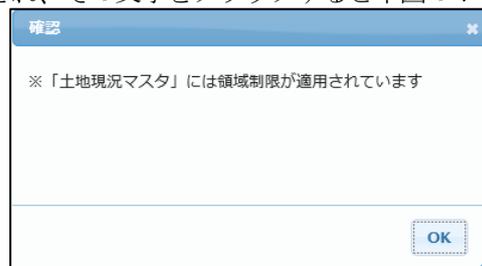
- ・領域制限が土地と家屋に設定された例です。
家屋の色塗りと、地番の表示が制限図形に掛かった物のみが表示されます。



- ・属性検索を行うと、制限がかかったデータのみが検索対象となります。

NO	字コード	本番	秩番	孫番	所有者コード	個人法区分	右帳地目	現況地目	右帳地価	現況地価	住宅_一般用地価	住宅_小規模地価	評価額合計	評価額_前々回	評価額
1	沖繩一丁目	0008	0013	000	8000948	法人	宅地	宅地	0.00	181.78	0.00	0.00	83790	31710	
2	沖繩一丁目	0008	0008	000	8000948	法人	宅地	宅地	0.00	203.96	0.00	0.00	83790	29653	
3	沖繩一丁目	0008	0007	000	241946	個人	宅地	宅地	0.00	136.23	0.00	136.23	83160	28385	
4	沖繩一丁目	0008	0010	000	85880	個人	宅地	宅地	0.00	93.45	0.00	93.45	87780	28381	

「※ 制限あり ※」と表示され、その文字をクリックすると下図のポップアップが表示されます。

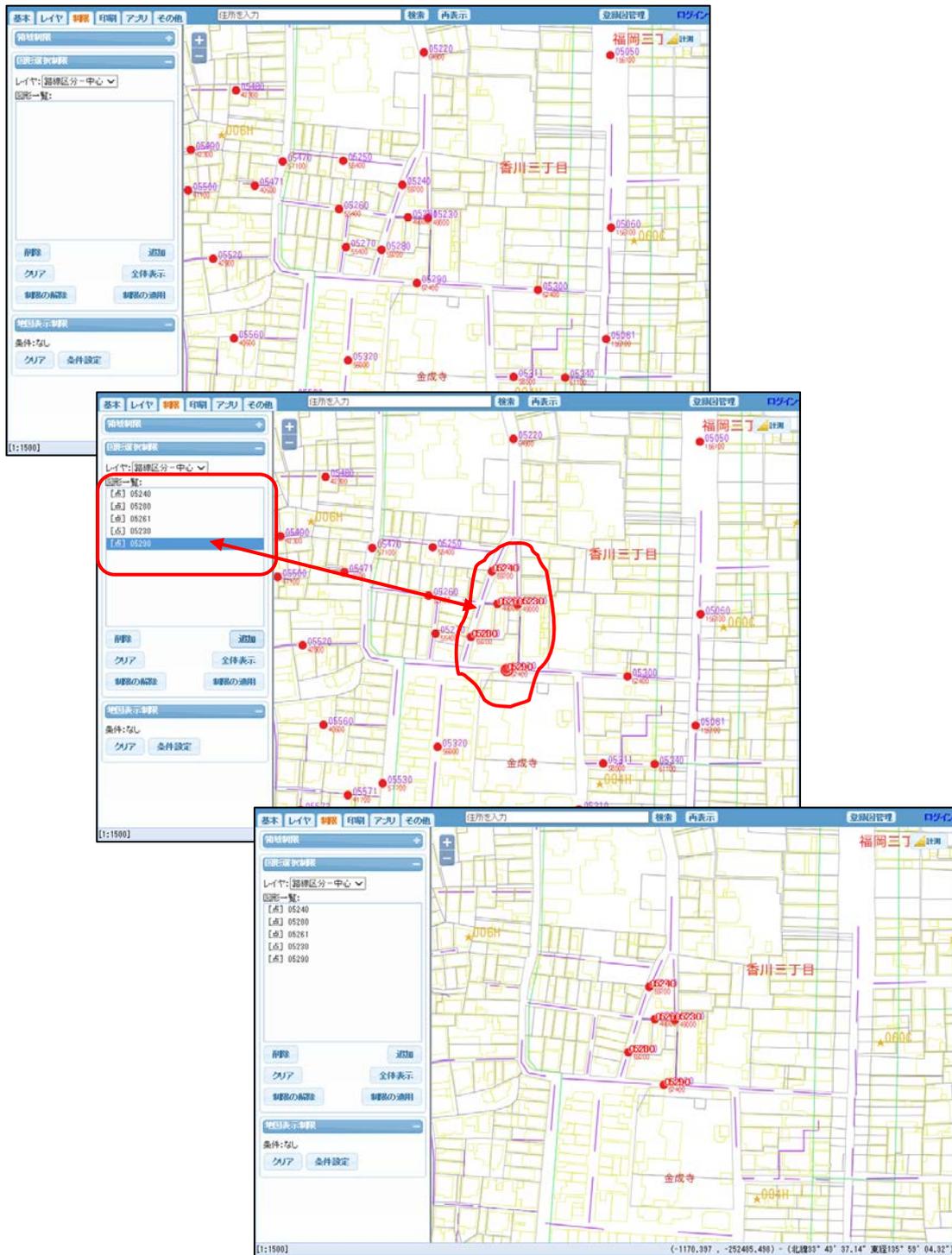


10-2 図形選択制限

選択した地物のみを表示します。

地物をマウスで直接指定する制限方法です。

制限の設定を行うレイヤから図形をマウスピックで選択し「制限の適用」クリックで、「図形一覧」にある地物のみが表示されます。



※ この制限は、前述の「10-1 領域制限」と、OR (または) の関係で適用されます。

ウィンドウの説明



- レイヤ : 制限の設定を行うレイヤを選択します。
レイヤリストには表示中のレイヤが表示されます。
- 図形一覧 : 選択された図形の一覧が表示されます。
「追加」「削除」で増減します。
- 削除 : 「図形一覧」から、選択した図形を削除します。
- 追加 : 選択した図形を「図形一覧」に追加します。
- クリア : 「図形一覧」を全件削除します。
- 全体表示 : 「図形一覧」の図形を全件教示する様に、地図表示を自動調整します。
- 制限の解除 : 制限の解除を行います。
- 制限の適用 : 制限の適用を行います。

設定手順

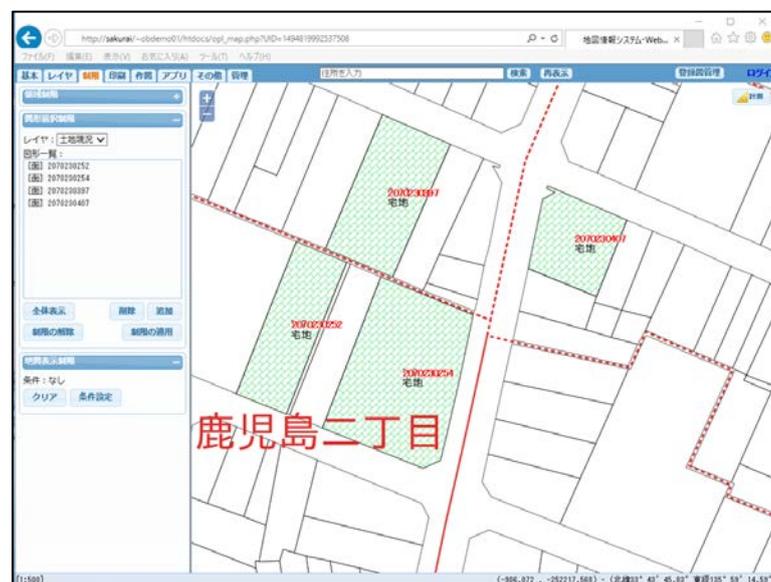
- ・レイヤを選択します。



- ・「追加」ボタンをクリックして、対象地物をマウスで選択します。
選択するたびに、図形一覧に、その地物の図形ラベルが追加されます。



- ・「制限の適用」ボタンをクリックで、制限が適用されます。



10-3 地図表示制限

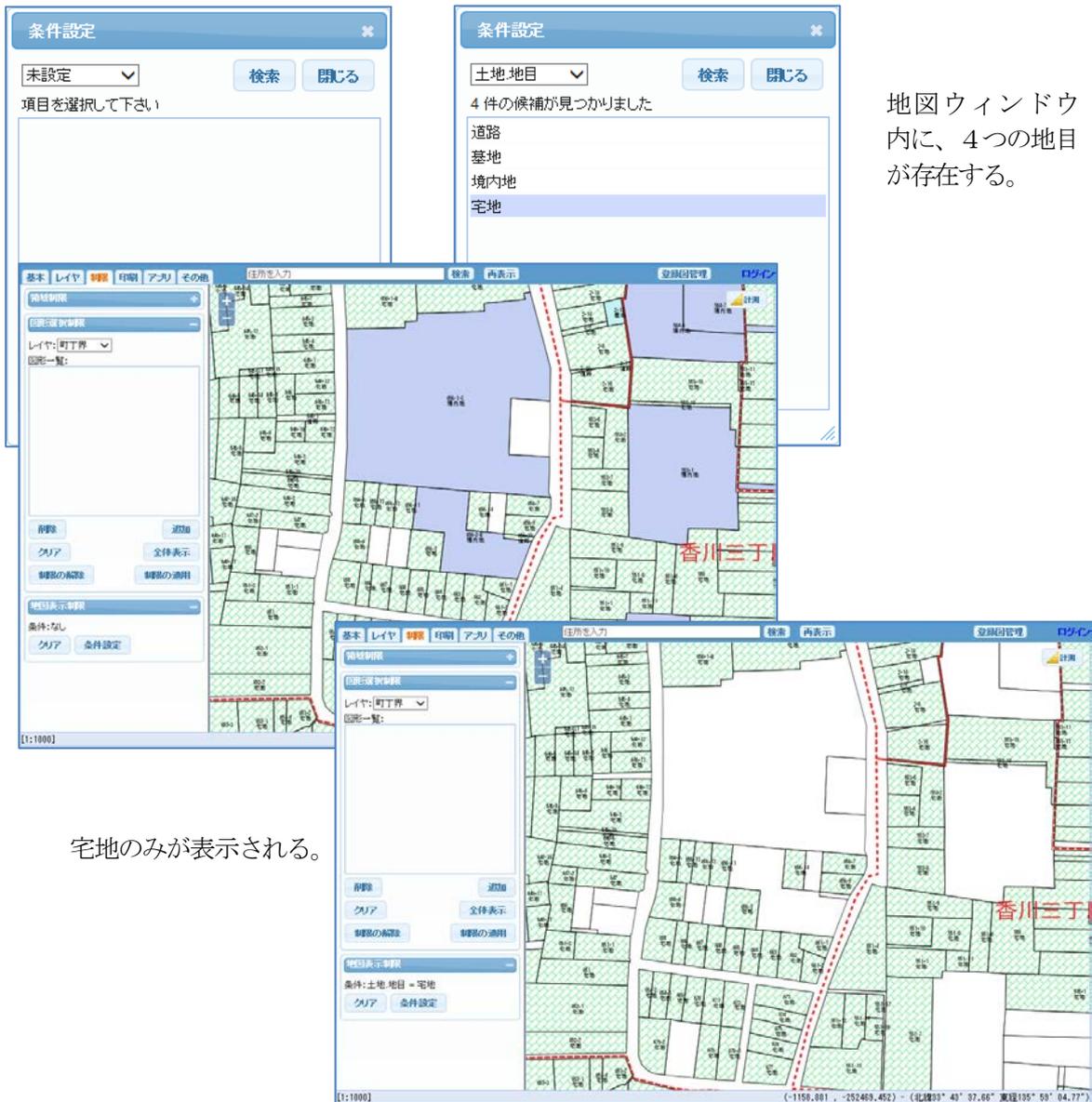
表示する地物を、属性条件で絞り込みます。
特によく使用するのである属性条件を簡単に設定できる機能です。
事前に設定が必要となります。

事前に設定された条件により使用可能となるため、登録図面によっては使用することが出来ません。



「条件設定」クリックで表示されたウィンドウから、設定を行う項目を選択し、候補から対象を選択すると制限が有効となります。

リストに表示される候補は、その時点で地図表示ウィンドウに表示されている地物内に存在するデータのみとなります。



1 1 印刷

各種図面を印刷する機能です。
印刷機能は3種類用意しています。

- ・標準印刷
- ・分割印刷
- ・レイアウト印刷

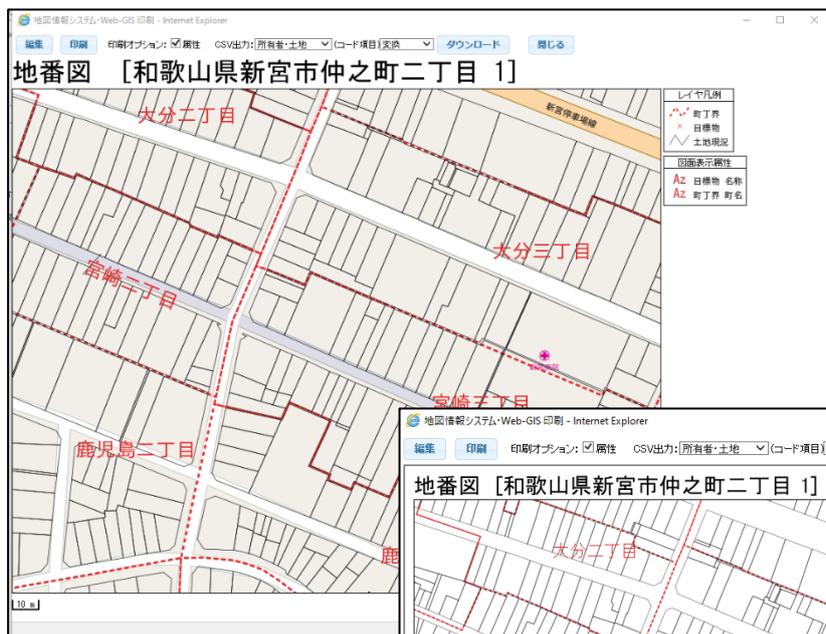
11-1 ラスタ印刷とSVG印刷

印刷方法は2種類存在します。それぞれの特徴は以下です。

ラスタ印刷： 地図表示ウィンドウと同様のイメージで印刷します。
背景地図として、OpenStreetMap、地理院地図、Google マップ等のタイル画像も印刷可能です。この場合、縮尺はレベルとなります。

SVG印刷： 地物をSVG形式というベクタで描画し印刷します。
ベクタなので、線分、文字が鮮明となります。
背景地図として、タイル画像は印刷できません。
任意の縮尺での印刷も可能です。

※ ラスタ、ベクタの概念説明は、ここでは行いません。



ラスタ

SVG (ベクタ)



11-2 標準印刷

現在表示中の地図の中心点から、現在の縮尺で、選択された用紙に入る領域が印刷されます。
 ラスタ印刷、SVG印刷、両方同じ操作となります。



「印刷」ボタン : ラスタ印刷

「(SVG)印刷」ボタン : ベクタ印刷

- 修飾 : チェックボックスの☑により、表題、方位、縮尺、注釈、凡例の有無を指定可能です。
 ※ 方位はSVG印刷のみが有効です
- 用紙 : B4/A4/A3/A2/A1/A0、および、縦/横 が選択可能です。
- 余白 : 上下左右の余白を、mm で指定可能です。
- 印刷 : ボタンクリックで印刷プレビュー画面 (下図) を表示します。



「編集」クリックで、表題と凡例の編集が可能となり、「編集終了」で印刷待機となります。

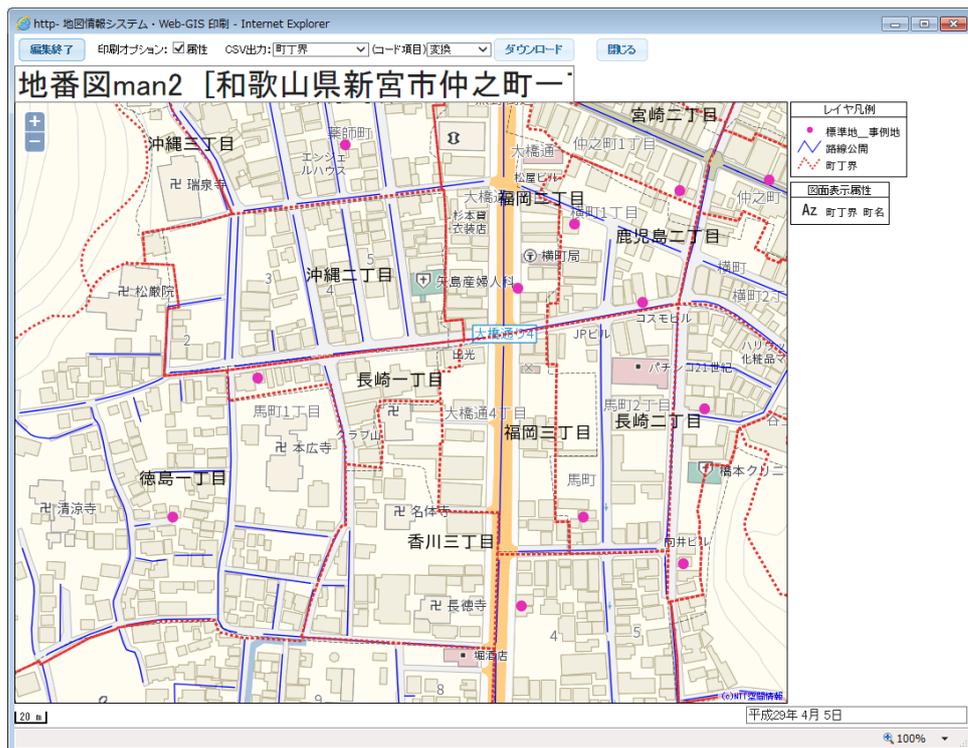


印刷領域内の表示データを、csv形式で出力することが可能です。
紙地図と地物リストをペアで持ち出す現地調査等で有効です。



背景地図を表示している場合、印刷時に背景を同時に印刷することが出来ます。

「編集」モードの際には地図の操作が可能となり、マウスによる、「拡大/縮小/移動」が可能です。
※ マウスによる、「拡大/縮小/移動」は、ラスト印刷時のみの機能となります。



11-3 分割印刷

切り貼りして大きな紙地図を作成できる分割印刷を行ないます

これにより、A4、A3 プリンターしかない場合でも、A1、A0 大の紙地図を作成することが可能となります

※ この印刷はラスタ印刷となります。



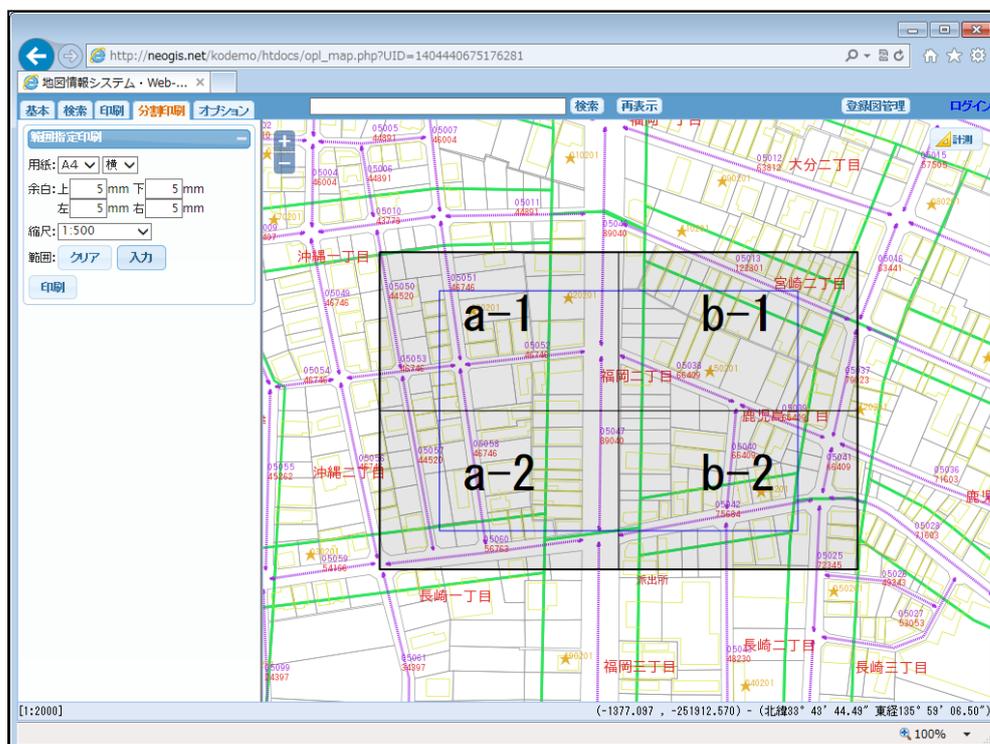
用紙 : B4/A4/A3/A2/A1/A0、および、縦/横 が選択可能です。

余白 : 上下左右の余白を、mm で指定可能です。

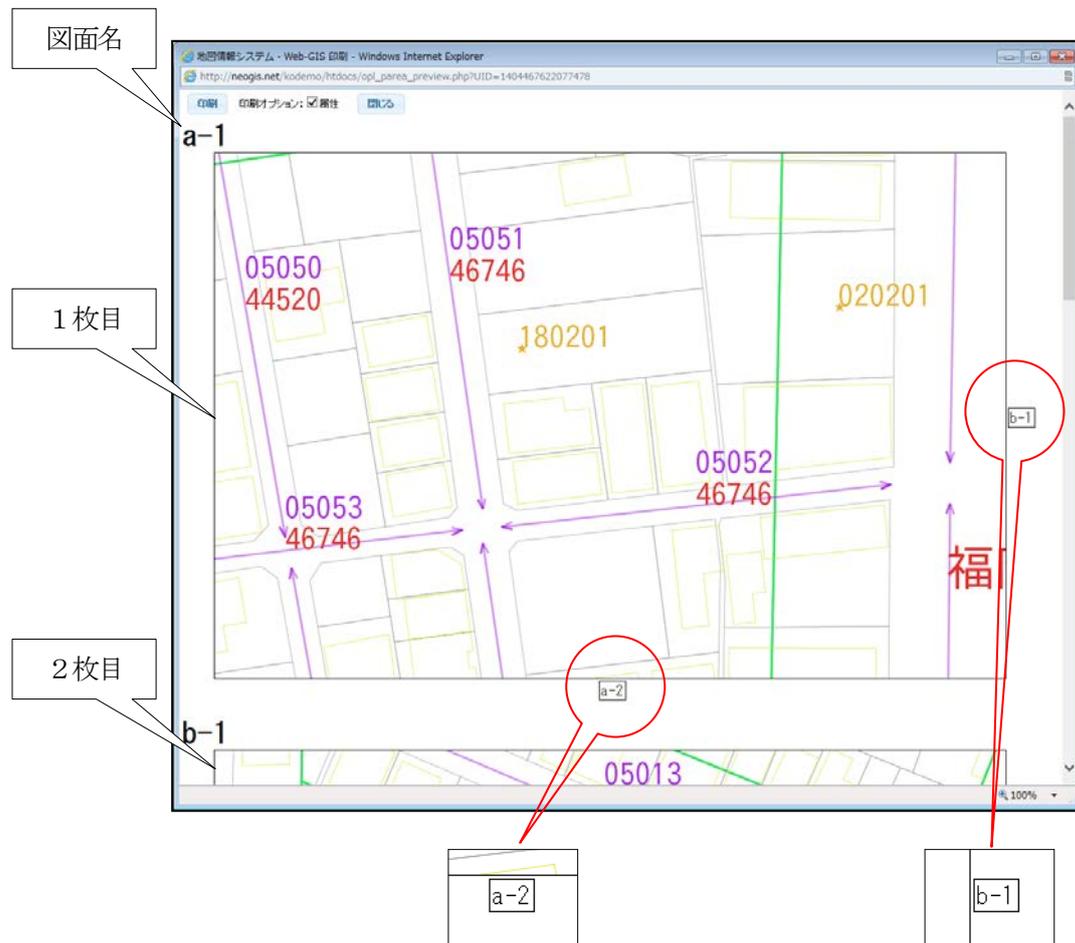
縮尺 : 印刷図面の縮尺を指定します。

クリア : 印刷範囲をクリアします。

入力 : 地図表示ウィンドウで、マウスを使用して印刷したい範囲をドラッグします。指定用紙、縮尺から、その範囲を含む印刷枚数が計算され、地図表示ウィンドウに表示されます。下図では4枚の印刷となります。



印刷 : 印刷プレビュー画面 (下図) を表示します。



張り合わせしやすいように、のりしろには横の図面名も印刷されます。

印刷プレビュー画面内

印刷 : ブラウザの印刷画面を表示します。
実際にはブラウザの印刷機能を使用して印刷を行います。

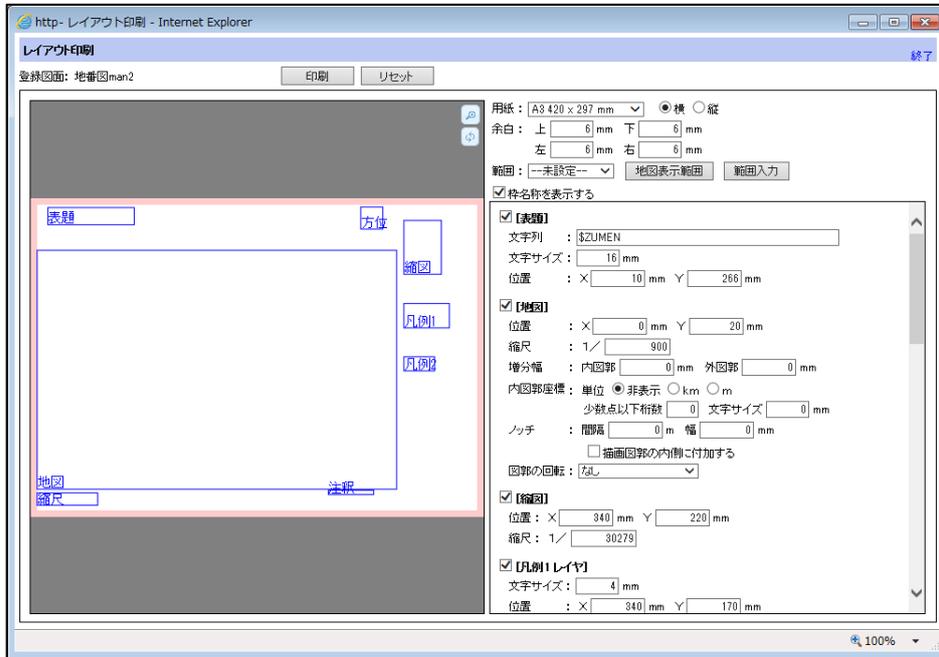
閉じる : 印刷プレビュー画面を閉じます。

11-4 レイアウト印刷

凡例、縮図、地図等を、任意にレイアウトして印刷する機能です。

※ この印刷はベクタ印刷となります。

「レイアウト印刷」クリックで印刷設定を行うウィンドウが表示されます。



各項目の位置は数値入力も可能ですが、レイアウト画面上でマウスドラッグでも可能です。

ここで項目の設定を行ない、印刷となります。

背景地図を表示している場合、「レイアウト印刷」では表示レイヤのみが印刷対象となり、背景は印刷されません。

11-4-1 印刷設定可能な情報

- 用紙サイズ、および縦／横
- 余白
- 印刷枠

例えば、図郭等定型サイズのレイヤを指定すると、その図郭番号指定で印刷が可能となります。

11-4-2 レイアウト可能な項目

<input checked="" type="checkbox"/> 【表題】
文字列 : \$ZUMEN
文字サイズ : 16 mm
位置 : X 10 mm Y 266 mm

- 表題

印刷図の表題です。

\$ZUMEN は予約語で、登録図面名に置き換わります。

[縮図]
 位置 : X mm Y mm
 縮尺 : 1 /

[凡例1 レイヤ]
 文字サイズ : mm
 位置 : X mm Y mm

[凡例2 属性]
 文字サイズ : mm
 位置 : X mm Y mm

[凡例3 ランク・種別(家屋現況マス夕)]
 文字サイズ : mm
 位置 : X mm Y mm

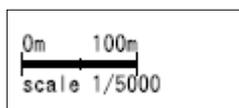
[凡例4 ランク・宅地_用途(土地現況マス夕)]
 文字サイズ : mm
 位置 : X mm Y mm

- ・縮図
索引図の指定です。
 - ・凡例1 レイヤ
レイヤの凡例です。
 - ・凡例2 属性
属性表示の凡例です。
- ※ ランク表示等をしている場合は、凡例が増えます。

[縮尺]
 タイプ : A B
 距離 : 10m 50m 100m 500m
 1km 5km 10km
 文字サイズ : 縮尺値 mm 距離 mm
 位置 : X mm Y mm

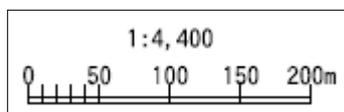
[方位]
 タイプ : A B
 長さ : mm
 角度 : (N=0.0)
 位置 : X mm Y mm

- ・縮尺
タイプA

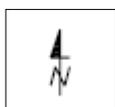


距離、文字サイズも指定可能です。

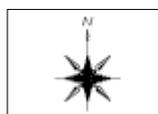
- タイプB



- ・方位
タイプA



- タイプB



[記述]

文字サイズ : mm

位置 : X mm Y mm

 プロット出力のサンプルです。

[注釈]

文字列 :

文字サイズ : mm

位置 : X mm Y mm

- 記述

任意の注記を指定します。
文字サイズも指定可能です。

- 注釈

1行の注記を指定します。
\$DATE は、印刷日付 \$USER は、ログインユーザID に置き換わります。

[特殊記述]

ファイル名 :

タイトル :

文字サイズ : タイトル mm データ mm

位置 : X mm Y mm

余白 : 幅 mm 高 mm

データ設定 : 区切り文字 縦書きにする

枠線を表示する 項目幅・高さは合わせる

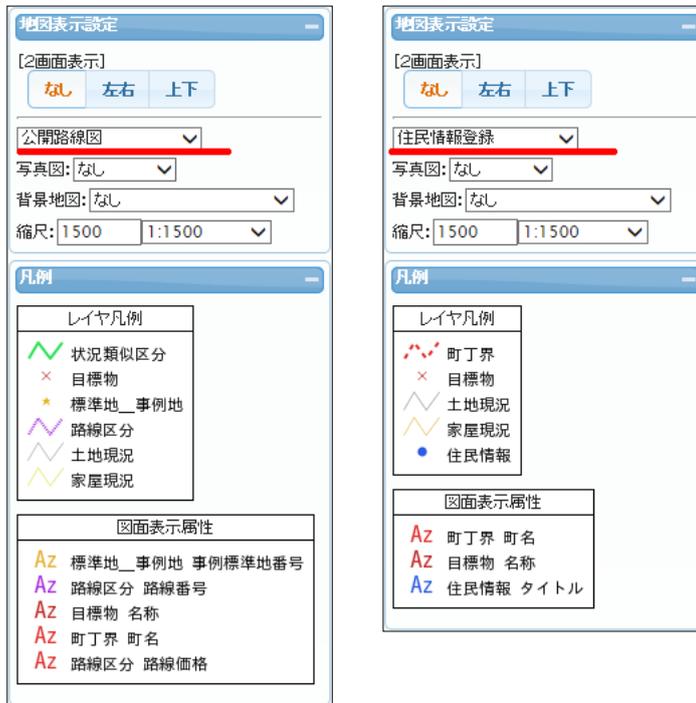
枠線幅 項目の構成行・列数

- 特殊記述

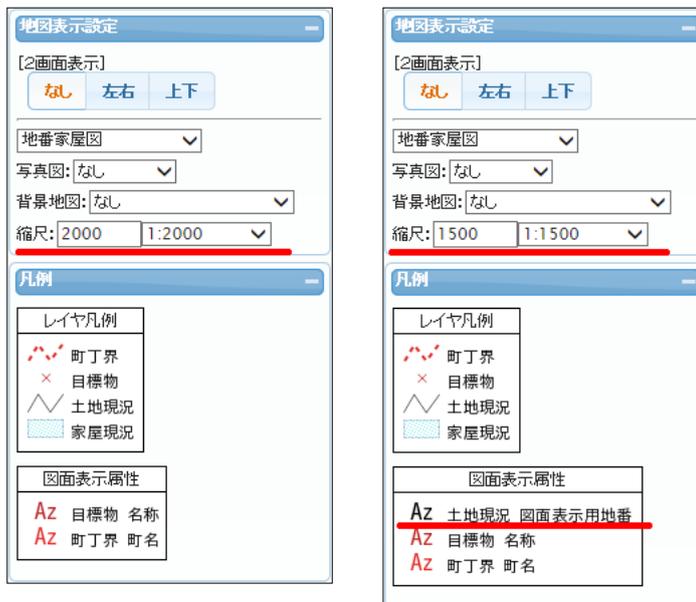
特殊な記述を指定可能です。
データ設定を使用すれば、表形式の記述も作成可能です。
この設定は、名前を付けて保存可能です。

1.2 凡例

凡例は表示図面の切り替えと連動して表示されます。



また、表示縮尺による表示非表示のコントロールと連動して、凡例表示も変更されます。



13 レイヤON/OFF

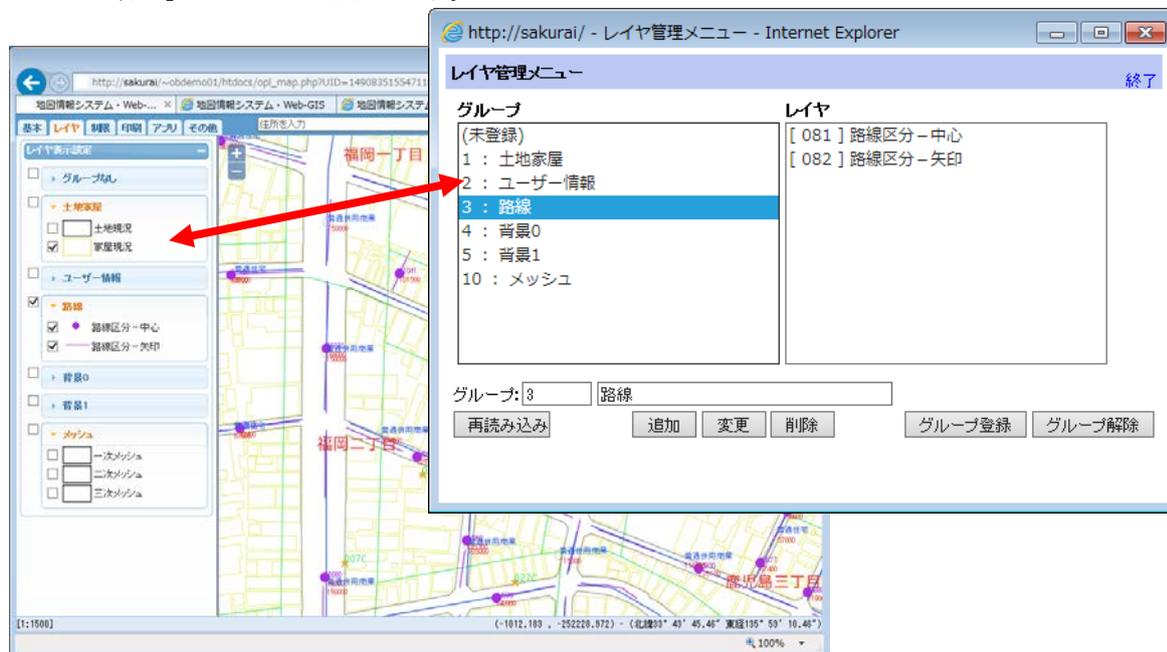
地図表示ウィンドウに表示しているレイヤの、表示/非表示を切り替えることが可能です。
呼び出した図面に設定されたレイヤ以外の、システムで使用できるレイヤの表示/非表示も可能です。

レイヤをグループとして管理している場合は、グループとしての表示切り替えが可能です。
レイヤのグループ化は、「14 レイヤグループ管理」を参照。



1 4 レイヤグループ管理

レイヤをグループとして管理するための管理メニューです。
 グループ化により、レイヤON/OFFもグループで可能となります。
 「レイヤ管理」ボタンから起動します。



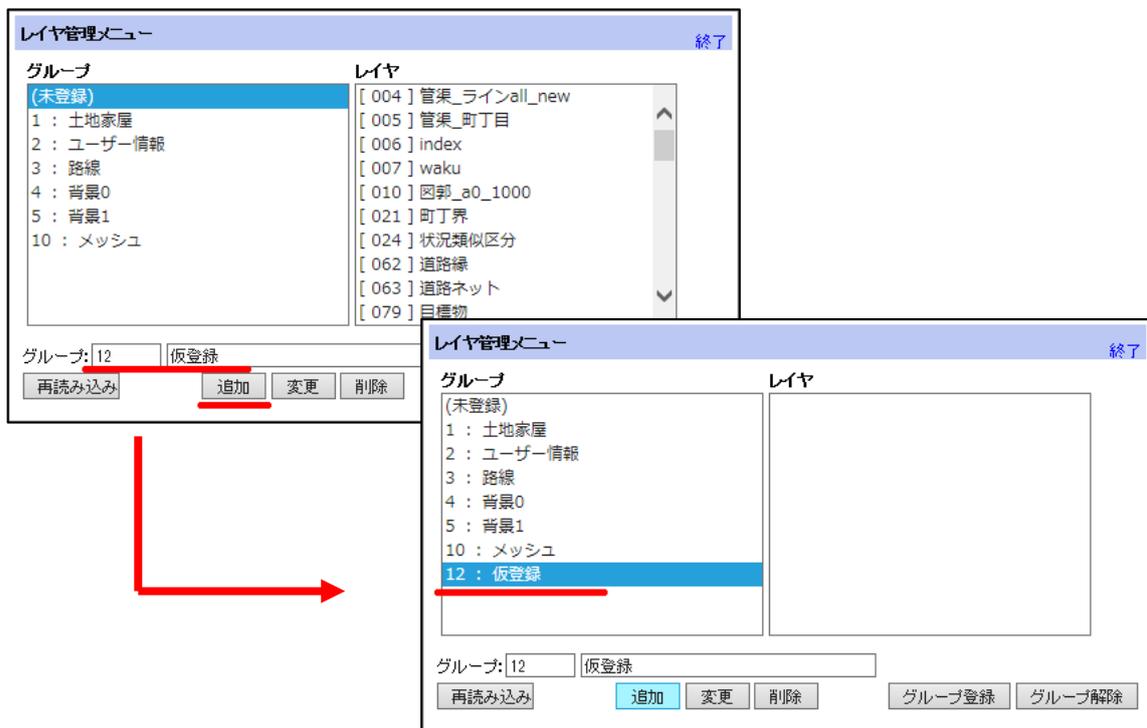
14-1 操作メニュー説明



- ① 登録済みのレイヤグループのリストを表示します。
 グループとして登録されたレイヤは、(未登録)の一覧には表示されません。
- ② グループ内のレイヤリストが表示されます。
- ③ グループのIDを数値で指定します。
- ④ グループの名称を指定します。
- ⑤ グループリストを再読み込みします。
- ⑥ ③④で指定したグループを追加します。
- ⑦ ①で選択し③④で修正したグループの変更を行います。
- ⑧ ①で選択したグループを削除します。
- ⑨ グループに②の選択レイヤを登録します。
- ⑩ グループから②の選択レイヤを削除します。

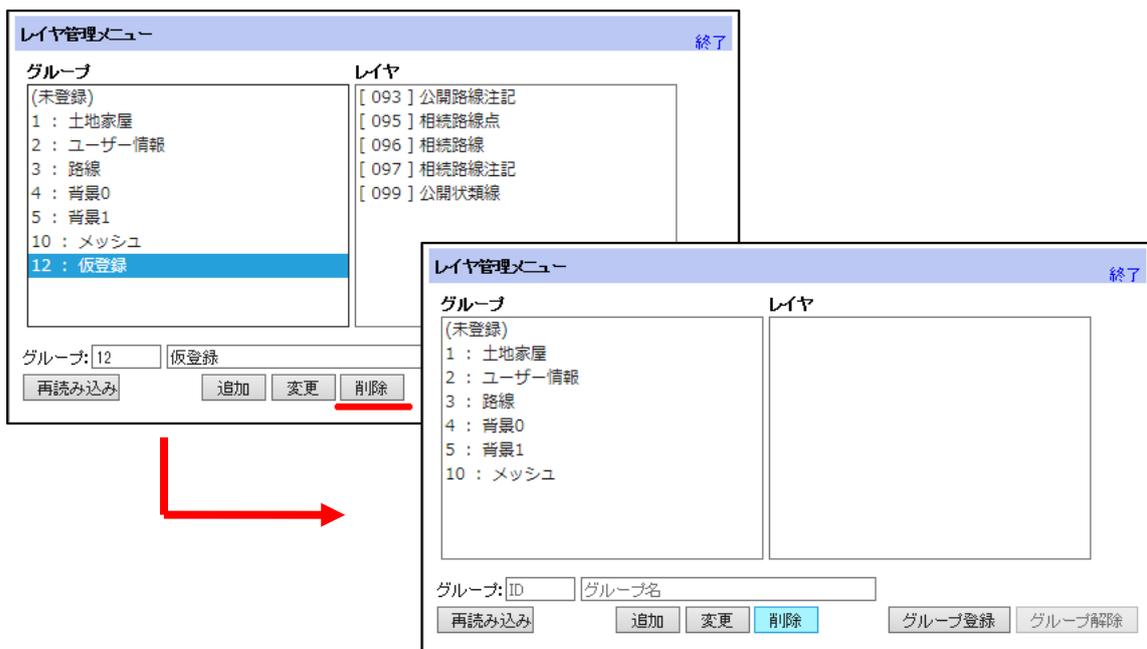
14-2 レイヤグループの追加

グループIDと名称を入力し、「追加」ボタンクリックでグループリストに新しいグループが追加されます。



14-3 レイヤグループの削除

対象のグループをリストから選択し、「削除」ボタンクリックでグループが削除されます。



14-4 レイヤグループへのレイヤ登録

(未登録) リストから登録するレイヤを選択し、「グループ登録」ボタンクリックで、登録先のグループを選択すると、レイヤの登録が行われます。

例) 12 : 仮登録 グループへ、[095] [096] [097] レイヤを登録します

レイヤ管理メニュー 終了

グループ	レイヤ
(未登録)	[079] 目標物
1: 土地家屋	[080] 標準地_事例地
2: ユーザー情報	[091] 公開路線点
3: 路線	[092] 路線公開
4: 背景0	[093] 公開路線注記
5: 背景1	[095] 相続路線点
10: メッシュ	[096] 相続路線
12: 仮登録	[097] 相続路線注記
	[099] 公開伏線
	[100] 画地計測

グループID: グループ名:

再読み込み 追加 変更 削除 グループ登録 グループ解除

確認 *

グループを選択して下さい

12: 仮登録

OK キャンセル

レイヤ管理メニュー 終了

グループ	レイヤ
(未登録)	[095] 相続路線点
1: 土地家屋	[096] 相続路線
2: ユーザー情報	[097] 相続路線注記
3: 路線	
4: 背景0	
5: 背景1	
10: メッシュ	
12: 仮登録	

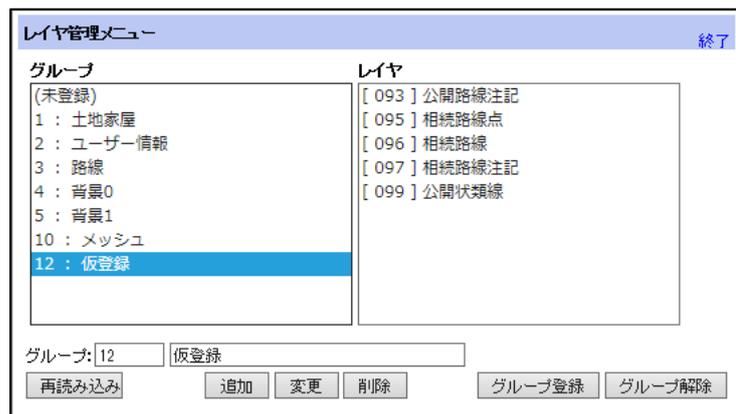
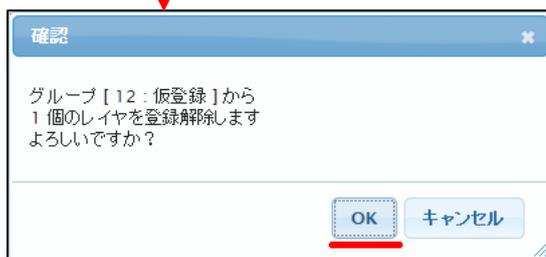
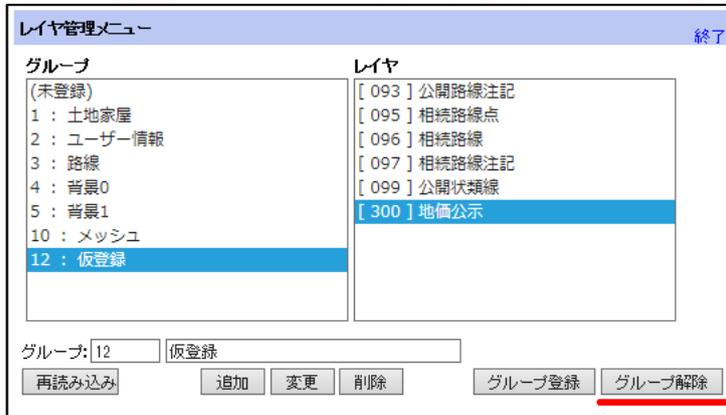
グループID: 12 仮登録

再読み込み 追加 変更 削除 **グループ登録** グループ解除

14-5 レイヤグループからのレイヤ削除

グループリストから対象グループを選択し、削除するレイヤを一覧から選択後「グループ解除」ボタンクリックで、グループからレイヤの解除が行われます。

例) 12 : 仮登録 グループから、[300] 地価公示 レイヤを削除します



15 位置情報

地図表示ウィンドウの位置情報を表示することが出来ます。



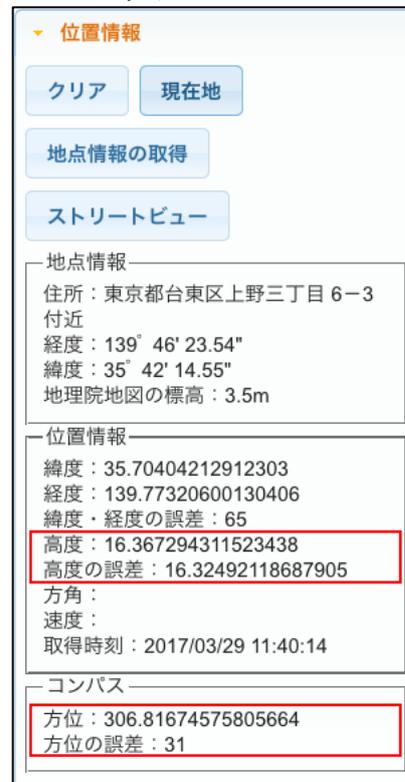
クリア : 表示された位置情報を消去します。

現在地 : 主にタブレット等の GPS による現在地の情報を表示します。
PC ブラウザの表示では、正確な情報とはなりません。

PC



タブレット



地点情報の取得 : 地図表示ウィンドウのポイントピックで、その地点の情報を表示します。



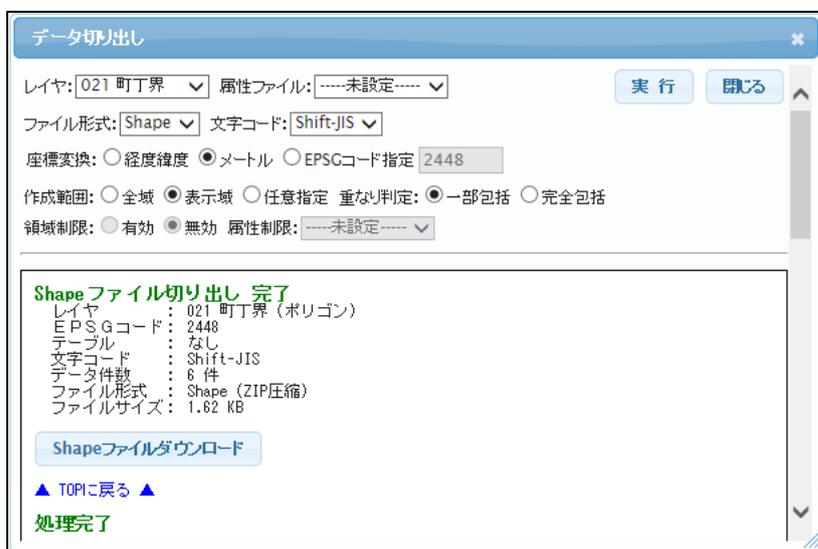
ストリートビュー : 地図表示ウィンドウのポイントピックで、その地点の GoogleStreetView をポップアップ表示します。

16 データ切り出し

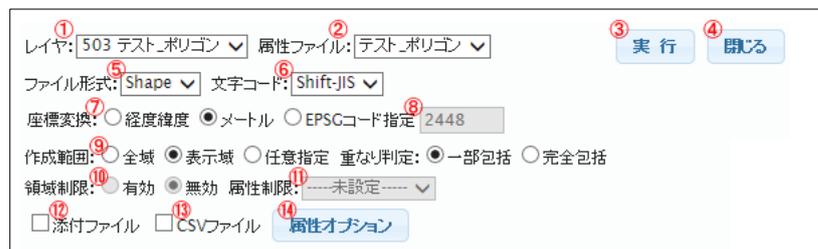
地図表示ウィンドウに表示中の地物データを、指定のファイル形式で切り出すことができます。選択したレイヤデータを指定条件で切り出し、ダウンロードを行います。

出力形式は以下の2形式です。

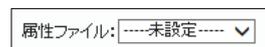
- KML : 地理空間情報の表示の管理などを目的とした情報をXMLで記述するものです。Google Earth、Google Mapsで扱える形式として有名です。
- Shape : GIS業界では標準と言える形式です。多くのGISで取り込み可能です。



操作部分説明



- ① 表示中の図面から切り出し可能なレイヤー一覧が表示されます。
- ② ①の選択レイヤにリンクした属性ファイルが選択可能です。
「未設定」から属性ファイルを選択すると、
⑫⑬⑭のオプションが使用可能です。
- ③ 切り出し処理の実行を行います。
- ④ 切り出し処理のウィンドウを閉じます。
- ⑤ 出力ファイル形式を「Shape」と「KML」から選択します。
- ⑥ 出力文字コードを選択します。



- ⑦ 座標変換方法の設定を行います。
- ⑧ EPSG コードの場合に設定を行います。
- ⑨ 切り出し範囲の指定を行います。
- ⑩ 図面に領域制限が適用されている場合に、切り出し時に制限の有効/無効の設定を行います。
- ⑪ 図面に属性制限が適用されている場合に、切り出し時に制限の有効/無効の設定を行います。
- ⑫ ②で選択した属性ファイルに添付ファイルがある場合に出力を行います。
- ⑬ ②で選択した属性ファイルを CSV で出力します。
- ⑭ ②で選択した属性ファイルの出力条件を設定します。

⑤で KML を選択した場合、⑦の設定が以下の様に切り替わります。

- ⑮ 出力形状を、面/線/点から選択します。
選択形状により、出力指定が変更されます。

ファイル	点	KML
形状:	面	線色:

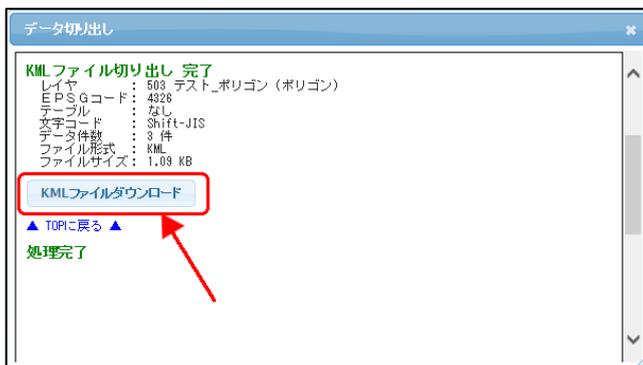
レイヤ:	503 テスト_ポリゴン	属性ファイル:	-----未設定-----			
ファイル形式:	KML	文字コード:	Shift-JIS			
⑮ 形状:	面	線色:	既定			
	線幅:	2	透過度:	50%		
	面色:	既定	透過度:	50%		
		<input checked="" type="checkbox"/>	塗りつぶし	<input checked="" type="checkbox"/>	外形線	
作成範囲:	<input type="radio"/> 全域	<input checked="" type="radio"/> 表示域	<input type="radio"/> 任意指定	<input type="radio"/> 重なり判定:	<input checked="" type="radio"/> 一部包括	<input type="radio"/> 完全包括
領域制限:	<input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効	属性制限:	-----未設定-----		

レイヤ:	503 テスト_ポリゴン	属性ファイル:	-----未設定-----			
ファイル形式:	KML	文字コード:	Shift-JIS			
⑮ 形状:	線	線色:	既定			
	線幅:	2	透過度:	50%		
作成範囲:	<input type="radio"/> 全域	<input checked="" type="radio"/> 表示域	<input type="radio"/> 任意指定	<input type="radio"/> 重なり判定:	<input checked="" type="radio"/> 一部包括	<input type="radio"/> 完全包括
領域制限:	<input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効	属性制限:	-----未設定-----		

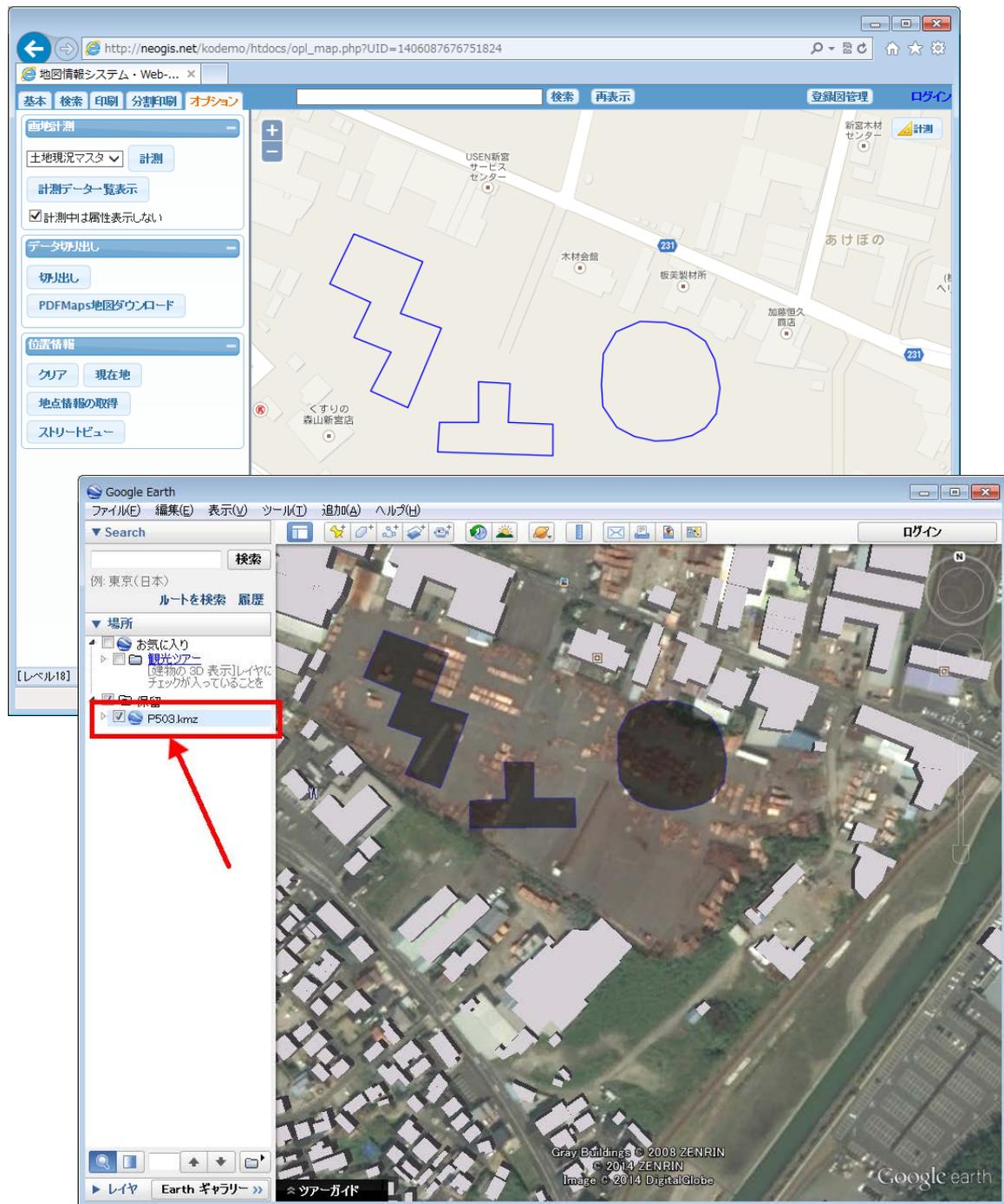
レイヤ:	503 テスト_ポリゴン	属性ファイル:	-----未設定-----			
ファイル形式:	KML	文字コード:	Shift-JIS			
⑮ 形状:	点	アイコン色:	赤			
作成範囲:	<input type="radio"/> 全域	<input checked="" type="radio"/> 表示域	<input type="radio"/> 任意指定	<input type="radio"/> 重なり判定:	<input checked="" type="radio"/> 一部包括	<input type="radio"/> 完全包括
領域制限:	<input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効	属性制限:	-----未設定-----		

対象レイヤがポリゴンの場合、出力形状は面/線/点が指定可能で、
対象レイヤがラインの場合、出力形状は線/点が指定可能です。
対象レイヤがポイントの場合、出力形状は点のみが指定可能です。

切り出し実行を行うと、完了メッセージに続いてファイルダウンロードボタンが表示されます。
ボタンクリックで、ファイルのダウンロードが可能です。



作成した切り出しファイルが KML の場合、Google Earth で読み込むことで簡単に確認が可能です。



17 地物の登録

地物（図形、属性）を登録する機能です。
特に図形の入力方法に関して説明します。
ポリゴン（面）、ライン（線）、ポイント（点）、それぞれで説明します。

17-1 地物の登録、作図、図形編集の関係

この機能は、後述の「18 作図」、「19 図形編集」とよく似た機能です。
それぞれの違いを説明します。

「17 地物の登録」

地物の図形、属性を同時に登録する機能です。
登録された地物は、本システムのデータベースに登録され、
通常のデータ（属性ファイル、レイヤ）として扱われます。



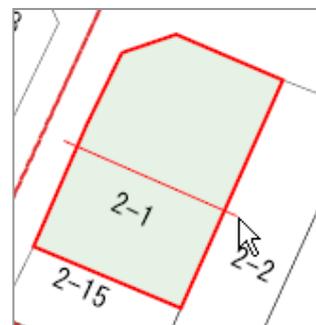
「18 作図」

これは、本システムの図面を背景として、点、線、面のKMLを作成する機能です。
お絵かきの機能です。
作成したKMLは、ダウンロードし個人で管理します。
本システムのデータベースには登録されません。
地図として表示する場合は、そのKMLを本システム
にアップロードします。
又は、Google Earth でも表示可能です。



「19 図形編集」

地物の図形を登録する機能です。
「17 地物の登録」の図形に特化した高機能版です。
例えば、座標による正確な登録も可能です。
また、面に関しては、分割、結合、共有線分の編集等、
細かな編集も可能です。



17-2 ポリゴン登録

属性ファイルを選択後、「新規登録」をクリックします。
マウスクリックで、矩形の頂点を入力します。

属性検索設定

図形入力テスト 吹き出し

属性: テスト_ポリゴン 全て

添付ファイル参照

更新モード **新規登録**

属性一覧表示



この時、ブラウザの左下に表示されているのが入力のガイドになります。

ダブルクリックで入力終了 (確定)

キーボードから "u" でアンドゥ (前のポイント入力の取り消し)

キーボードから "r" でリドゥ (前のポイント入力の取り消しをやり直し)

"Esc" キーで再入力 (最初から)

面入力 > ダブルクリック:終了 "u":アンドゥ "r":リドゥ "Esc":再入力

※注意

このキーボード入力補助は IE8 では動作しません。

入力終了で属性の入力ウィンドウが表示されます。

テスト_ポリゴン

追加 図形編集 図形再入力 閉じる

ラベル	SYSNGID3
属性 1	
属性 2	
属性 3	

追加する添付ファイル: 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.98807709,33.7296269375

属性を入力後、「追加」ボタンクリックで図形と属性の入力登録が完了します。

テスト_ポリゴン

追加 図形編集 図形再入力 閉じる

ラベル	SYSNGID3
属性	テスト
属性2	123
属性3	01 属性A

追加する添付ファイル: D:\demo\photo\eyes0 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.98807709,33.7296269375

確認

テスト_ポリゴンの登録が正常終了しました

OK

テスト_ポリゴン

追加 更新 削除 図形編集 図形再入力 閉じる

ラベル	UC0034
属性1	テスト
属性2	123
属性3	01 属性A

--更新対象選択-- 変更 削除 追加

追加する添付ファイル: 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv



位置情報: 135.988077107,33.729626917

更新: 属性の再更新。

削除: 登録した地物の削除。

図形編集: 登録した図形の編集。

図形再入力: 図形の再入力。

閉じる: ウィンドウを閉じる。

17-3 ポリゴン修正

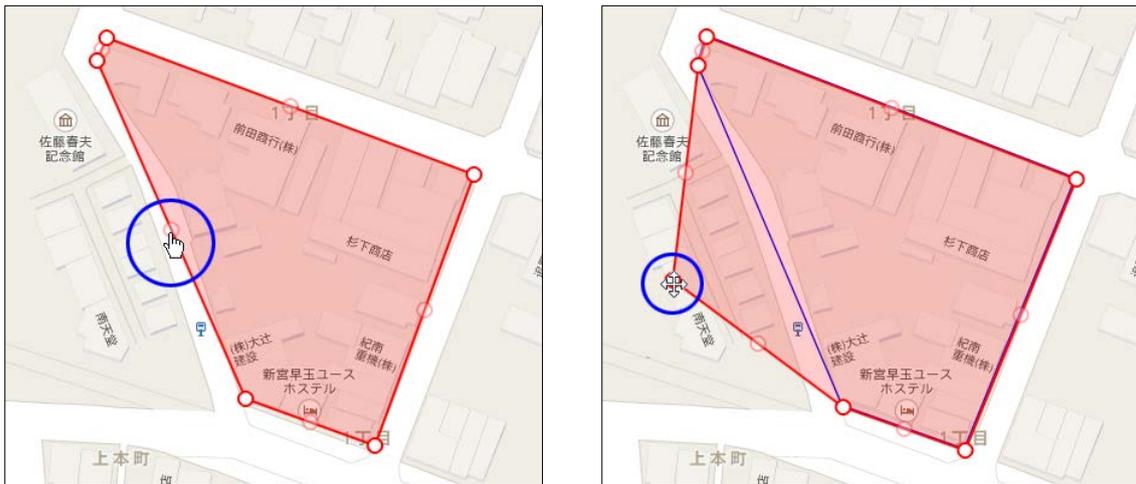
登録後の地物を修正する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象図形をマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「図形編集」をクリックします。



編集対象のポリゴンには頂点ラインの間に補助頂点が表示されています。



この補助頂点をマウスドラッグし、図形の修正を行います。

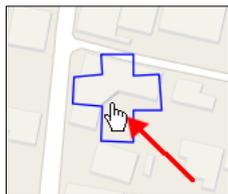
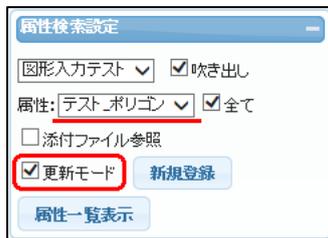


修正終了は、ポリゴンの外をマウスクリックすると属性ウィンドウが表示されるので、「更新」ボタンクリックで修正完了です。

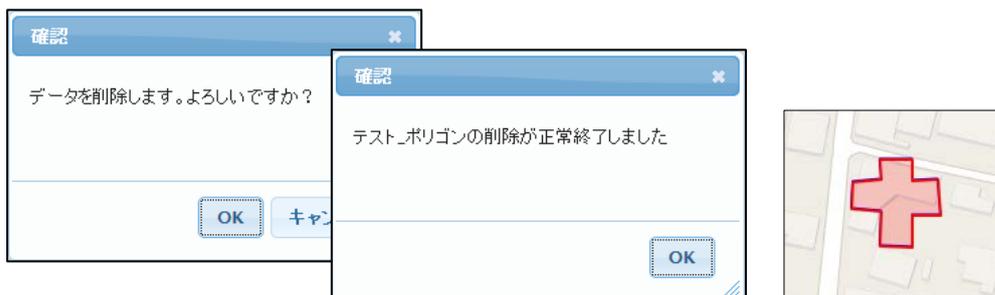
属性ウィンドウで、属性の修正も可能です。

17-4 ポリゴン削除

登録後の地物を削除する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象ポリゴンをマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「削除」をクリックします。



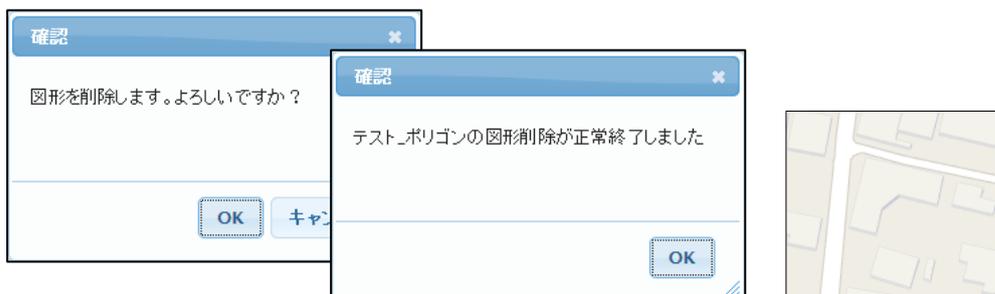
データを削除しますかの問いに「OK」クリックで、まず属性データが削除されます。



続いて「図形削除」をクリックします。



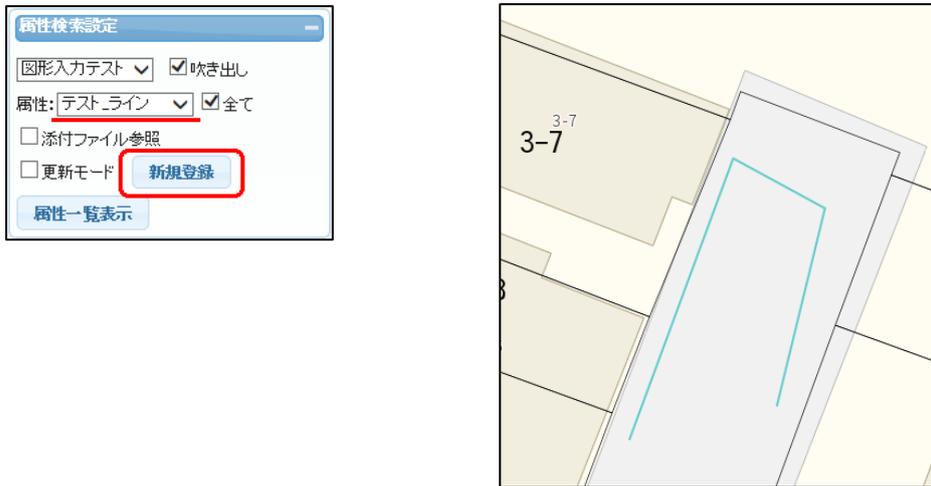
図形を削除しますかの問いに「OK」クリックで、図形が削除されます。



以上のように、図形削除は「属性」→「図形」と順に削除する必要があります。属性のみを削除しますと、図形が残ってしまいます。1つの図形に複数の属性がリンクすることを想定していますので、この操作方法となっています。

17-5 ライン登録

属性ファイルを選択後、「新規登録」をクリックします。
マウスクリックで、ラインの頂点を入力します。



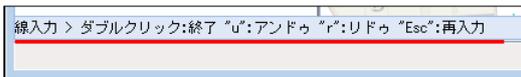
この時、ブラウザの左下に表示されているのが入力のガイドになります。

ダブルクリックで入力終了（確定）

キーボードから "u" でアンドゥ（前のポイント入力の取り消し）

キーボードから "r" でリドゥ（前のポイント入力の取り消しをやり直し）

"Esc" キーで再入力（最初から）



※注意

このキーボード入力補助はIE8では動作しません。

入力終了で属性の入力ウィンドウが表示されます。



属性を入力後、「追加」ボタンクリックで図形と属性の入力登録が完了します。

テスト_ライン

追加 図形編集 図形再入力 閉じる

ラベル	SYSNGID5
属性1	テストライン
属性2	999
属性3	01 属性A

追加する添付ファイル: D:\demo\photo\eyes0 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.989170224,33.730291729

確認

テスト_ラインの登録が正常終了しました

OK

テスト_ライン

追加 更新 削除 図形編集 図形再入力 閉じる

ラベル	UG0035
属性1	テストライン
属性2	999
属性3	01 属性A

--更新対象選択-- 変更 削除 追加

追加する添付ファイル: 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv



位置情報: 135.989170241,33.7302917085

更新：属性の再更新。

削除：登録した地物の削除。

図形編集：登録した図形の編集。

図形再入力：図形の再入力。

閉じる：ウィンドウを閉じる。

17-6 ライン修正

登録後の地物を修正する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象図形をマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「図形編集」をクリックします。



編集対象のラインには頂点ラインの間に補助頂点が表示されています。



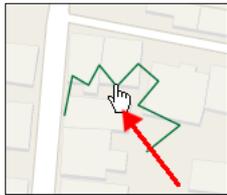
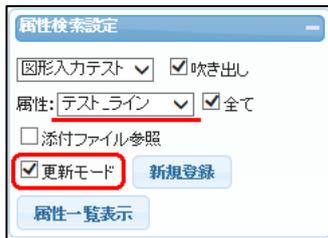
この補助頂点をマウスドラッグし、図形の修正を行います。

修正終了は、ラインの外をマウスクリックすると属性ウィンドウが表示されるので、「更新」ボタンクリックで修正完了です。

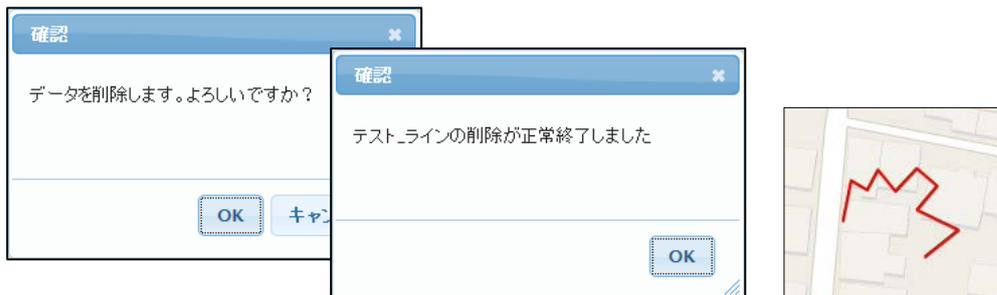
属性ウィンドウで、属性の修正も可能です。

17-7 ライン削除

登録後の地物を削除する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象ラインをマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「削除」をクリックします。



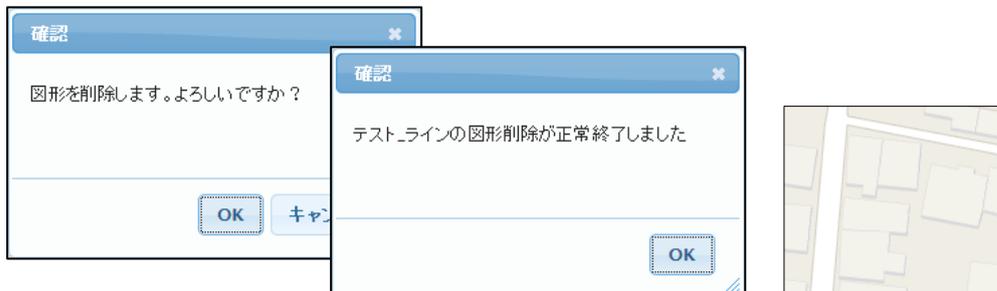
データを削除しますかの問いに「OK」クリックで、まず属性データが削除されます。



続いて「図形削除」をクリックします。



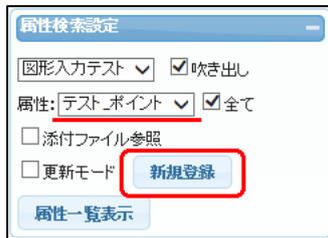
図形を削除しますかの問いに「OK」クリックで、図形が削除されます。



以上のように、図形削除は「属性」→「図形」と順に削除する必要があります。
属性のみを削除しますと、図形が残ってしまいます。
1つの図形に複数の属性がリンクすることを想定していますので、この操作方法となっています。

17-8 シンボル登録

属性ファイルを選択後、「新規登録」をクリックします。
マウスクリックで、ポイントを入力します。



属性検索設定

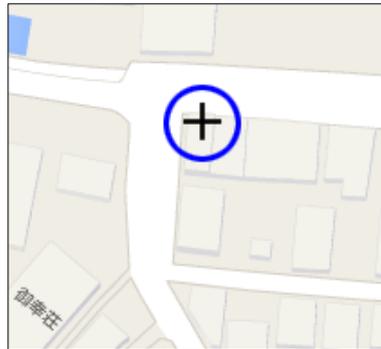
図形入力テスト 吹き出し

属性: テスト_ポイント 全て

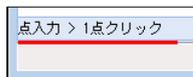
添付ファイル参照

更新モード **新規登録**

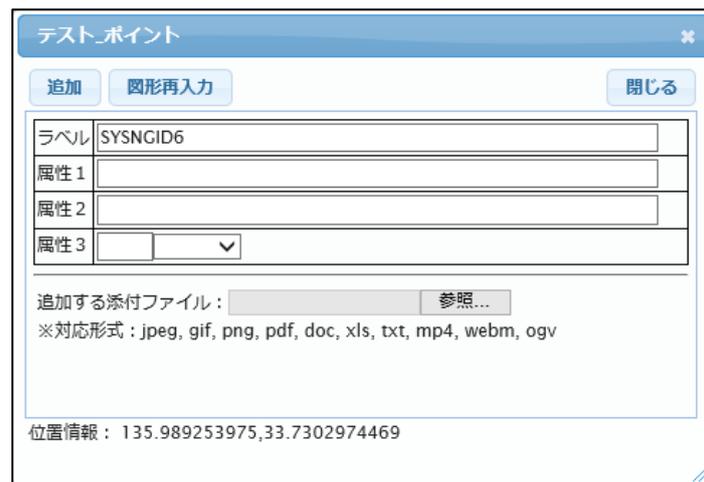
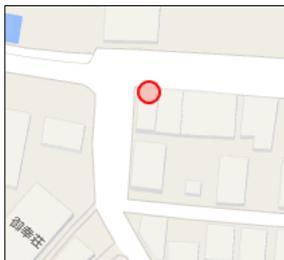
属性一覧表示



この時、ブラウザの左下に表示されているのが入力のガイドになります。
ポリゴン・ラインと異なり、ポイントはクリックすることで入力終了（確定）となります。



入力終了で属性の入力ウィンドウが表示されます。



テスト_ポイント

追加 図形再入力 閉じる

ラベル SYSNGID6

属性1

属性2

属性3

追加する添付ファイル: 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.989253975,33.7302974469

属性を入力後、「追加」 ボタンクリックで図形と属性の入力登録が完了します。

ラベル	SYSNGID6
属性1	テストポイント
属性2	111111
属性3	03 属性C

追加する添付ファイル: D:\demo\photo\eyes0 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.989253975,33.7302974469

確認

テスト_ポイントの登録が正常終了しました

OK

更新：属性の再更新。

削除：登録した地物の削除。

図形編集：登録した図形の編集。

図形再入力：図形の再入力。

閉じる：ウィンドウを閉じる。

ラベル	UG0036
属性1	auto0000000000000004
属性2	5
属性3	03 属性C

--更新対象選択-- 変更 削除 追加

追加する添付ファイル: [Image Preview] 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.989253992,33.7302974264

17-9 シンボル修正

登録後の地物を修正する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象図形をマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「図形再入力」をクリックします。

属性検索設定

図形入力テスト 吹き出し

属性: テスト_ポイント 全て

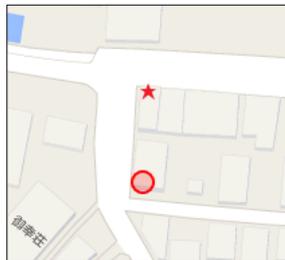
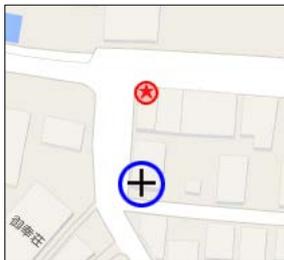
添付ファイル参照

更新モード

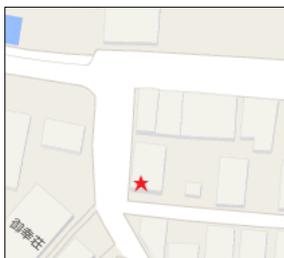
テスト_ポイント

ラベル	UG0001
属性_文字	点検テスト
属性_数値	123.560
属性_コード	01 属性A
登録者	neogis
登録日	2015-08-31

シンボルの移動先でマウスクリックを行い、図形の修正を行います。

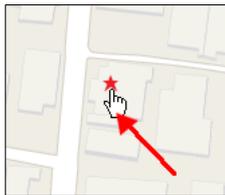
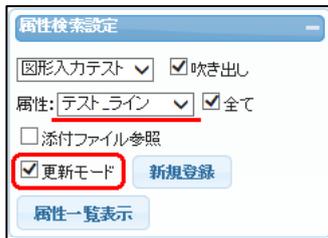


修正終了は、ラインの外をマウスクリックすると属性ウィンドウが表示されるので、「更新」ボタンクリックで修正完了です。

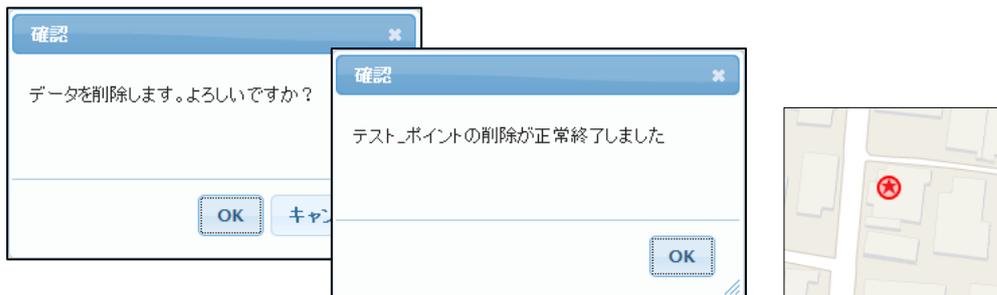


17-10 シンボル削除

登録後の地物を削除する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象シンボルをマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「削除」をクリックします。



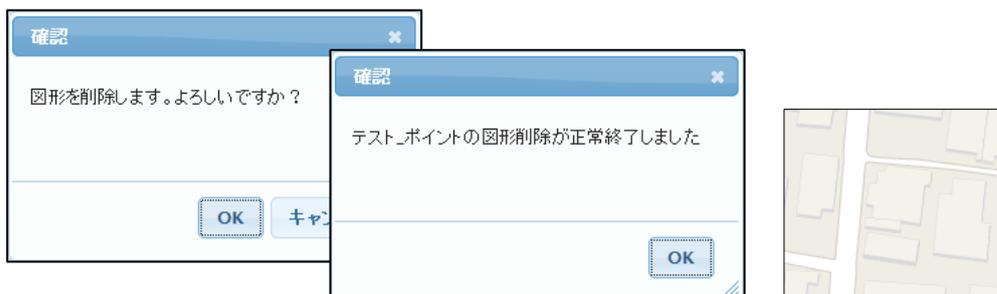
データを削除しますかの問いに「OK」クリックで、まず属性データが削除されます。



続いて「図形削除」をクリックします。



図形を削除しますかの問いに「OK」クリックで、図形が削除されます。



以上のように、図形削除は「属性」→「図形」と順に削除する必要があります。
属性のみを削除しますと、図形が残ってしまいます。
これは、1つの図形に複数の属性がリンクすることを想定しています。

18 作図

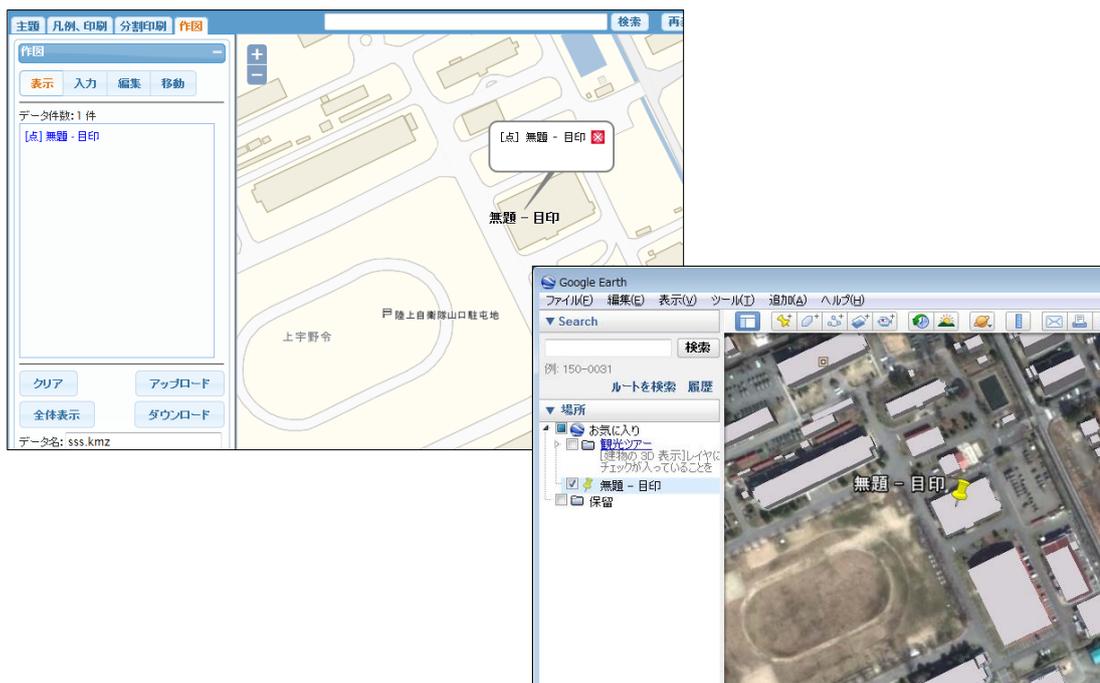
本システムの図面を背景として、点、線、面のKMLを作成する機能です。お絵かきの機能です。作成したKMLは、ダウンロードし個人で管理します。本システムのデータベースには登録されません。地図として表示する場合は、そのKMLを本システムにアップロードします。又は、Google Earth でも表示可能です。また、オプションにより、レイヤ管理も可能です。

18-1 作図機能

「作図」タブの、「作図」から、作図を行います。提供される作図機能は、点・線・面の入力編集と入力図形の情報編集機能です。

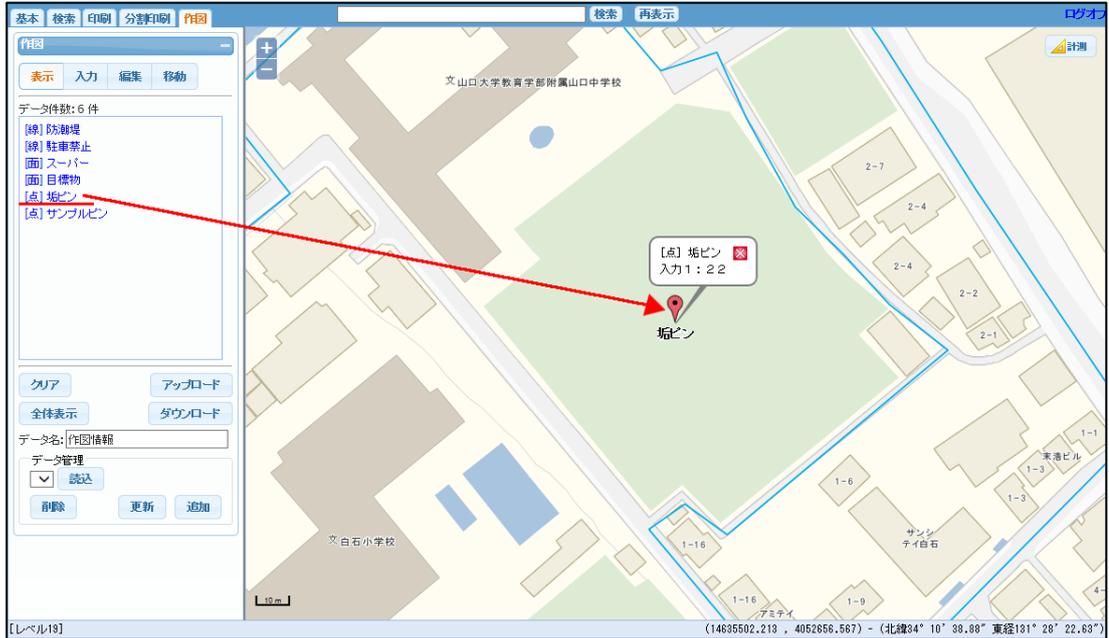


入力した情報は、KML形式のファイルでダウンロードすることができます。ダウンロードしたKMLファイルは、アップロードすることで再度編集することができます。ユーザーがGoogleEarth等で別途作成したKMLファイルを使用することも可能です。

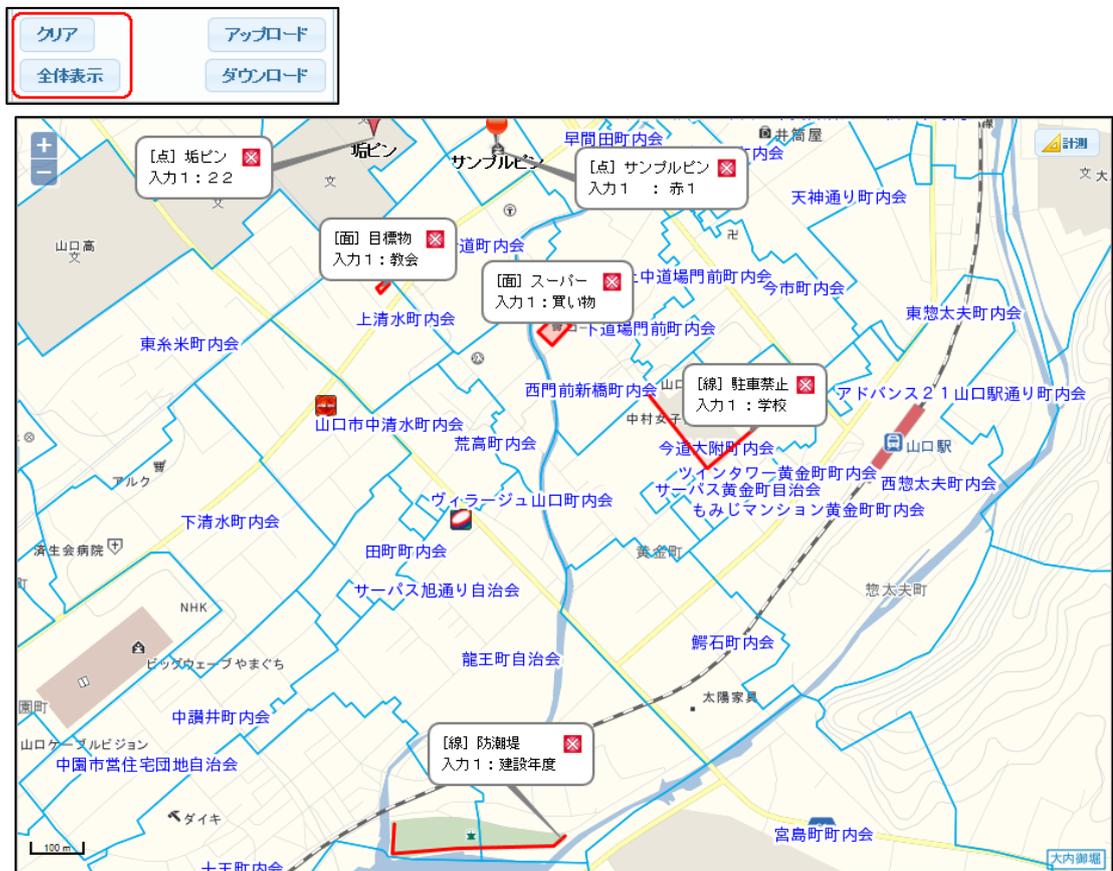


18-2 表示

作図された図形は「表示」で、検索表示可能です。



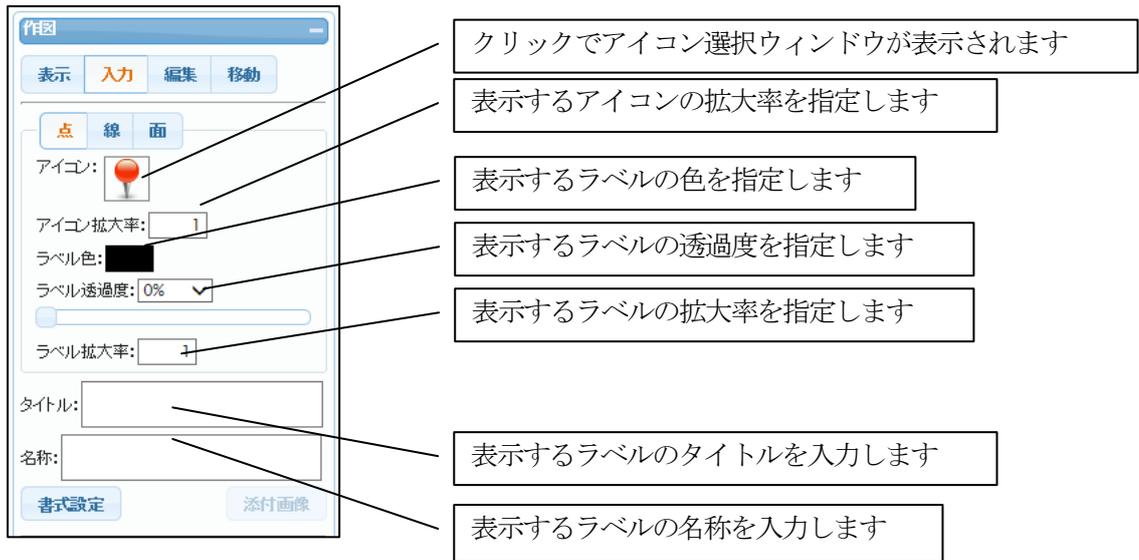
「全体表示」ボタンクリックで、表示リスト上のデータすべてを、地図表示ウィンドウに表示します。
「クリア」ボタンクリックで、表示データをすべて削除します。



18-3 入力

18-3-1 点入力

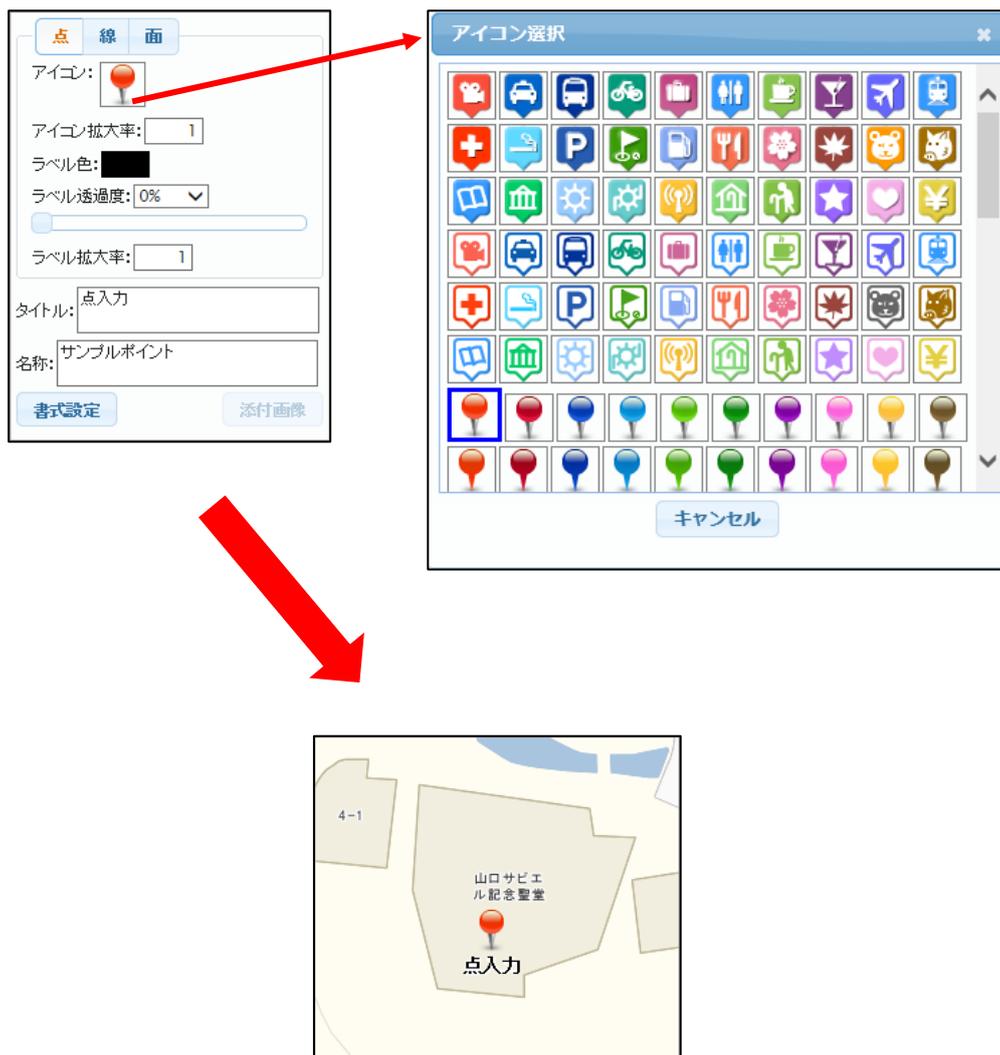
「入力」から「点」を選択します。



The screenshot shows the '作図' (Drawing) window with the '入力' (Input) tab selected. The '点' (Point) sub-tab is active. Callouts point to various settings:

- クリックでアイコン選択ウィンドウが表示されます (Clicking displays the icon selection window)
- 表示するアイコンの拡大率を指定します (Specify the zoom rate of the icon to be displayed)
- 表示するラベルの色を指定します (Specify the color of the label to be displayed)
- 表示するラベルの透過度を指定します (Specify the transparency of the label to be displayed)
- 表示するラベルの拡大率を指定します (Specify the zoom rate of the label to be displayed)
- 表示するラベルのタイトルを入力します (Enter the title of the label to be displayed)
- 表示するラベルの名称を入力します (Enter the name of the label to be displayed)

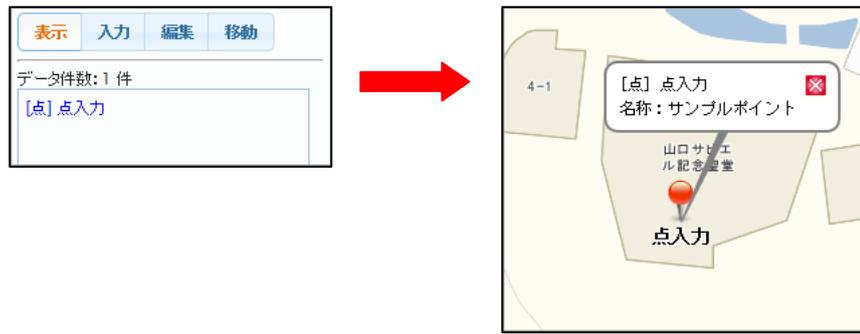
作成する「アイコン」を選択し、表示させる「タイトル」「名称」を入力後、「地図表示ウィンドウ」上の該当箇所でもウスクリックで入力を行います。



The diagram illustrates the workflow:

- The '作図' (Drawing) window is shown with the '点' (Point) sub-tab selected. The 'アイコン' (Icon) is set to a red pin, 'アイコン拡大率' (Icon zoom rate) is 1, 'ラベル色' (Label color) is black, 'ラベル透過度' (Label transparency) is 0%, and 'ラベル拡大率' (Label zoom rate) is 1. The 'タイトル' (Title) is '点入力' (Point Input) and the '名称' (Name) is 'サンプルポイント' (Sample Point).
- An arrow points to the 'アイコン選択' (Icon Selection) window, which displays a grid of various icons. A red pin icon is selected.
- A large red arrow points from the '作図' window to the '地図表示ウィンドウ' (Map Display Window), which shows a map with a red pin icon placed on a location labeled '山口サビエル記念聖堂' (Yamaguchi Sabiel Memorial Church). The label '点入力' (Point Input) is visible below the pin.

登録された図形は、「表示」のリストから検索参照が可能です



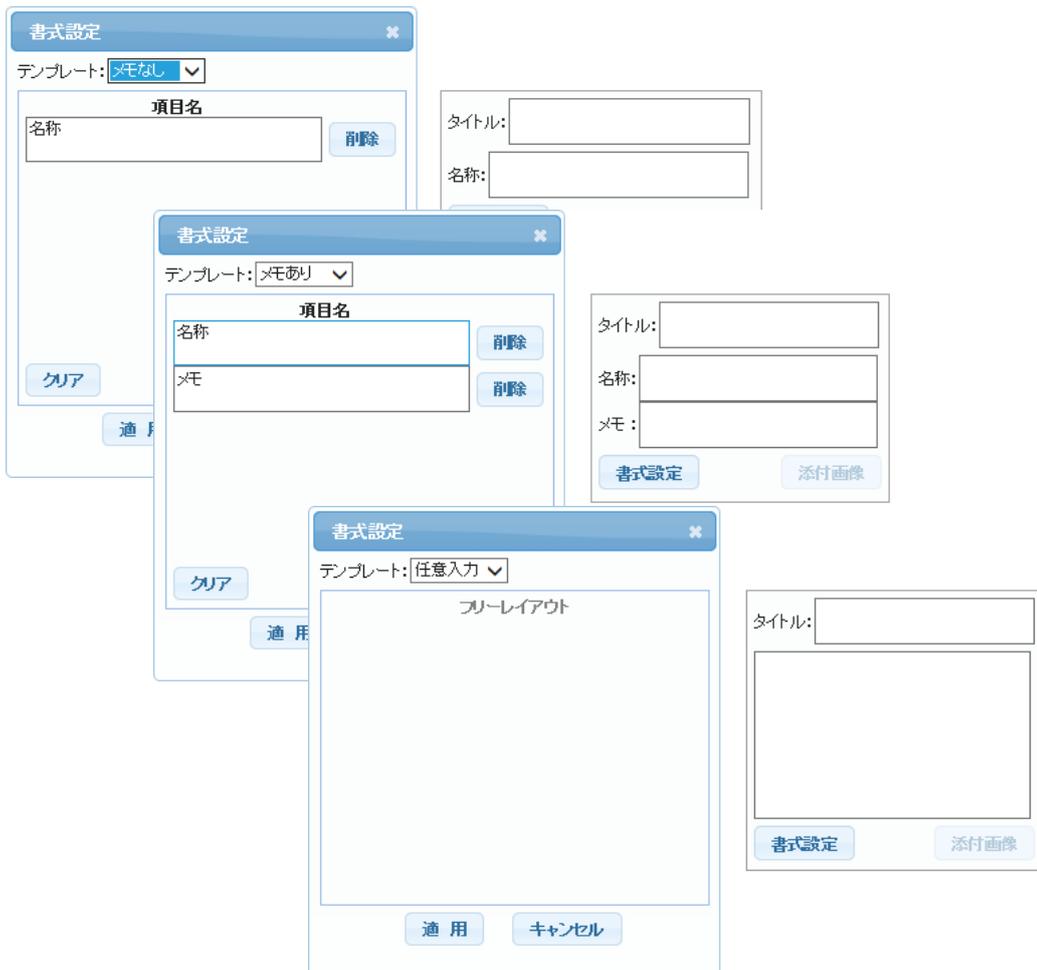
「書式設定」では、属性情報の書式を変更することが出来ます。

「書式設定」ボタンクリックで書式設定ウィンドウが表示されます。

テンプレートは「メモなし」「メモあり」「任意入力」の3種が用意されています。



テンプレートを選択・適用すると、表示データ入力フィールドが変更されます。



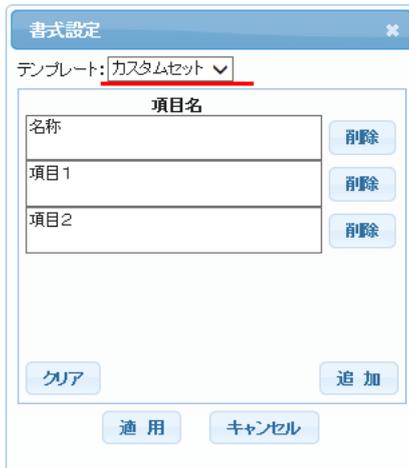
「書式設定」ウィンドウで、「追加」ボタンクリックで「表示項目」を追加することができます。

「追加」ボタンをクリックすると、項目名一覧にフィールドが追加されます。



追加されたフィールドに項目名称を入力し、「適用」クリックで表示データ入力フィールドが変更されます。

修正された項目定義は「カスタムセット」のテンプレート名で管理されます。



18-3-2 線入力

「入力」から「線」を選択します。

このダイアログボックスには、線の表示設定を行うための以下のような項目があります。

- 表示する線色を指定します (線色: 赤色)
- 表示する線幅を指定します (線幅: 3 px)
- 表示する線の透過度を指定します (線透過度: 0%)
- 表示するラベルのタイトルを入力します (タイトル:)
- 表示するラベルの名称を入力します (名称:)

ボタン: 書式設定, 添付画像

「線色」、「線幅」等を選択し、表示させる「タイトル」「名称」を入力後、「地図表示ウィンドウ」上でマウスクリックにより入力を行います。

設定されたダイアログボックス (タイトル: 線入力, 名称: サンプルライン) を使って、地図上でマウスをクリックして線を指定し、入力終了はダブルクリックします。

キーボードから入力するキーとして

- u : アンドゥ・1 回戻る
- r : リドゥ・アンドゥの取り消し
- Esc : 再入力

があります

ブラウザ左下にガイドとして表示されています。

登録された図形は、「表示」のリストから検索参照が可能です

「表示」タブを選択すると、登録された図形がリストに表示されます。

データ件数: 1 件

[線] 線入力

地図上の tooltip: [線] 線入力, 名称: サンプルライン

18-3-3 面入力

「入力」から「面」を選択します。

作図

表示 入力 編集 移動

点 線 面

線色: [赤色] 線幅: 3 px
線透過度: 0%

面色: [赤色]
面透過度: 80%

面を塗りつぶす

外形線を描画する

タイトル: []

名称: []

書式設定 添付画像

- 表示する線色を指定します
- 表示する線幅を指定します
- 表示する線の透過度を指定します
- 表示する面色を指定します
- 表示する面の透過度を指定します
- 表示する面の塗りつぶしの設定を行います
- 表示する面の外形線の描画の設定を行います
- 表示するラベルのタイトルを入力します
- 表示するラベルの名称を入力します

「面色」、「面透過度」等を選択し、表示させる「タイトル」「名称」を入力後、「地図表示ウィンドウ」上でマウスクリックにより入力を行います。

点 線 面

線色: [赤色] 線幅: 3 px
線透過度: 0%

面色: [赤色]
面透過度: 80%

面を塗りつぶす

外形線を描画する

タイトル: 面入力

名称: サンプルポリゴン

書式設定 添付画像

山口サビエル記念聖堂

マウスクリックで、線分のポイントを指定し、入力終了はダブルクリックします。
キーボードから入力するキーとして

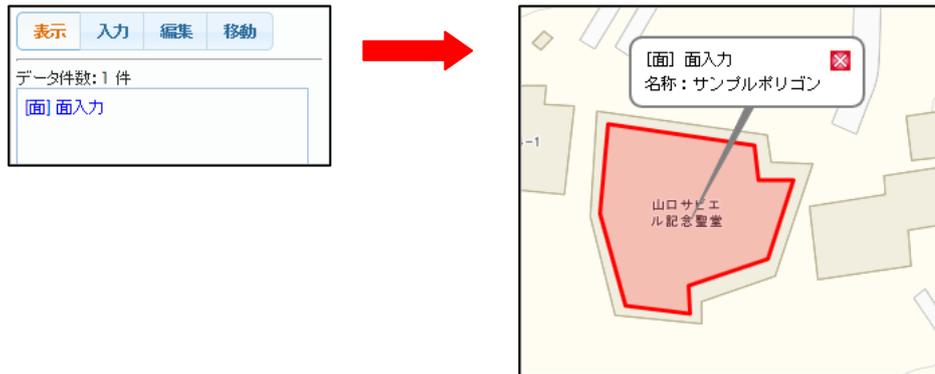
u : アンドゥ・1回戻る

r : リドゥ・アンドゥの取り消し

Esc : 再入力

があります

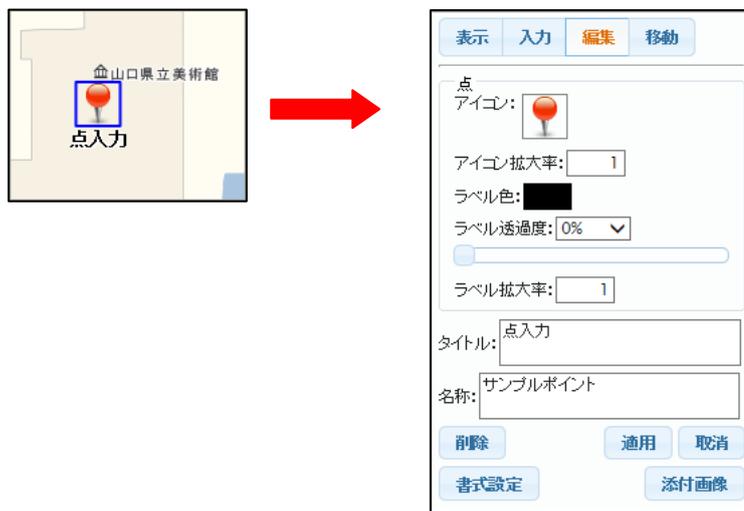
登録された図形は、「表示」のリストから検索参照が可能です



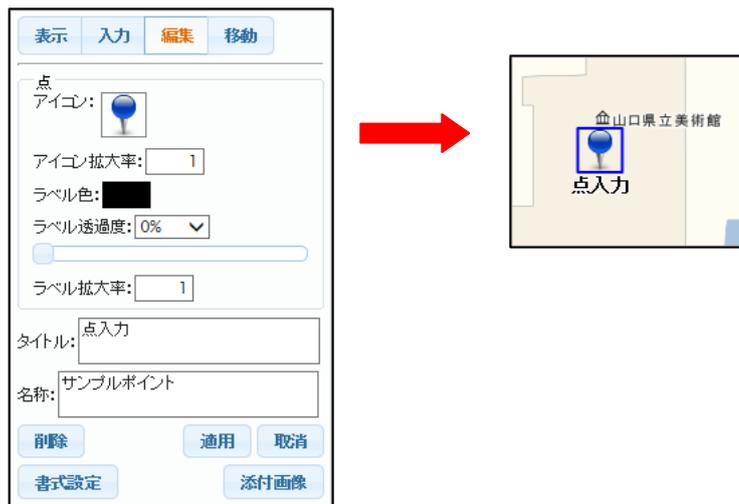
18-4 編集

18-4-1 点編集

編集する「点」をマウスクリックで選択し、修正項目を設定します。



設定後、「適用」クリックで変更が反映されます。

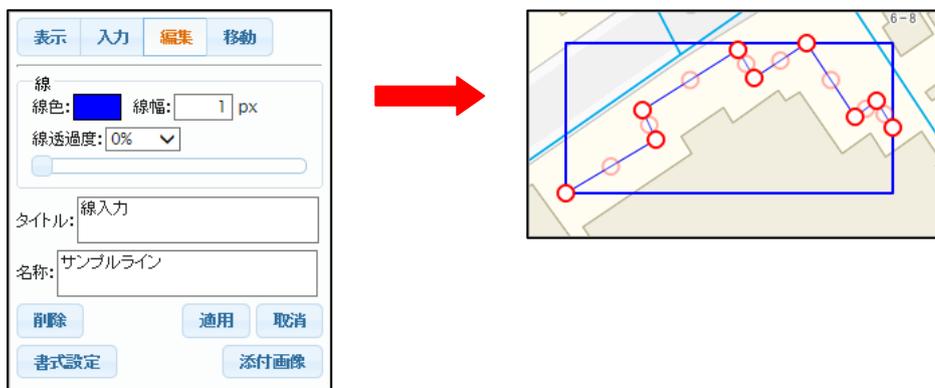


18-4-2 線編集

編集する「線」をマウスクリックで選択し、修正項目を設定します。



設定後、「適用」クリックで変更が反映されます。



線分の中間ポイントの○を、マウスドラッグで新規ポイントに設定します。

○の外をクリックで、編集終了

○内で「Del」キーで、ポイントを削除します。

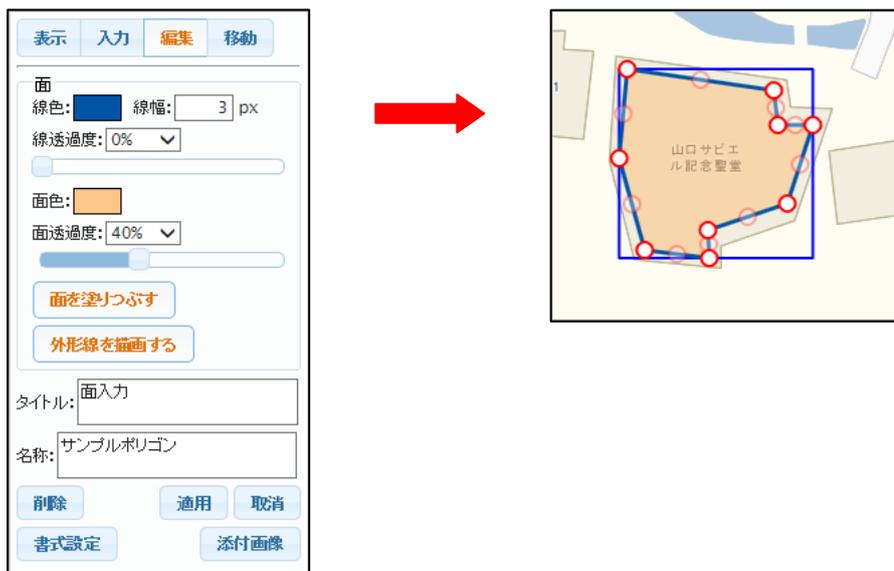


18-4-3 面編集

編集する「面」をマウスクリックで選択し、修正項目を設定します。



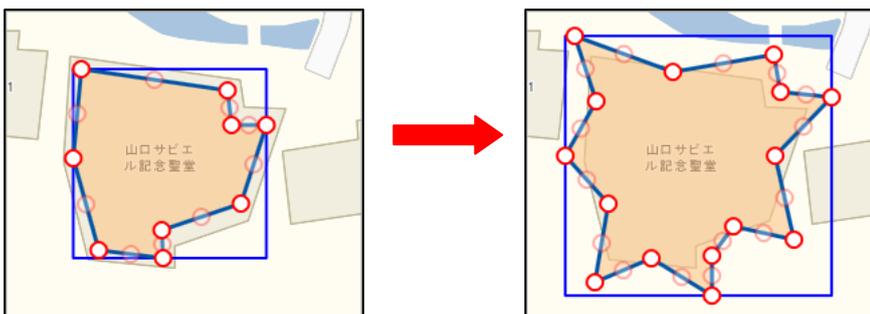
設定後、「適用」クリックで変更が反映されます。



線分の中点ポイントの○を、マウスドラッグで新規ポイントに設定します。

○の外をクリックで、編集終了

○内で「Del」キーで、ポイントを削除します。



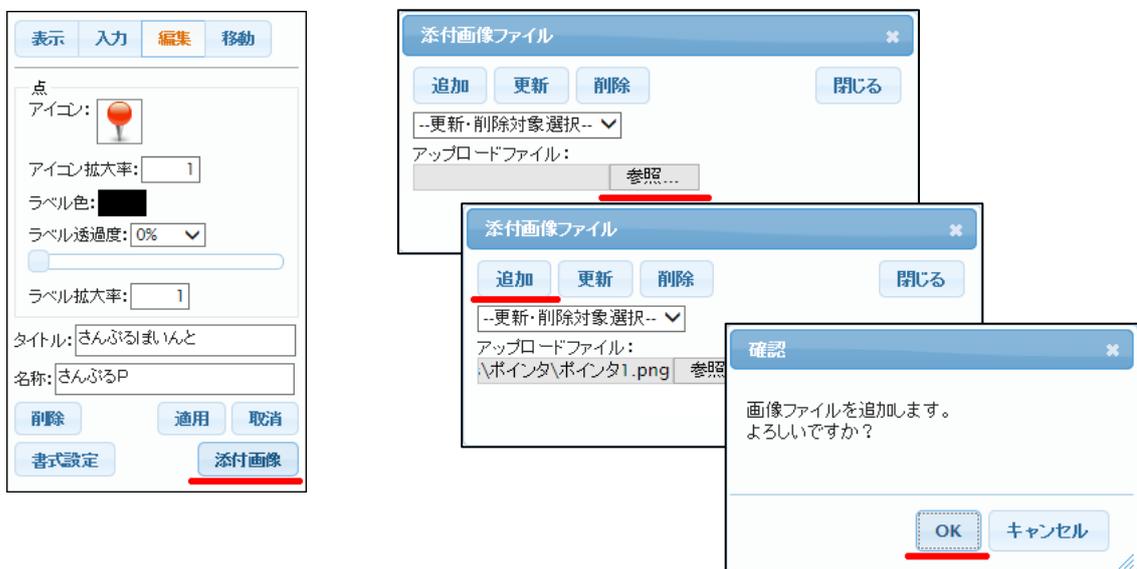
18-4-4 添付画像

入力した図形にイメージを添付します。

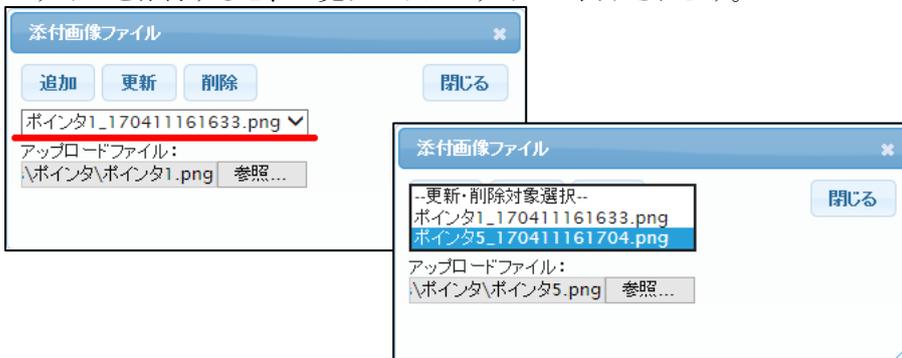
このイメージは、後記のダウンロードファイルにも適用されます。



作図編集時に有効になる「添付画像」をクリックし、添付画像を指定し「追加」をクリックします。



複数のファイルを添付すると、一覧リストにファイルが表示されます。



18-5 移動

18-5-1 点移動

移動する「点」をマウスクリックで選択し、マウストラッグで移動します。



点移動の際にも、修正項目の設定も可能です。

18-5-2 線移動

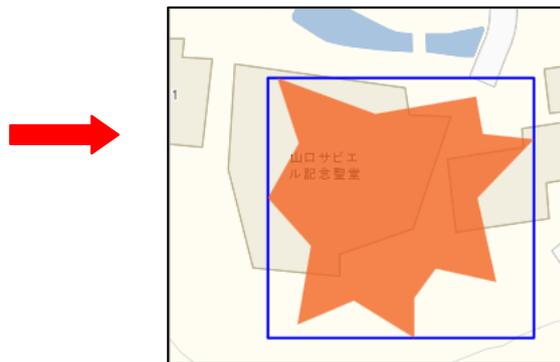
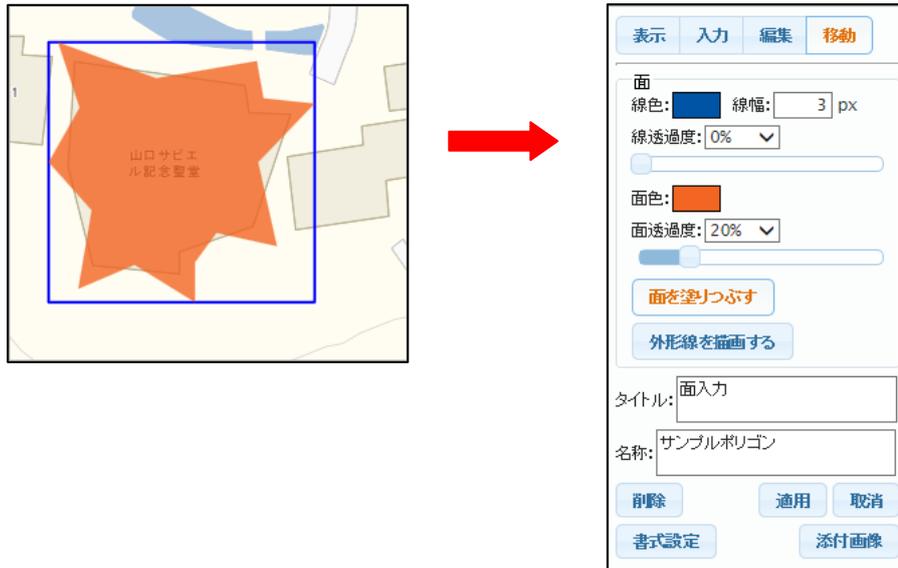
移動する「線」をマウスクリックで選択し、マウスドラッグで移動します。



線移動の際にも、修正項目の設定も可能です。

18-5-3 面移動

移動する「面」をマウスクリックで選択し、マウスドラッグで移動します。



面移動の際にも、修正項目の設定も可能です。

18-6 レイヤ管理

オプションにより、作図でもレイヤ管理が可能です。

下図は、複数のレイヤを使用した例です。



レイヤ単位で、表示ON/OFFが可能です。

下図は、レイヤ「レイヤ・点」を、OFFにした例です。



レイヤ名は、任意に変更可能です。

但し、レイヤ数は、ここでは変更できません。事前にシステム設定された数となります。
変更したい場合は、管理者に相談願います。

18-7 ダウンロード

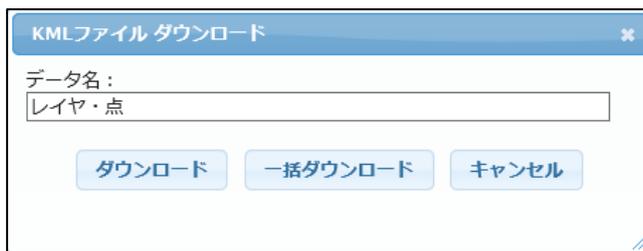
作成した図を、KML形式でダウンロードします。

実際には、kmz という拡張子のファイルでダウンロードします。

kmz とは、KML の圧縮形式です。中に KML、添付画像、アイコン等を含みます。



「ダウンロード」ボタンクリックで、「KML ファイルダウンロード」ウィンドウが表示されます。



「ダウンロード」または、「一括ダウンロード」ボタンクリックで、KML ファイルが作成され、「ダウンロード」ボタンが表示されます。



「ダウンロード」ボタンクリックで、ファイルのダウンロードが可能です。

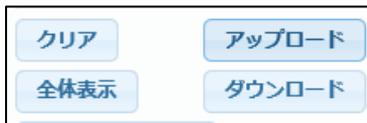
「ダウンロード」と「一括ダウンロード」の違い。

レイヤ管理されていない場合は、どちらも同一の機能となります。

レイヤ管理されている場合、「ダウンロード」は、現在表示中のレイヤのみで KML を作成します。また、「一括ダウンロード」は、すべてのレイヤを KML 上でもレイヤ分けした状態で KML 作成します。

18-8 アップロード

KML 形式ファイルを、本システムにアップロードし表示します。



「アップロード」ボタンクリックで、「KML ファイルアップロード」ウィンドウが表示されます。



「アップロード」または、「一括アップロード」ボタンクリックで、KML ファイルがアップロードされ、KML が表示されます。

「アップロード」と「一括アップロード」の違い。

レイヤ管理されていない場合は、どちらも同一の機能となります。

レイヤ管理されている場合、「アップロード」は、現在表示中のレイヤに KML をロードします。

KML ファイルがレイヤ分けされている場合でも、1 レイヤにまとめてロードされます。

また、「一括アップロード」は、KML ファイルのレイヤ分けに合わせて本システム上もレイヤ分けされてロードされます。

「属性項目は名称で並び替える」ボタン：

KML ファイル内の項目定義順ではなく、項目名で並び替えて、本システムにロードします。

項目順が不定である、あるソフト向けに用意した機能です。

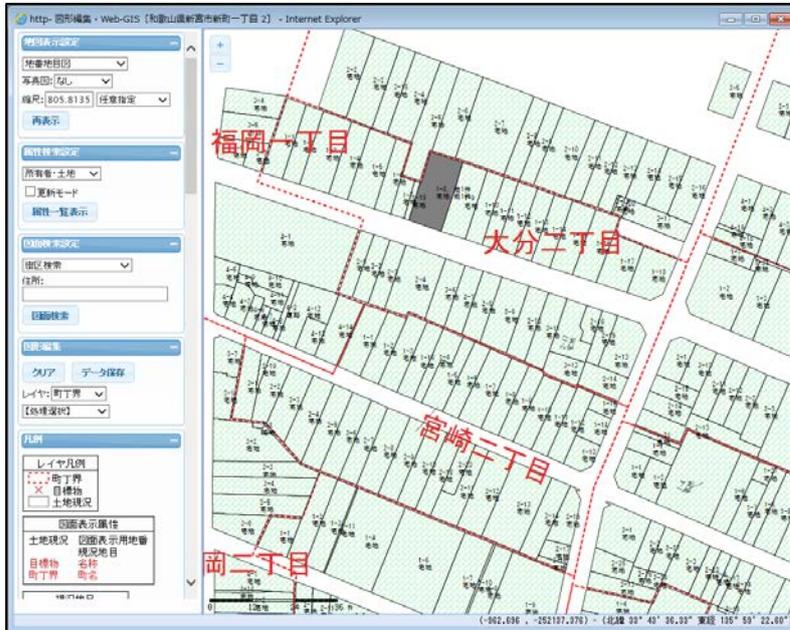
通常は使用しません。

19 図形編集

地物の図形を登録、編集する機能です。

「17 地物の登録」の図形に特化した高機能版です。

図形編集機能は、別ウィンドウで起動されます。

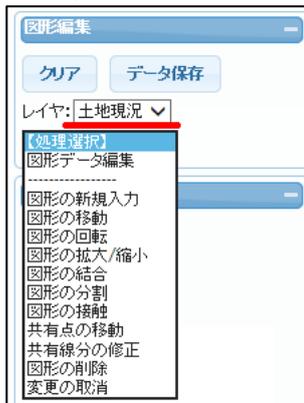


表示されているレイヤが対象となります



処理メニューは下記のようになります。 レイヤタイプにより「処理メニュー」が異なります。

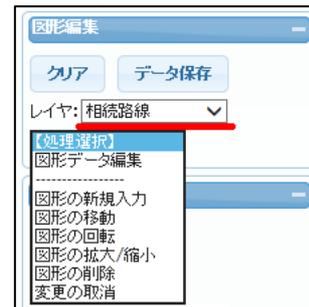
ポリゴン



ポイント



ライン



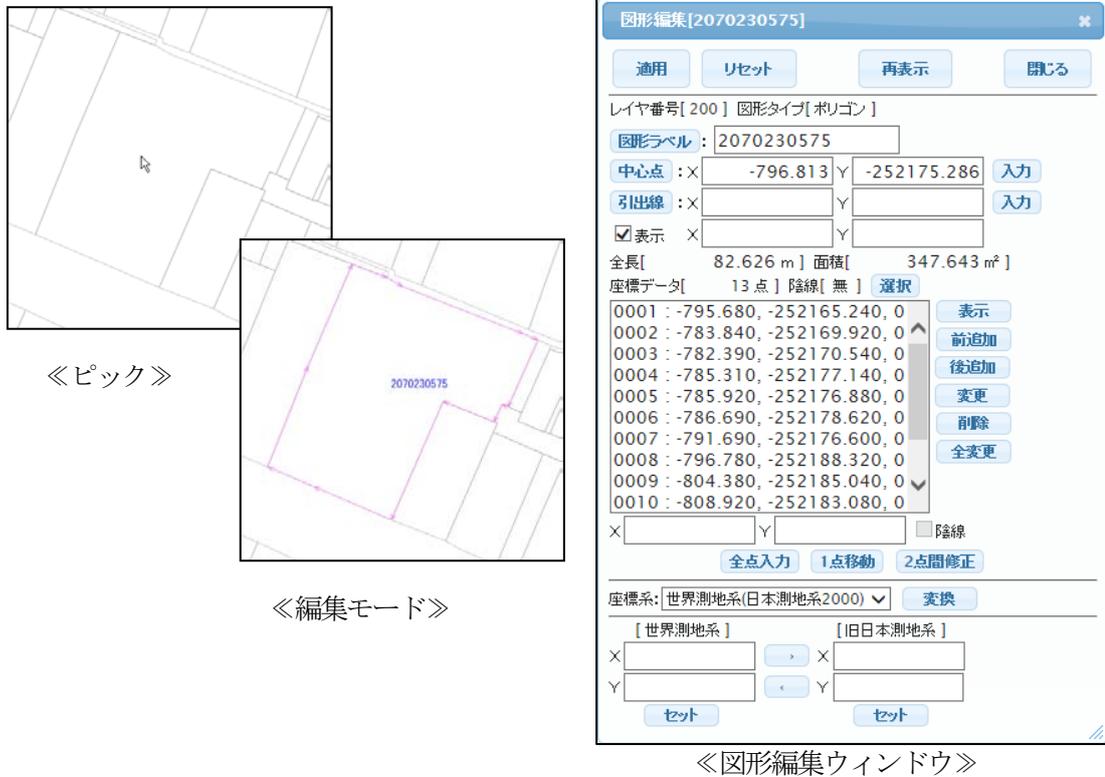
ポイント、ラインの図形編集はポリゴンの場合と同様に処理を行います。

以降の説明ではポリゴンの場合をメインとして解説します。

すべての編集は、「データ保存」ボタンのクリックまでは、データベースに保存されません。

19-1 ポリゴン編集

処理メニューから「図形データ編集」を選択し、対象図形をクリックすると
図形編集ウィンドウが起動され、図形も地図表示ウィンドウで編集モードに切り替わります。



「図形ラベル」ボタン

図形上の図形ラベルの、表示/非表示を切り替えます。

「中心点」ボタン

図形上の中心点の、表示/非表示を切り替えます。

「引き出し線」ボタン

図形上の引き出し線の、表示/非表示を切り替えます。



「表示」チェック

地図表示の際の引き出し線の表示/非表示を指定します。 (で表示)

「入力」ボタン

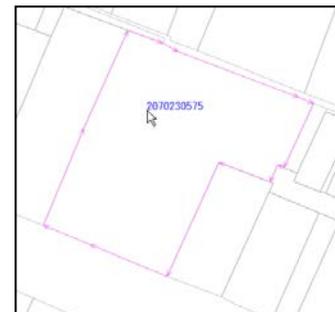
図形上の中心点・引き出し線をマウスクリックで入力します。

図形編集[2070230412]					
適用		リセット	再表示	閉じる	
レイヤ番号[200] 図形タイプ[ポリゴン]					
図形ラベル : 2070230412					
中心点	:X	-822.744	Y	-252223.438	入力
引出線	:X	-828.964	Y	-252225.951	入力
<input checked="" type="checkbox"/> 表示	X	-824.729	Y	-252217.220	
全長[77.929 m]		面積[371.095 m ²]			

中心点

入力ボタンを押し、地図表示ウィンドウ上でマウスクリックします。

中心点入力 > 1点クリック



引き出し線

入力ボタンを押し、地図表示ウィンドウ上で3点（引き出し線開始位置、文字開始位置、文字方向）マウスクリックします。

引出線入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了

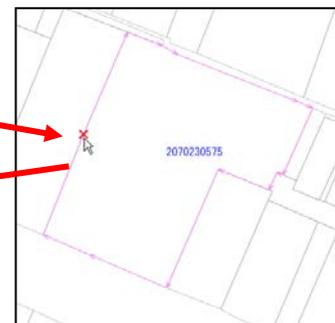


「選択」ボタン

選択ボタンをクリックし、地図表示ウィンドウ上で頂点をマウスクリックします。

選択した座標が、リスト上で選択されます。

全長[82.626 m]	面積[347.643 m ²]			
座標データ[13点]	陰線[無]	選択		
0004 : -785.310, -252177.140, 0		表示		
0005 : -785.920, -252176.880, 0		前追加		
0006 : -786.690, -252178.620, 0		後追加		
0007 : -791.690, -252176.600, 0		変更		
0008 : -796.780, -252188.320, 0		削除		
0009 : -804.380, -252185.040, 0		全変更		
0010 : -808.920, -252183.080, 0				
0011 : -804.960, -252173.120, 0				
0012 : -800.620, -252163.020, 0				
0013 : -797.190, -252164.360, 0				
X	-804.960	Y	-252173.120	<input type="checkbox"/> 陰線
全点入力		1点移動	2点間修正	
座標系: 世界測地系(日本測地系2000)		変換		



「表示」ボタン

選択座標の強調表示/通常表示を切り替えます。

「前追加」ボタン

選択座標の前に数値入力した座標を追加します。

「後追加」 ボタン

選択座標の後に数値入力した座標を追加します。

「変更」 ボタン

選択座標を数値入力した座標で変更します。

「削除」 ボタン

選択座標を削除します。

全長[67.240 m] 面積[164.538 m²]
座標データ[8点] 陰線[無] 選択

0001	-783.840,	-252169.920,	0
0002	-782.390,	-252170.540,	0
0003	-785.310,	-252177.140,	0
0004	-785.920,	-252176.880,	0
0005	-786.690,	-252178.620,	0
0006	-791.690,	-252176.600,	0
0007	-808.920,	-252183.080,	0
0008	-804.960,	-252173.120,	0

X [-795.680] Y [-252165.240] 陰線

表示
前追加
後追加
変更
削除
全変更

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換



「全変更」 ボタン

全座標を手入力で変換する時使用します。

ボタンクリックで全座標を羅列したウィンドウが表示されますので、そこで座標を編集します。

全長[82.626 m] 面積[347.643 m²]
座標データ[13点] 陰線[無] 選択

0001	-795.680,	-252165.240,	0
0002	-783.840,	-252169.920,	0
0003	-782.390,	-252170.540,	0
0004	-785.310,	-252177.140,	0
0005	-785.920,	-252176.880,	0
0006	-786.690,	-252178.620,	0
0007	-791.690,	-252176.600,	0
0008	-796.780,	-252188.320,	0
0009	-804.380,	-252185.040,	0
0010	-808.920,	-252183.080,	0

X [] Y [] 陰線

表示
前追加
後追加
変更
削除
全変更

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

確認

座標データを入力して下さい (入力例: "100,100 200,200 300,100")

-795.680,-252165.240,0 -783.840,-252169.920,0 -782.390,-252170.540,0 -785.310,-252177.140,0

元座標に戻す OK キャンセル

「OK」: 編集座標を適用する。

「キャンセル」: 編集を中止してウィンドウを閉じます。

「元座標に戻す」: 編集前の座標に戻します。

「陰線」チェック ※ 2016/01/01 現在使用不可。

座標を変更する際に、陰線とする場合に☑を行います。

「全点入力」ボタン

全点をマウスで再入力する場合に使用します。
 全点入力ボタンをクリックし、地図表示ウィンドウ上で座標をマウスクリックで入力します。
 終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。

全長[82.626 m] 面積[347.643 m²]
 座標データ[13点] 陰線[無] 選択

0001	:-795.680, -252165.240, 0
0002	:-783.840, -252169.920, 0
0003	:-782.390, -252170.540, 0
0004	:-785.310, -252177.140, 0
0005	:-785.920, -252176.880, 0
0006	:-786.690, -252178.620, 0
0007	:-791.690, -252176.600, 0
0008	:-796.780, -252188.320, 0
0009	:-804.380, -252185.040, 0
0010	:-808.920, -252183.080, 0

X Y 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

元図形



入力確定

面入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了



全長[63.456 m] 面積[203.372 m²]
 座標データ[10点] 陰線[無] 選択

0001	:-806.739, -252181.981, 0
0002	:-803.371, -252175.366, 0
0003	:-799.642, -252165.382, 0
0004	:-794.830, -252167.426, 0
0005	:-785.928, -252170.554, 0
0006	:-787.131, -252173.441, 0
0007	:-788.093, -252175.967, 0
0008	:-791.943, -252175.486, 0
0009	:-796.153, -252181.260, 0
0010	:-797.717, -252185.229, 0

X Y 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

新図形



「1点移動」ボタン

1点移動ボタンをクリックし、地図表示ウィンドウ上で移動対象座標をマウスクリックします

全長[82.626 m] 面積[347.643 m²]
 座標データ[13点] 陰線[無] 選択

0001	-795.680	-252165.240	0
0002	-783.840	-252169.920	0
0003	-782.390	-252170.540	0
0004	-785.310	-252177.140	0
0005	-785.920	-252176.880	0
0006	-786.690	-252178.620	0
0007	-791.690	-252176.600	0
0008	-796.780	-252188.320	0
0009	-804.380	-252185.040	0
0010	-808.920	-252183.080	0

X: -804.380 Y: -252185.040 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換



移動元座標をマウスクリックします。



移動先の座標をマウスクリックします。



以上で1点移動が完了です。



全長[84.413 m] 面積[324.328 m²]
 座標データ[13点] 陰線[無] 選択

0001	-795.680	-252165.240	0
0002	-783.840	-252169.920	0
0003	-782.390	-252170.540	0
0004	-785.310	-252177.140	0
0005	-785.920	-252176.880	0
0006	-786.690	-252178.620	0
0007	-791.690	-252176.600	0
0008	-796.780	-252188.320	0
0009	-804.380	-252185.040	0
0010	-808.920	-252183.080	0

X: -804.380 Y: -252185.040 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

「2点間修正」 ボタン

2点間修正ボタンをクリックします。

全長[82.626 m]	面積[347.643 m ²]	
座標データ[13点]	陰線[無]	選択
0001 : -795.680, -252165.240, 0	表示	
0002 : -783.840, -252169.920, 0	前追加	
0003 : -782.390, -252170.540, 0	後追加	
0004 : -785.310, -252177.140, 0	変更	
0005 : -785.920, -252176.880, 0	削除	
0006 : -786.690, -252178.620, 0	全変更	
0007 : -791.690, -252176.600, 0		
0008 : -796.780, -252188.320, 0		
0009 : -804.380, -252185.040, 0		
0010 : -808.920, -252183.080, 0		
X <input type="text"/> Y <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> 陰線	
<input type="button" value="全点入力"/>	<input type="button" value="1点移動"/>	<input type="button" value="2点間修正"/>
座標系: 世界測地系(日本測地系2000)	<input type="button" value="変換"/>	



地図表示ウィンドウ上で、修正座標の始点・終点の選択を行います。



地図表示ウィンドウ上で修正座標をマウスクリックで入力します。

終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。



線入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了

以上で2点間修正が完了です。



座標系「変換」ボタン

座標データの変換を以下の2パターンを選択し、一括して変換します。

- ・世界測地系（日本測地系2000）
- ・旧日本測地系（Tokyo Datum）

0006 : -786.690, -252178.620, 0
0007 : -791.690, -252176.600, 0
0008 : -796.780, -252188.320, 0
0009 : -804.380, -252185.040, 0
0010 : -808.920, -252183.080, 0

X Y 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換
旧日本測地系(Tokyo Datum)

[世界測地系] [旧日本測地系]

X > X
Y < Y

セット セット

座標データをポイント毎に、世界測地系⇔旧日本測地系の変換を行います。

全長[82.626 m] 面積[347.643 m²]

座標データ[13点] 陰線[無] 選択

0001 : -795.680, -252165.240, 0
0002 : -783.840, -252169.920, 0
0003 : -782.390, -252170.540, 0
0004 : -785.310, -252177.140, 0
0005 : -785.920, -252176.880, 0
0006 : -786.690, -252178.620, 0
0007 : -791.690, -252176.600, 0
0008 : -796.780, -252188.320, 0
0009 : -804.380, -252185.040, 0
0010 : -808.920, -252183.080, 0

X -796.780 Y -252188.320 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

[世界測地系] [旧日本測地系]

X -796.780 > X -796.780
Y -252188.320 < Y -252188.320

セット セット

「再表示」ボタン

図形データの初期状態（デフォルト）を表示します。

「適用」ボタン

図形編集を確定します。

「リセット」ボタン

編集内容を破棄します。

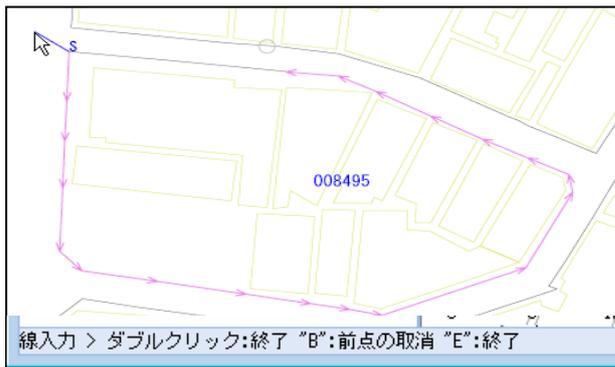
19-2 ライン編集

ラインのみの処理を説明します。

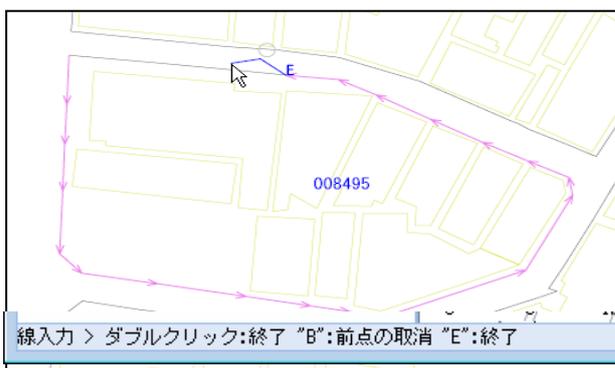
- 「始点到線分追加」ボタン
始点到線分を追加します。
- 「終点到線分追加」ボタン
終点到線分を追加します。



《始点到線分追加》



《終点到線分追加》



図形編集[008495]

適用 リセット 再表示 閉じる

レイヤ番号[062] 図形タイプ[ライン]

図形ラベル: 008495

中心点: X: -844.514 Y: -252358.086 入力

引出線: X: Y: 入力

表示 X: Y:

全長[114.444 m]

座標データ[20点] 陰線[無] 選択

0001	: -868.600, -252339.520, 0	表示
0002	: -868.830, -252345.280, 0	前追加
0003	: -869.030, -252349.980, 0	後追加
0004	: -869.230, -252355.440, 0	変更
0005	: -869.530, -252362.880, 0	削除
0006	: -867.350, -252365.180, 0	全変更
0007	: -859.880, -252366.420, 0	
0008	: -851.180, -252367.920, 0	
0009	: -844.830, -252369.020, 0	
0010	: -840.980, -252369.700, 0	

X: Y: 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

始点到線分追加 終点到線分追加

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

[世界測地系] [旧日本測地系]

X: > X:

Y: < Y:

セット セット

全長[117.043 m]

座標データ[21点] 陰線[無] 選択

0012	: -823.650, -252364.820, 0	表示
0013	: -819.050, -252356.000, 0	前追加
0014	: -819.400, -252353.920, 0	後追加
0015	: -823.450, -252351.960, 0	変更
0016	: -827.930, -252349.760, 0	削除
0017	: -833.000, -252347.080, 0	全変更
0018	: -838.380, -252344.200, 0	
0019	: -842.100, -252342.360, 0	
0020	: -847.230, -252341.880, 0	
0021	: -847.942, -252339.381, 0	

X: -847.942 Y: -252339.381 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

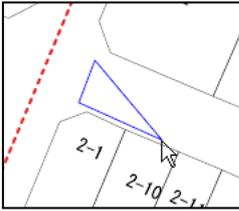
始点到線分追加 終点到線分追加

19-3 ポイント編集

ポイントのみの特別な処理はありません。

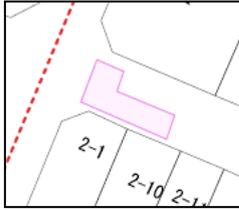
19-4 新規図形の入力

処理メニューから「図形の新規入力」を選択。



マウスクリックで図形を入力していき、終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。

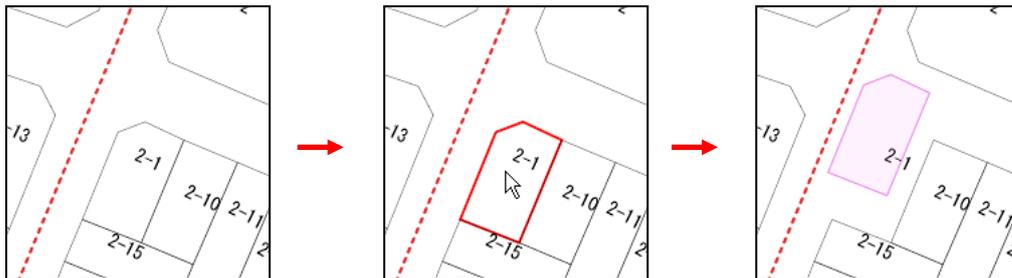
線入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了



入力取り消しは、キーボードから「B」を押下すると、直前の入力の取り消しとなります。

19-5 図形の移動

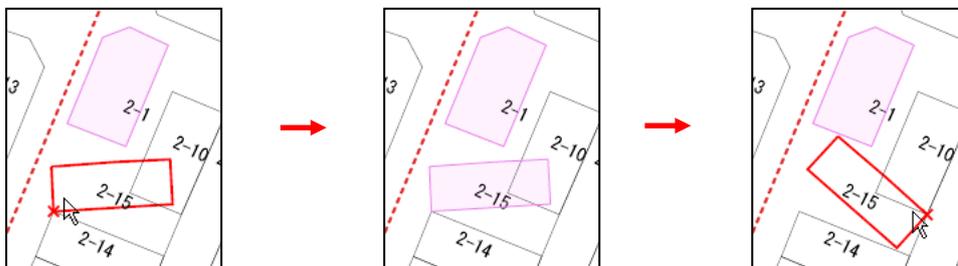
処理メニューから「図形の移動」を選択。



「図形の移動」を選択し移動対象となる図形をマウスでドラッグします。

19-6 図形の回転

処理メニューから「図形の回転」を選択。



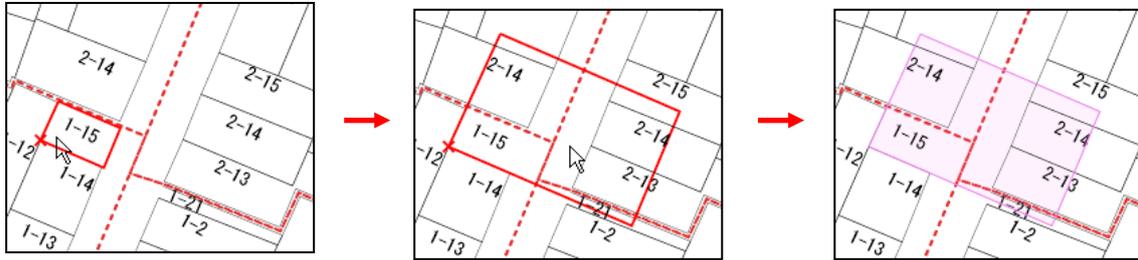
回転対象となる図形の「回転中心」としたいポイント付近で、マウスの左ボタンを押し、図形を回転させます。

回転終了位置でマウスの左ボタンを離すと、回転が確定します。

19-7 図形の拡大・縮小

処理メニューから「図形の拡大／縮小」を選択。

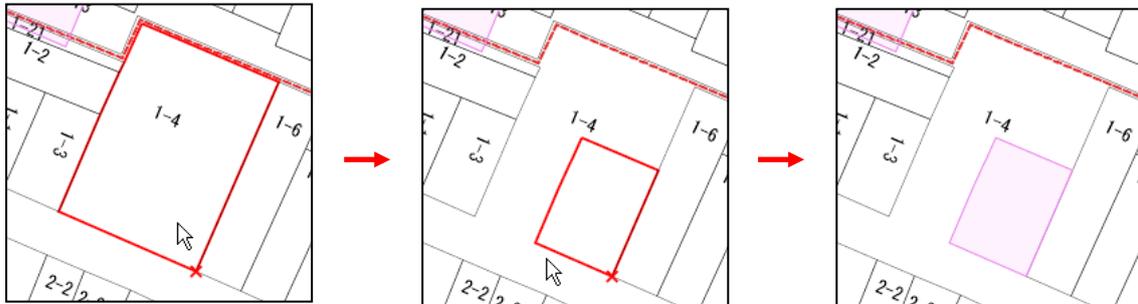
拡大



拡大対象となる図形の「拡大始点」としたいポイント付近で、マウスの左ボタンを押し、図形の拡大を行います。

マウスを右方向にドラッグし、拡大終了位置でマウスの左ボタンを離すと、拡大が確定します。

縮小



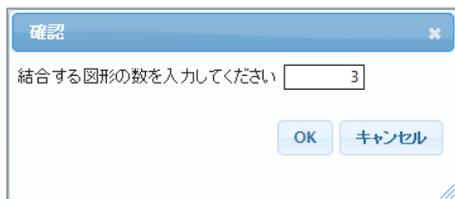
拡大対象となる図形の「拡大始点」としたいポイント付近で、マウスの左ボタンを押し、図形の縮小を行います。

マウスを左方向にドラッグし、縮小終了位置でマウスの左ボタンを離すと、縮小が確定します。

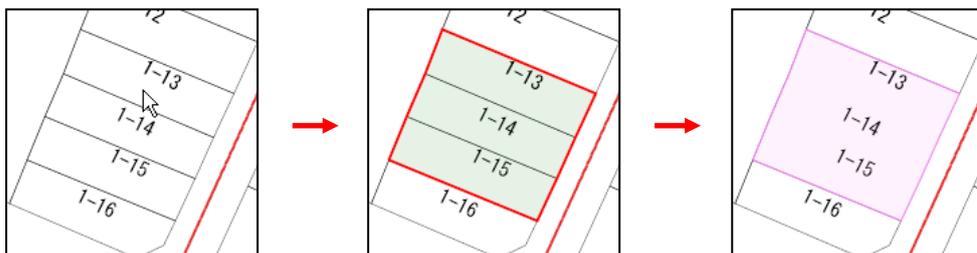
19-8 図形の結合

処理メニューから「図形の結合」を選択。

結合する図形数の入力を求められます。



対象図形をマウスで選択し終わると、結合が完了します。



19-9 図形の分割

処理メニューから「図形の分割」を選択。

図形分割ウィンドウが表示されます。



①「元図形の選択」ボタンをクリックします。

対象元図形を選択します。



選択した図形が編集状態になります。

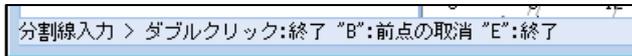


②「分割線の追加」ボタンをクリックし、分割線の入力を行います。

分割線を入力します。



マウスクリックで図形を入力していき、終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。

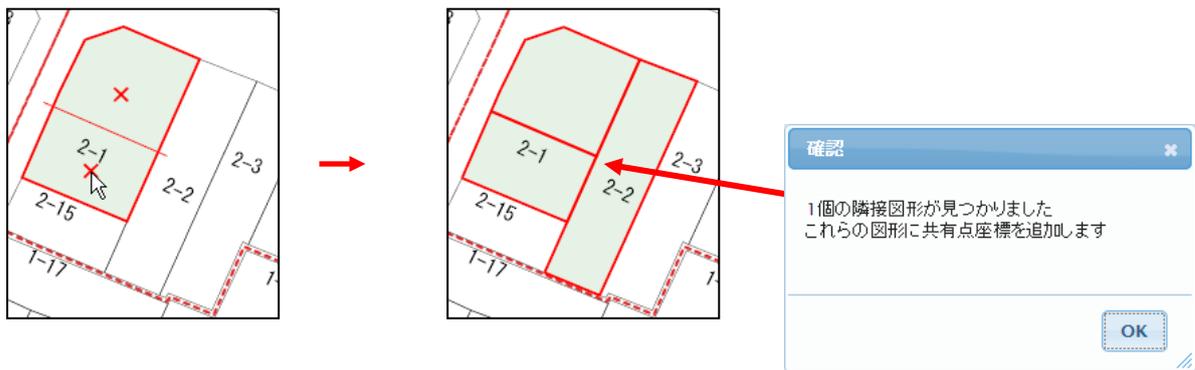


③「代表点」ボタンをクリックし、図形の代表点の入力を行います。

分割数を入力し、「OK」をクリックします。

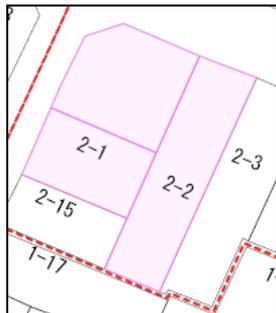


分割した図形の代表点をマウスでピックすると



隣接するポリゴンがある場合、隣接ポリゴンに共有点座標を追加します。

④ 分割が完了します。

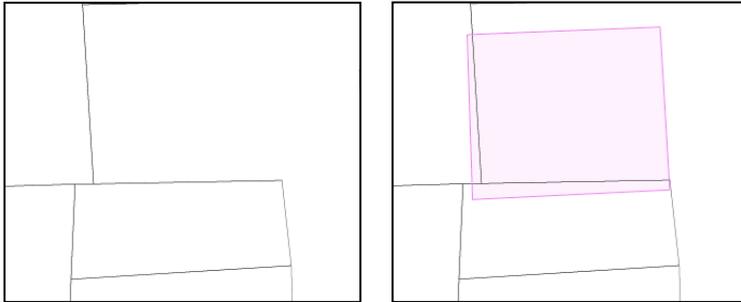


19-10 図形の接触

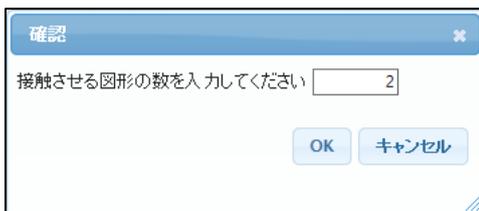
処理メニューから「図形の接触」を選択。

新規に入力した図形を、既存の図形に接触させます。

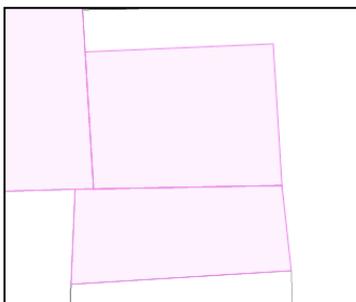
- ① 新規図形を既存図形に重ねて入力します。



- ② 作成した図形と、接触させる図形の数を入力し、対象筆をマウスピックで選択します。



- ③ 作成した図形と、既存の図形の接触が完了します。

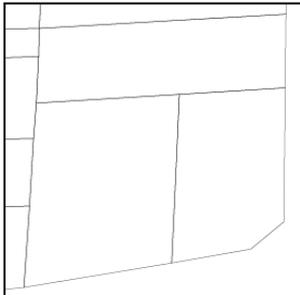


19-11 共有点の移動

処理メニューから「共有点の移動」を選択。

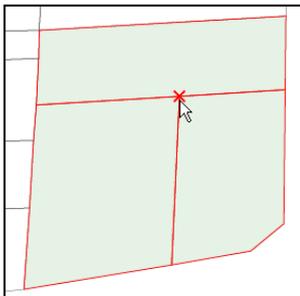
図形の共有点を、マウスクリックで移動します。

- ① 対象の共有点をマウスピックします。

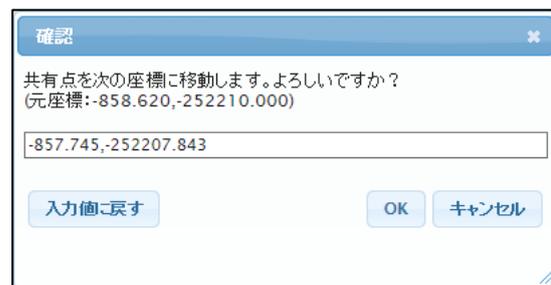
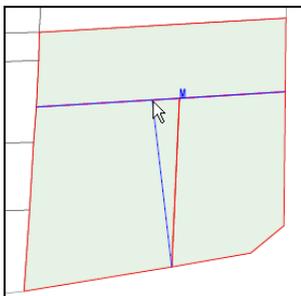


共有点入力 > 1点クリック

- ② 移動確認が表示されます。

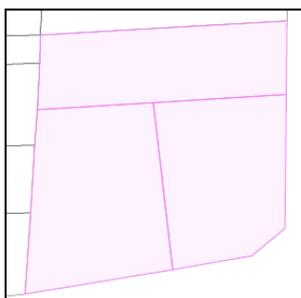


- ③ 移動ポイントでマウスピックを行います。



確認メッセージが出ます
ここで、座標を数値入力することも可能です。

- ④ 共有点の移動が完了します。

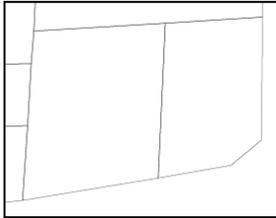


19-12 共有線分の修正

処理メニューから「共有線分の修正」を選択。

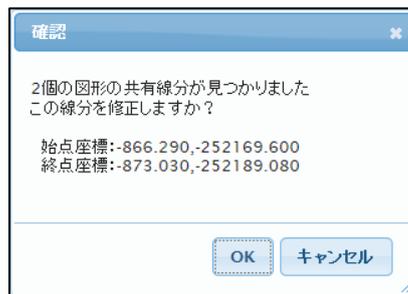
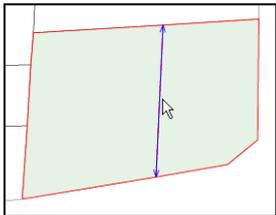
図形の共有線分を、マウス入力で修正します

- ① 対象の共有線分をマウスピックします。

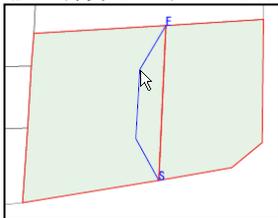


共有線分選択 > 1点クリック

- ② 移動確認が表示されます。



- ③ 修正線分をマウスで入力します。

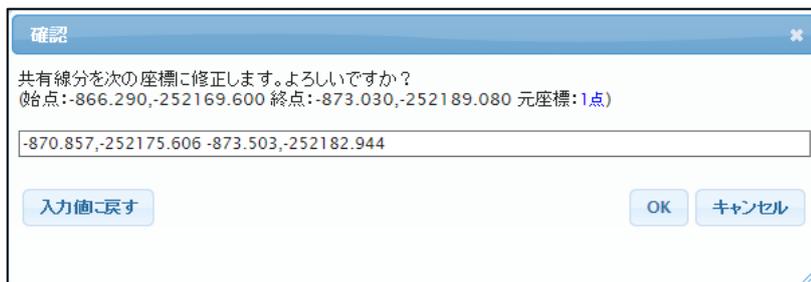


共有線分入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了

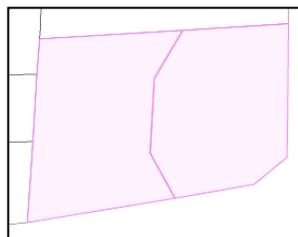
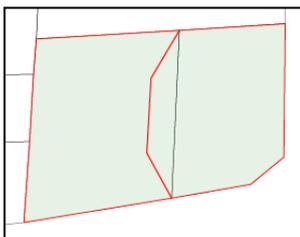
終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。

確認メッセージが出ます

ここで、座標を数値入力することも可能です。

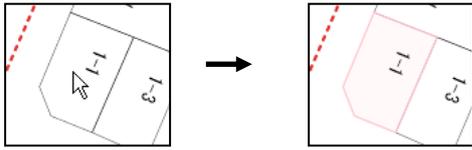


- ④ 共有線分の修正が完了します。



19-13 図形の削除

処理メニューから「図形の削除」を選択。



削除対象となる図形をマウスでクリックします。
図形の色が変わり、削除が確定します

19-14 変更の取消

処理メニューから「変更の取消」を選択。

取消対象となる図形をマウスでクリックします。
変更された図形が、最初の状態まで戻ります。

19-15 全変更の取消

「クリア」ボタンで、すべての変更を取り消します。

19-16 変更内容の保存

「データ保存」ボタンで、すべての変更をデータベースに保存します。
このボタンクリックまでは、データベースには保存されません。

20 登録図面

表示する地物・表示方法(色塗り、シンボル表示等)を任意に設定可能です。
設定した図面内容は、任意の名前で登録、呼び出し可能です。

・登録図面で登録できる内容は以下となります。

- レイヤ： その図面に含めるレイヤを選択可能です。
また、そのレイヤの描画方法、描画縮尺等も設定可能です。
- ランク表示： 地物をその属性によって色分け表示したり、その属性によってシンボルを変えて表示することを、本マニュアルでは、ランク表示と呼びます。
どの属性で、ランク表示を行うか、どのようなランク表示とするか設定します。
例えば、顧客の種別によってシンボルの色を変えて表示する「顧客種別色塗り図」を作成可能です。
- 属性表示： 地物の属性を地図上に文字で表示することも可能です。
どの属性を表示するか、どのサイズ、色で表示するか、と言った内容を設定します。
例えば、筆形状に地番を表示した「地番図」を作成可能です。
- ラスタ： 航空写真等、座標付きイメージを、背景として重ねて表示可能です。
どのイメージを表示可能とするかを設定します。
- 属性制限： 地物の属性に条件を設定することにより、条件に一致した地物のみを表示することが可能です。
その条件を設定します。
この条件は、「属性表示」、「ランク表示」、「属性一覧表示」に反映されます。
例えば、売り上げが100万円以上の顧客だけを表示する図面を作成可能です。
注意：属性制限はランク表示、属性表示、属性一覧表示に対して効果があります。
レイヤ表示との兼ね合いに注意が必要です。
- 領域制限： 地物を空間的な領域で表示制限することも可能です。
その領域を設定します。
この制限は、「属性表示」、「ランク表示」、「属性一覧表示」に反映されます。
例えば、ある駅から10km以内のユーザのみを表示する図面を作成可能です。
注意：領域制限はランク表示、属性表示、属性一覧表示に対して効果があります。
レイヤ表示との兼ね合いに注意が必要です。
- 印刷設定： その図面に対応したレイアウト印刷設定を登録可能です。

「登録図管理」クリックで、「登録図面管理メニュー」を表示します。

ヘッダー部分説明

設定手順

- ① 既存の登録図面を呼び出します。
- ② 呼び出した登録図面を削除します。
- ⑦：レイヤ、⑧：ランク、⑨：属性表示、⑩：属性制限、⑪：領域制限、⑫：印刷設定を必要に応じて設定します。
- ⑤ 変更内容を保存（登録）します。
③の名称を変更しなければ登録図面上書き、変更を行った場合は、新規登録となります。

20-1 レイヤ設定

地物（レイヤ）毎の表示設定を行います。

「登録図管理」クリックで、「登録図面管理メニュー」ウィンドウを表示します。

「登録図面管理メニュー」の「登録図面」は表示した際に使用している図面の登録内容です。

設定→「レイヤ」で「レイヤ設定メニュー」を表示します。

レイヤー一覧

登録図面管理メニュー

登録図面: 登録図面(データ入力) 仕様削除 基礎地図(データ入力) A 仕様登録 図面一覧の並び替え

設定: レイヤ ランク 属性表示 属性制限 領域制限

レイヤ設定メニュー 適用 リセット

描画順	描画	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線	枠色	オプション
1	<input checked="" type="checkbox"/>	602	地域情報線	ライン	—— [3]	■	—— [3]	■	LS:100000, MS:7000, FS:5, FS:7000, SS-5
2	<input checked="" type="checkbox"/>	603	地域情報面	ポリゴン	—— [2]	■	—— [2]	■	LS:100000, MS:7000, FS:5, FS:7000, SS-5
3	<input checked="" type="checkbox"/>	601	地域情報点	シンボル	●	■	—— [1]	■	LS:100000, MS:7000, FS:5, FS:7000, SS-4
4	<input type="checkbox"/>	001	index_5	ポリゴン	—— [1]	■	—— [1]	■	
5	<input type="checkbox"/>	002	nishi	ポリゴン	—— [1]	■	—— [1]	■	
6	<input type="checkbox"/>	003	ipc	ポリゴン	—— [1]	■	—— [1]	■	

表示設定

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
602	地域情報線	ライン	—— [3]	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ 100000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

レイヤ表示設定

・レイヤ選択

上部のレイヤー一覧の「描画」チェックボックスで、作成する図面に描画するレイヤを選択します。

レイヤー一覧での並び順が、レイヤの描画順となります。

「上に移動」ボタン: レイヤー一覧で選択中のレイヤを上段に移動します。

「下に移動」ボタン: レイヤー一覧で選択中のレイヤを下段に移動します。

・レイヤの表示設定

上部のレイヤー一覧でレイヤを選択すると、そのレイヤに対する表示設定をウィンドウ下部で設定可能となります。

設定内容は、レイヤタイプによって変わってきます。それぞれについて後述します。

「更新」ボタン: レイヤ設定内容を適用します。上部レイヤー一覧も設定内容に更新されます。

20-1-1 ポリゴン設定

表示するレイヤ [ポリゴン] の設定を行ないます。

描画順	描画	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	線幅	線色	オプション
4	<input checked="" type="checkbox"/>	081	路線区分-中心	シンボル	●	■			
5	<input checked="" type="checkbox"/>	082	路線区分-矢印	ライン	— [2]	■			
6	<input checked="" type="checkbox"/>	200	土地現況	ポリゴン	■	[1]	FS:1000, SS:3000		
7	<input checked="" type="checkbox"/>	220	家屋現況	ポリゴン	■	[1]	FS:500		
8	<input type="checkbox"/>	001	一次メッシュ	ポリゴン	■	[1]			
9	<input type="checkbox"/>	002	二次メッシュ	ポリゴン	■	[1]			

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	線幅(線幅)	線色	塗りつぶし
200	土地現況	ポリゴン	■	■	1	■	<input type="checkbox"/>

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ③で設定を行うレイヤを選択します。
表示設定に選択レイヤの設定内容が表示されます。
- 描画タイプのマウスクリックで「使用可能パターンウィンドウ」が表示されます。
ポリゴンの描画パターンを指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	線幅(線幅)	線色	塗りつぶし
102	住民情報_面	ポリゴン	■	■	1	■	<input checked="" type="checkbox"/>

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ 300000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: 300000 (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: 200000 (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: 5 (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- 色のマウスクリックで「使用可能色ウィンドウ」が表示されます。
ポリゴンの描画パターン色を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	線幅(線幅)	線色	塗りつぶし
102	住民情報_面	ポリゴン	■	■	1	■	<input checked="" type="checkbox"/>

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ 300000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: 300000 (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: 200000 (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: 5 (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・ 枠線のマウスクリックで「使用可能線種ウィンドウ」が表示されます。
枠線の線種を指定します。同時に線幅もリストから選択します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
102	住民情報_面	ポリゴン	🌀	🟢	— 1	🟤	<input checked="" type="checkbox"/>

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・ 枠色のマウスクリックで「使用可能色ウィンドウ」が表示されます。
枠線の色を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
102	住民情報_面	ポリゴン	🌀	🟢	— 1	🟤	<input checked="" type="checkbox"/>

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・ 「塗りつぶし」チェックボックス: ポリゴンを指定パターンで塗りつぶします。
 塗りつぶしは無く、枠線のみを描画します。

- ・ オプション (ポリゴンで設定できるもの)

描画: 描画する縮尺を指定する。(上図は、1/300000 まで描画する)

ベクトル表示: 指定した縮尺より小縮尺の場合はベクトル表示しない。
SVG描画時 (図形編集時) 有効です。
ラスタ表示時 (通常表示時) は、無効です。
ベクトルでの描画は、地物が多くなると遅くなります。
これを防止する設定です。

シンボル表示: 指定した縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示をシンボル表示に切り替えます。
地物が多くなると、ポリゴンで描画しても見えにくい。
そこで、ポイント等のシンボル描画に切り替える方法です。

シンボルサイズ: 上記「シンボル表示」時の、シンボルサイズ。
単位:印刷用紙上でのミリ。

属性表示: 属性を表示する縮尺を指定する。(上図は、1/7000 まで描画する)

- ・ 設定後、⑧の更新ボタンのクリックでレイヤー一覧が更新されます。
- ・ 更新結果で地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

20-1-2 ライン設定

表示するレイヤ [ライン] の設定を行ないます。

描画順	描画	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線	枠色	オプション
3	<input checked="" type="checkbox"/>	079	目標物	シンボル	×	■		SS:1000	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	080	標準地_事例地	シンボル	★	■		FS:3000	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	081	路線区分-中心	シンボル	●	■			
6	<input checked="" type="checkbox"/>	082	路線区分-矢印	ライン	— [2]	■		FS:4	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	096	相統路線	ライン	— [2]	■			
8	<input checked="" type="checkbox"/>	097	相統路線注記	シンボル	○	■			

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
082	路線区分-矢印	ライン	— [2]	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ③で設定を行うレイヤを選択します。
表示設定に選択レイヤの設定内容が表示されます。
- 描画タイプをマウスクリックで「使用可能線種ウィンドウ」が表示されます。
枠線の線種を指定します。同時に線幅もリストから選択します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
101	住民情報線	ライン	— [2]	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- 色をマウスクリックで「使用可能色ウィンドウ」が表示されます。
線色を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
101	住民情報線	ライン	— [2]	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

NO	レイヤ名	種別	縮尺タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
101	住民情報線	ライン	—— 2	■			

オプション

各種制限縮尺: 縮尺: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

・ オプション (ラインで設定できるもの)

描画: 描画する縮尺を指定する。(上図は、1/300000 まで描画する)

ベクトル表示: 指定した縮尺より小縮尺の場合はベクトル表示しない。
SVG描画時 (図形編集時) 有効です。
ラスタ表示時 (通常表示時) は、無効です。
ベクトルでの描画は、地物が多くなると遅くなります。
これを防止する設定です。

属性表示: 属性を表示する縮尺を指定する。(上図は、1/7000 まで描画する)

- ・ 設定後、⑧の更新ボタンのクリックでレイヤー一覧が更新されます。
- ・ 更新結果で地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

20-1-3 シンボル設定

表示するレイヤ [シンボル] の設定を行ないます。

描画順	描画	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線	枠色	オプション
3	<input checked="" type="checkbox"/>	079	目標物	シンボル	×	■		SS:1000	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	080	標準地_事例地	シンボル	★	■		FS:3000	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	081	路線区分-中心	シンボル	●	■			
6	<input checked="" type="checkbox"/>	082	路線区分-矢印	ライン	— [2]	■		FS:4	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	086	相続路線	ライン	— [2]	■			
8	<input checked="" type="checkbox"/>	087	相続路線:注記	シンボル	○	■			

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
081	路線区分-中心	シンボル	●	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ③で設定を行うレイヤを選択します。
表示設定に選択レイヤの設定内容が表示されます。
- 描画タイプをマウスクリックで「使用可能シンボルのウィンドウ」が表示されます。
シンボルの種類を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
050	町丁目デモ	シンボル	◆	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- 色をマウスクリックで「使用可能色ウィンドウ」が表示されます。
シンボル色を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
050	町丁目デモ	シンボル	◆	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
050	町丁目デモ	シンボル	◆				

オプション

各種制限縮尺: 縮尺: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

・ オプション (シンボルで設定できるもの)

描画: 描画する縮尺を指定する。(上図は、1/300000 まで描画する)

ベクトル表示: 指定した縮尺より小縮尺の場合はベクトル表示しない。
SVG描画時 (図形編集時) 有効です。
ラスタ表示時 (通常表示時) は、無効です。
ベクトルでの描画は、地物が多くなると遅くなります。
これを防止する設定です。

属性表示: 属性を表示する縮尺を指定する。(上図は、1/7000 まで描画する)

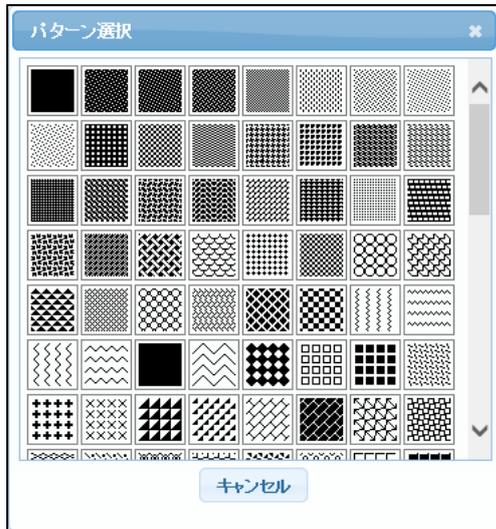
サイズ設定: シンボルの描画サイズを指定します。
値の正負により意味が違います。
正值: 縮尺と連動した可変サイズとなります。
地図を拡大するとシンボルも大きくなります。
実測でのミリで指定します。
例えば、実測の10mの文字の場合、「10000」。
負値: 市区尺に連動しない固定サイズとなります。
地図を拡大してもシンボルの大きさは変わりません。
印刷用紙上のミリで指定します。
例えば、印刷用紙上で5ミリの場合は、「-5」。

・ 設定後、⑧の更新ボタンのクリックでレイヤー一覧が更新されます。

・ 更新結果で地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

20-1-4 パターン/ライン/シンボル/カラー

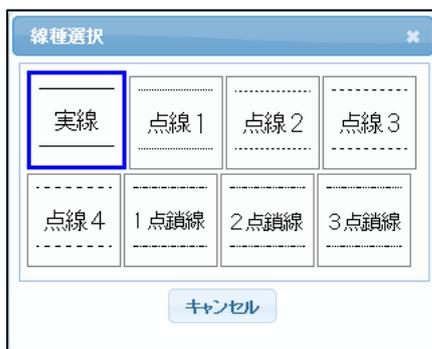
使用可能パターンウィンドウ



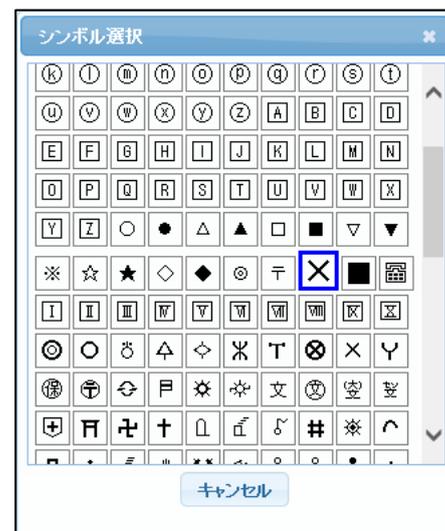
使用可能色ウィンドウ



使用可能線種ウィンドウ



使用可能シンボルのウィンドウ



20-2 図面登録 《ランク》

ランク表示の設定を行います。

「登録図管理」クリックで、「登録図面管理メニュー」ウィンドウを表示します。

「登録図面管理メニュー」の「登録図面」は表示した際に使用している図面の登録内容です。

設定→「ランク」で「ランク表示設定メニュー」を表示します。

20-2-1 ランク設定

表示するレイヤの色塗り内容の設定を行ないます。

ON	コード	ランク名	シンボル	線種(線幅)	パターン	色	枠色
<input checked="" type="checkbox"/>	01	田	①	— 1	■	赤	
<input checked="" type="checkbox"/>	02	畑	①	— 1	■	オレンジ	
<input checked="" type="checkbox"/>	03	宅地	①	— 1	■	黄	
<input checked="" type="checkbox"/>	04	山林	①	— 1	■	緑	
<input checked="" type="checkbox"/>	05	原野	①	— 1	■	緑	
<input checked="" type="checkbox"/>	06	池沼	①	— 1	■	青	
<input checked="" type="checkbox"/>	07		①	— 1	■	青	

- ③でレイヤを選択します。

そのレイヤにリンクする属性ファイル一覧から、④で属性ファイルを選択します。

その属性ファイルの項目一覧から、⑤で条件設定する項目を選択します。

「外枠」オプション：

ポリゴンの場合、ランク表示時に外枠（黒線）を描画するかどうかを設定します。

- ⑦「設定」ボタンをクリックすると、ウィンドウ下部にその項目の凡例設定が表示されます。新規で設定する場合、その項目のタイプによって、デフォルトの設定が自動で表示されます。

コード項目の場合：

その項目がコード定義されている場合、各コード毎にランク分けされ、色が自動設定されます。

ON	コード	ランク名	シンボル	線種(線幅)	パターン	色	枠色
<input type="checkbox"/>			①	— 1	■		
<input checked="" type="checkbox"/>	01	田	①	— 1	■	赤	
<input checked="" type="checkbox"/>	02	畑	①	— 1	■	オレンジ	
<input checked="" type="checkbox"/>	03	宅地	①	— 1	■	黄	
<input checked="" type="checkbox"/>	04	山林	①	— 1	■	緑	
<input checked="" type="checkbox"/>	05	原野	①	— 1	■	緑	
<input checked="" type="checkbox"/>	06	池沼	①	— 1	■	青	
<input checked="" type="checkbox"/>	07	雑種地	①	— 1	■	青	
<input checked="" type="checkbox"/>	08	藪	①	— 1	■	青	
<input checked="" type="checkbox"/>	09	溜池	①	— 1	■	青	

数値項目の場合：

そのデータの最大、最小を8等分したランクが作成され、色が自動設定されます。

凡例設定		レイヤ[200-土地現況] 属性[土地現況マスタ[住宅等]]			レイヤタイプ[ポリゴン] 属性タイプ[値]				
タイトル:		ランクタイプ: ○タイプ ●カラー		描画タイプ: ●面 ○点	適用	リセット			
ON	≦	[値]	<	ランク名	シンボル	線種(線幅)	パターン	色	特色
<input type="checkbox"/>					①	— 1	■		
<input checked="" type="checkbox"/>	91				①	— 1	■	■	
<input checked="" type="checkbox"/>	78		91		①	— 1	■	■	
<input checked="" type="checkbox"/>	65		78		①	— 1	■	■	
<input checked="" type="checkbox"/>	52		65		①	— 1	■	■	
<input checked="" type="checkbox"/>	39		52		①	— 1	■	■	
<input checked="" type="checkbox"/>	26		39		①	— 1	■	■	
<input checked="" type="checkbox"/>	13		26		①	— 1	■	■	
<input checked="" type="checkbox"/>			13		①	— 1	■	■	
<input type="checkbox"/>					①	— 1	■		

文字項目でコード項目ではない場合：

デフォルトではランクの設定はされません。

但し、「20-2-2 テンプレート作成」で、雛形を作成可能です。

・各ランクの設定方法。(1ランク1行で設定)

⑮「ON」のチェックボックスは、そのランクの表示/非表示を設定します。

⑯、⑰は、そのランクの範囲を設定します。

文字項目の場合、「⑯の値 ≦ データ ≦ ⑰の値」となります。

数値項目の場合、「⑯の値 ≦ データ < ⑰の値」となります。

⑱は、凡例に表示する、そのランクの名称を設定します。

ランク名を省略すると、凡例には、「⑯の値 - ⑰の値」が表示されます。

描画設定 (レイヤタイプ別)：

ポリゴンの場合：

パターン、色、シンボルを設定可能です。

シンボルは、以下2オプション時に使用します。

・小縮尺時オプション (「20-1-1 レイヤ設定 [ポリゴン]」参照)

・描画タイプが、「点」の時。この場合、縮尺によらず常に点描画。

ラインの場合：

線種、線幅、線色を設定可能です。

ポイントの場合：

シンボル、色を設定可能です。

・設定後、⑲の適用ボタンのクリックでそのレイヤの設定が更新されます。

・更新結果で地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

「タイトル」 ⑲：

凡例のタイトルを指定可能です。指定がない場合は、タイトルは項目名となります。

「並替」オプション ⑳：

このオプションは、図形と属性が、1対nの場合に使用します。

ランク表示では、属性の値によって、地物の色塗り等を行います。その属性値がn件

あった場合には、どの属性で色塗りすればよいか分からなくなります。

その時に、n件中、どのレコードで色塗りするかを指示します。

右図では、_date の最大 (直近のレコード) で色塗りをする、と言う意味になります。

この指定がない場合、図形と属性が、1対nの地物は、黒で塗られます。

並べ替え項目 ✕

項目名	優先
_date ▼	●最大 ○最小

20-2-2 テンプレート作成

ランク項目が文字項目でコード項目ではない場合、デフォルトではランクの設定はされません。但し、データ値を利用して強制的にランク設定を作成することが可能です。コード化はされていないが、存在しうるデータケースが少ない場合は有効です。

作成条件を設定し「テンプレート作成」クリックで自動生成されます。

作成条件：全域／表示域

並び替え：項目値／集計件数

：昇順／降順

上記設定では、

「・属性テーブルの値全体を使用して

- ・項目の値で昇順に並び替えて
- ・上位4件まで

で、ランク設定を作成する。」となります。

結果は以下。

これをもとに、任意に設定可能です。

20-2-3 ランク表示と null、空白

データベースの世界では、データの値として、ブランクと null（値が入っていない）は、明確に区別されます。

ランク表示では、値が null の地物はどのランクにも入らず、描画されません。

そこで、ランク設定では、null を表す特別な文字列を用意しました。

“__BLANK__”（半角アンダーバーが前後に3つずつ）です。

ランク設定で、“__BLANK__”を使用することにより、値が null の場合の描画方法を設定可能となります。

凡例設定		レイヤ[601:地域情報_点] 属性[地域情報_点][種別]		レイヤタイプ[ポイント] 属性タイプ[コード]						
タイトル:		ランクタイプ: <input type="radio"/> タイプ <input checked="" type="radio"/> カラー				線種(線幅)		パターン	色	枠色
ON	≦	[コード]	≦	ランク名	シンボル	線種(線幅)	パターン	色	枠色	
<input type="checkbox"/>					①	— 1	■			
<input checked="" type="checkbox"/>		__BLANK__		空白	★	— 1	■	■		
<input checked="" type="checkbox"/>		01	01	グルメ	●	— 1	■	■		
<input checked="" type="checkbox"/>		02	02	お店	●	— 1	■	■		
<input checked="" type="checkbox"/>		03	03	フリーマーケット	●	— 1	■	■		
<input checked="" type="checkbox"/>		04	04	個人情報	●	— 1	■	■		

上図では、値が null の地物は、黒星 (★) で、描画されます。

また、ランク設定では、“空白”を使用することで、「すべてを対象とする」という意味となります。

凡例設定		レイヤ[601:地域情報_点] 属性[地域情報_点][種別]		レイヤタイプ[ポイント] 属性タイプ[コード]						
タイトル:		ランクタイプ: <input type="radio"/> タイプ <input checked="" type="radio"/> カラー				線種(線幅)		パターン	色	枠色
ON	≦	[コード]	≦	ランク名	シンボル	線種(線幅)	パターン	色	枠色	
<input type="checkbox"/>					①	— 1	■			
<input checked="" type="checkbox"/>		01	01	グルメ	●	— 1	■	■		
<input checked="" type="checkbox"/>		02	02	お店	●	— 1	■	■		
<input checked="" type="checkbox"/>		03	03	フリーマーケット	●	— 1	■	■		
<input checked="" type="checkbox"/>		04	04	個人情報	●	— 1	■	■		
<input checked="" type="checkbox"/>				全て	★	— 1	■	■		
<input type="checkbox"/>					①	— 1	■			

上図では、データ値が 01~04 以外 (null を含む) は、黒星 (★) で、描画されます。

注意： ランク設定は、上から順に適用されます。

上図では、まず、データ値=01 が描画され、次に、それ以外でデータ値=02 が描画され。。という順番で描画されます。

したがって、空白の設定が最後の行以外にあると、そこで全てのデータを扱う事になるので、それ以降の設定は無意味となります。

20-2-4 複合ランク

2項目での複合ランク表示も可能です。

例えば、種別でシンボルを変えて、重要度で色を変えるとといった表示が可能となります。

複合ランクの場合、一方の項目が描画タイプ（パターン/ライン/シンボル）、他方が色のランクで設定します。

「AND/OR」オプション ⑧：

データ値が `null` の時の処理内容が変わってきます。

下記例で説明します。

レイヤ設定では、このレイヤは、▲ で定義されている。つまりランク表示しない時は、

このレイヤは、すべて、▲ で描画される。デフォルトは緑の三角という意味。

このレイヤに対して以下のランク設定を行った。

ランク設定

項目 1 (色)	項目 2 (タイプ)
01 : ■	AA : ★
02 : ■	BB : ●

下記は描画結果です。

「AND」で下記データの場合

項目 1	項目 2		描画
01	AA	→	★
01	null	→	描画しない
null	BB	→	描画しない
null	null	→	描画しない

「OR」で下記データの場合

項目 1	項目 2		描画
01	AA	→	★
01	null	→	▲ (色はランク、タイプはデフォルト)
null	BB	→	● (色はデフォルト、タイプはランク)
null	null	→	描画しない

20-3 属性表示

地図上に文字表示する地物属性の設定を行ないます。
設定→「属性表示」で「属性表示設定メニュー」を表示します。

NO	引出	レイヤ	属性ファイル	項目	並び替え	(優先)	色	引出	文字	(サイズ)	N件描画方
③	④	土地現況	土地現況マスタ	図面表示用地番	最大	最大	黒	可変	2000	件数だけ	
2		目標物	目標物	名称	最大	最大	黒	可変	6000	件数だけ	
3		町丁界	町丁界	町名	最大	最大	黒	可変	8000	件数だけ	
4		家屋現況	家屋現況マスタ	表示棟番号	最大	最大	黒	可変	2000	件数だけ	
5											
6											
7											

表示設定

レイヤ: 土地現況 (10) | 属性ファイル: 土地現況マスタ (11) | 項目: 図面表示用地番 (12) | 並び替え: 未設定 (13) | (優先): 最大 (14) | 色: 黒 (15) | 引出: 可変 (16) | 文字: 2000 (17) | (サイズ): 件数だけ (18) | N件描画方: 件数だけ (19)

20-3-1 設定手順

- ⑩で設定を行うレイヤを選択します。
そのレイヤにリンクする属性ファイル一覧から、⑪で属性ファイルを選択します。
その属性ファイルの項目一覧から、⑫で条件設定する項目を選択します。
- ⑮で色、⑯で引出線の色を指定します。
- ⑰⑱で文字サイズを指定します。
文字サイズの指定方法は、「可変」「固定」の2種類あります。

「可変」： 文字の大きさが縮尺と連騰した可変サイズとなります。
地図を拡大すると文字も大きくなります。
実測のミリで齋須を指定します。
例えば、右図の場合、実測で5mの文字となります。

「固定」： 文字の大きさが縮尺に連動しない固定サイズとなります。
地図を拡大しても文字の大きさは変わりません。
極小/小/標準/大/極大 から選択します。
実際の大きさは、標示して確認願います。

- ⑦で定義をリストに適用します。

- ・地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

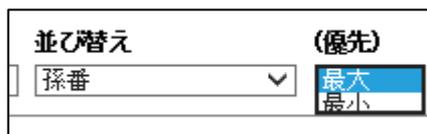


20-3-2 オプション、その他

その他、オプションを説明します。

「並び替え」⑬、「優先」⑭：

このオプションは、図形と属性が、1対nの場合に使用します。属性表示では、属性の値を地図に文字で表示しますが、その属性値がn件あった場合には、どの属性を表示すればよいか分からなくなります。その時に、n件中、どのレコードで色塗りするかを指示します。指定方法は、並び替え項目と優先順位（最大/最小）です。下図の場合、孫番が最大のレコードのデータを表示します。



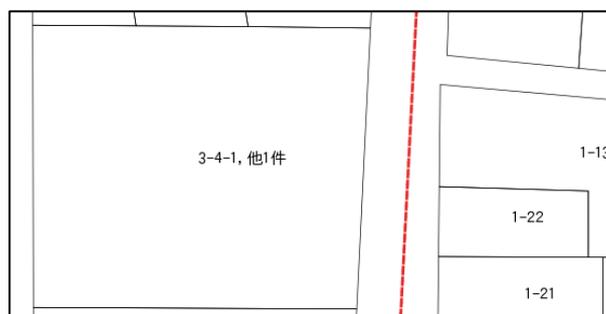
この設定がない場合、図形と属性が、1対nの地物は、最初に見つかったレコードのデータで文字表示されます。（不定＝地図を再表示するたびに変わる可能性があります。）

「N件描画方」⑱：

このオプションも、図形と属性が、1対nの場合に使用します。



件数だけ： 1レコードのデータを表示し、後ろに件数を表示します。



非表示： 1レコードのデータを表示し、他のレコードは無視します。



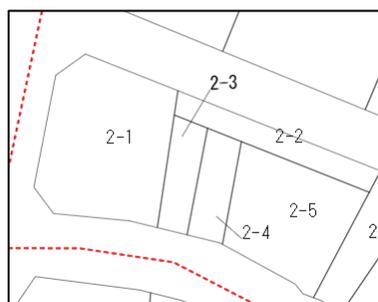
横並び： ※ 2017/06/01 現在、未対応

縦並び： ※ 2017/06/01 現在、未対応

「引出」チェックボックス④、「引出」線色⑩：

「引出」チェックボックス： 引出線の表示/非表示を指定します。

「引出」線色： 引出線の色を指定します。



引出線は、狭い場所での文字表示に使用されます。

これは、自動で表示されるものではなく、事前に、地物の図形データとして登録されている必要があります。

「19-1 ポリゴン編集」参照。

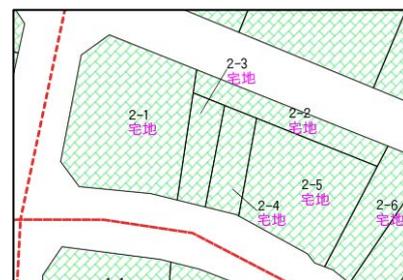
また、固定文字サイズの際は表示できません。

「上に移動」⑤： 選択している表示属性項目③を一つ上に移動します。

属性表示は最大50項目まで可能です。

「下に移動」⑥： 選択している表示属性項目③を一つ下に移動します。

「上に移動」⑨： 選択している表示属性項目③を削除します。



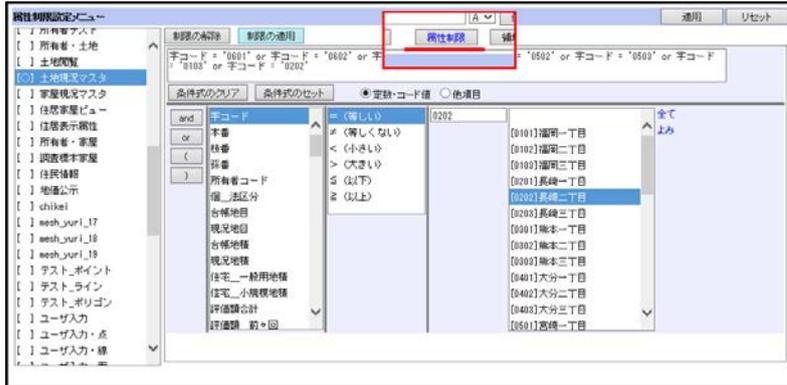
20-4 ラスター設定

ラスターデータが導入されている場合、背景となるイメージを選択設定可能です。
リストの左は追加可能な背景リスト、右は表示選択可能な背景リストです。

以下の例は平成10年の背景のみを表示可能な設定に変更した場合の、選択一覧の変化を表したものです。

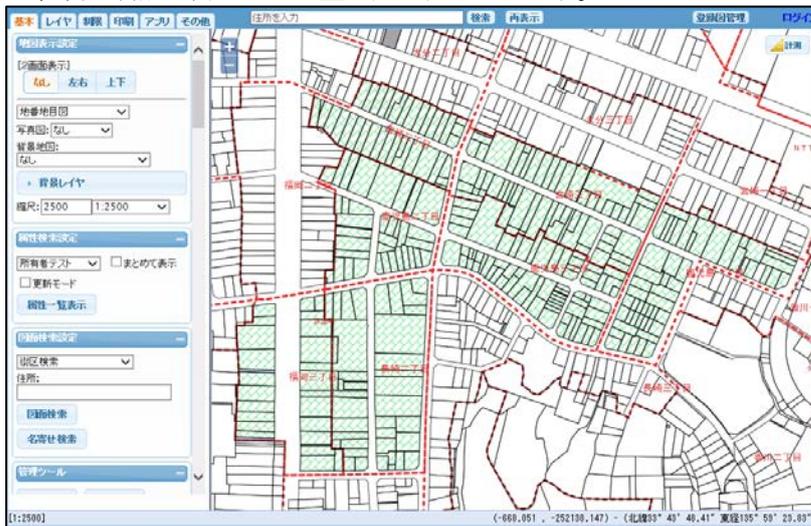
以下の例は背景図が管理者により削除された場合の「ラスター設定メニュー」を呼び出した状態です。
「世田谷サンプル」が削除されているため、登録図面の再登録が要求されます。

属性制限が有効な状態になると、「属性制限」ボタンが青字になります。

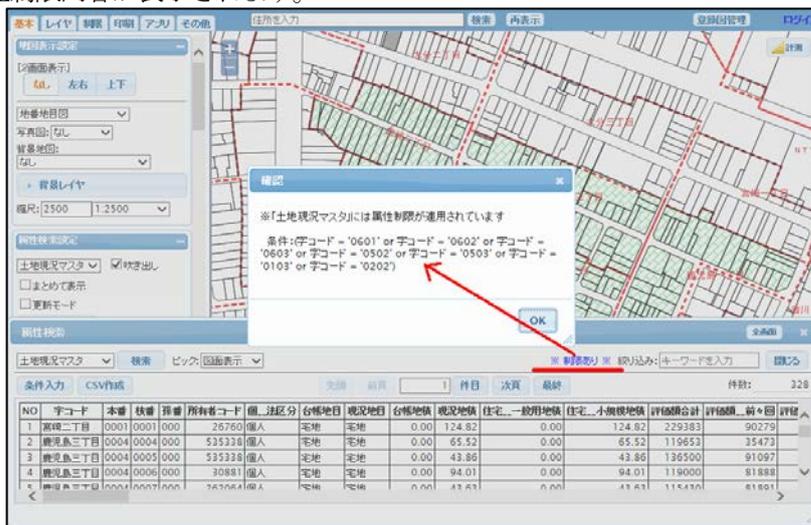


属性制限の設定が何も無い状態では、青にはなりません。

これで、属性制限の掛かった色塗り図が表示されます。



また、この状態で属性一覧を表示させると、「制限あり」の表示が行われ、クリックすると属性制限内容が表示されます。

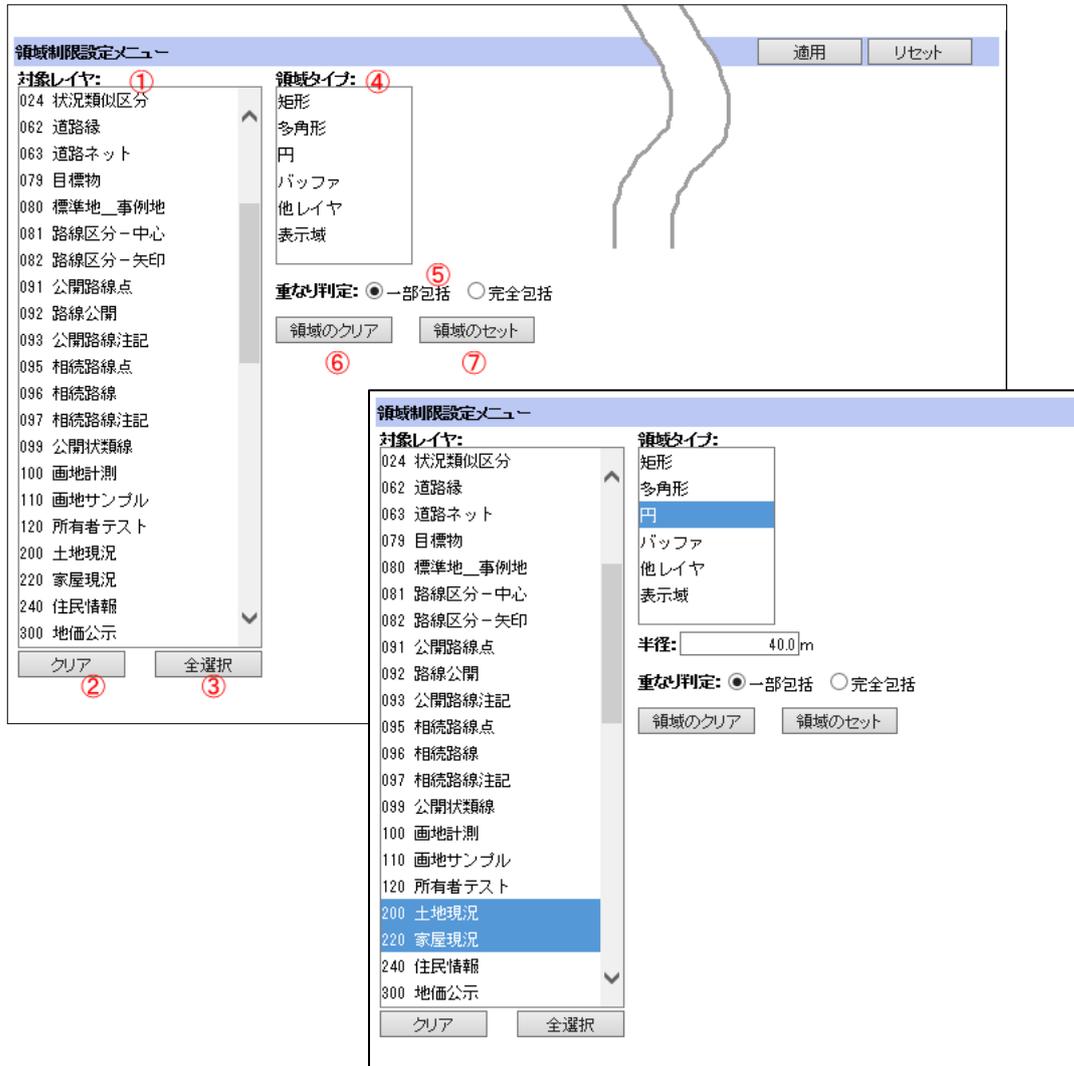


20-6 領域制限設定

図面に表示する内容を、図形で絞り込みます。

絞り込みは「属性表示」、「ランク表示」、「属性一覧表示」に反映されます。

設定→「領域制限」で「領域制限設定メニュー」を表示します。



対象レイヤ①から、制限を行なうレイヤを選択（複数選択可能）し、④制限の領域タイプを選択します。

以下「円」で説明します。

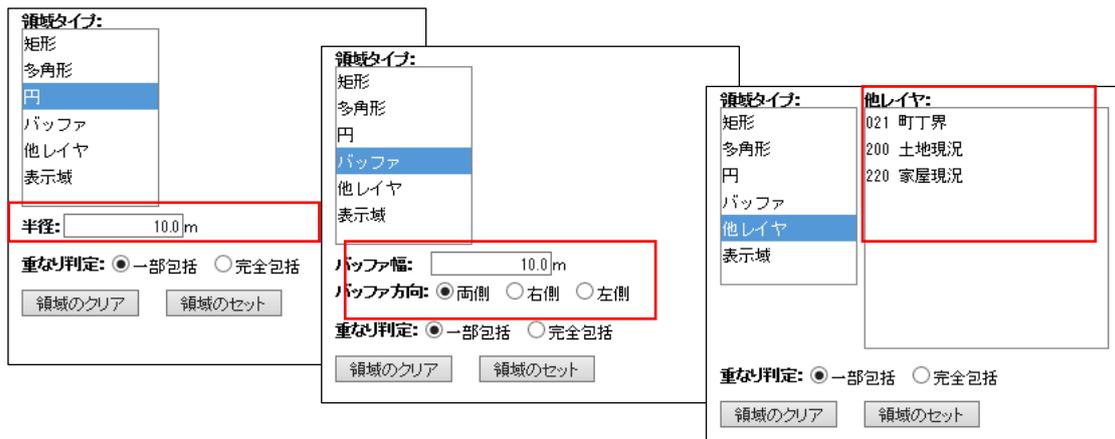
領域タイプに「円」、半径の入力、重なり判定を選択後、⑦「領域のセット」をクリックし、地図表示ウィンドウで円の中心をクリックすると、選択したレイヤに対して領域制限が有効になります。領域制限メニューの「適用」で、図面へ領域の制限が有効になります。

重なり判定：

「一部包含」：図形が一部でも含まれていれば、含まれていると判定する。

「完全包含」：図形が完全に含まれていないと、含まれていると判定しない。

④領域タイプにより、制限の設定表示は変更されます。

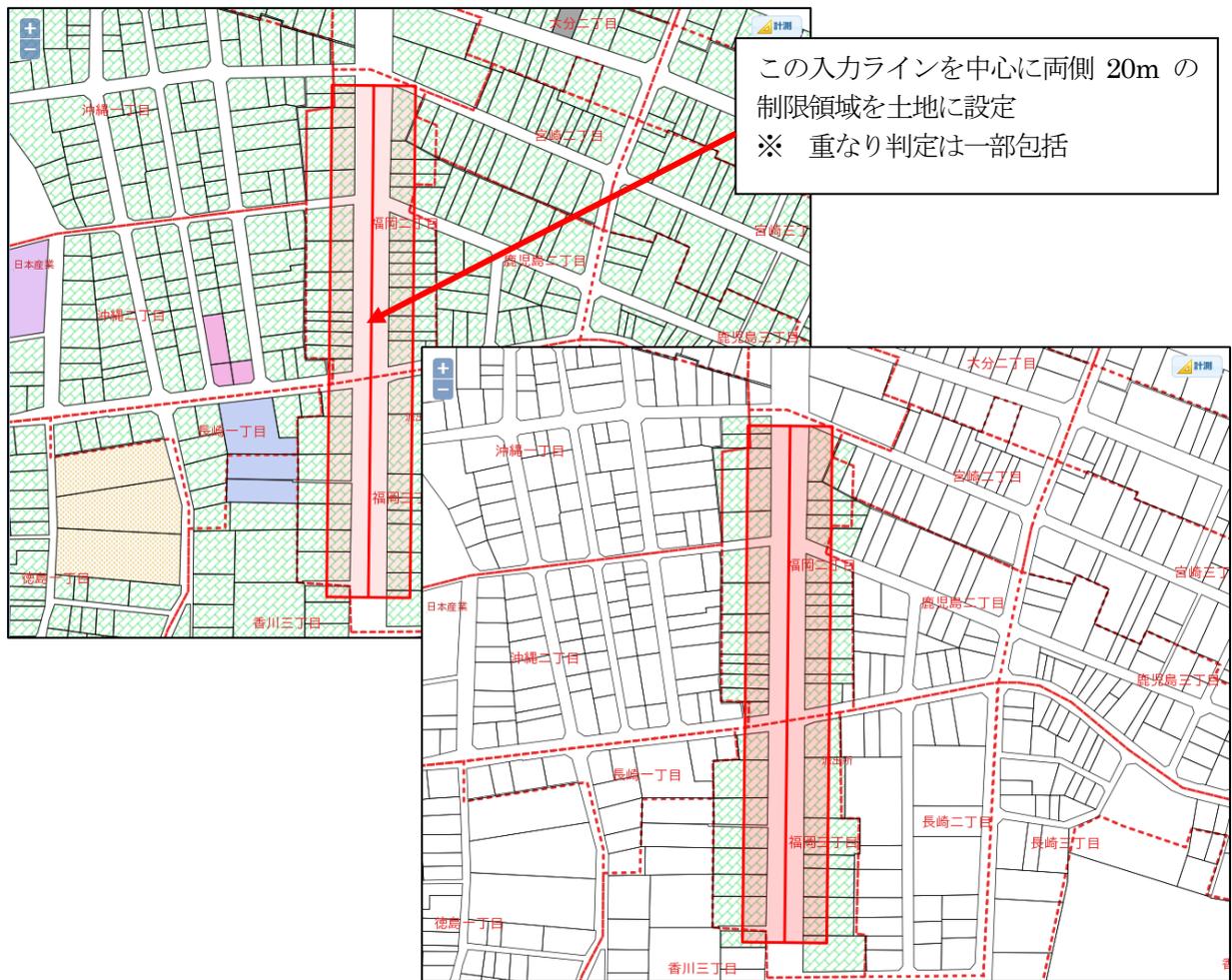


円の領域制限（一部包括）を行った場合の色塗り地図は以下の様に表示されます。

ここを中心に半径 40m の制限領域を
土地・家屋に設定
※ 重なり判定は一部包括



バッファの領域制限（一部包括）を行った場合の色塗り地図は以下の様に表示されます。



この状態で、属性一覧表示

属性検索

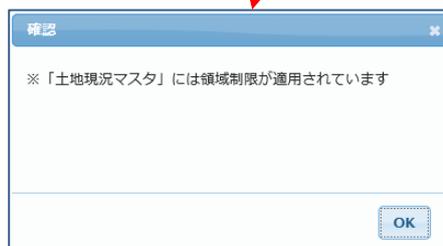
土地現況マスタ 検索 ピック: 図面表示

※ 制限あり ※

条件入力 CSV作成

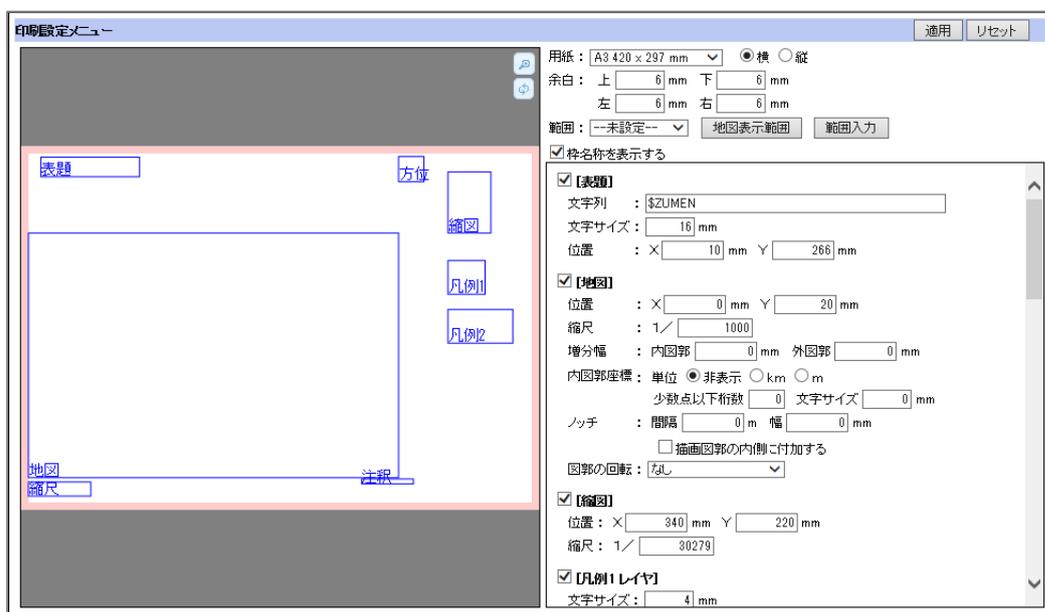
先頭 前頁 1 件目 次頁 最終 件数: 46

NO	字コード	本番	枝番	孫番	所有者コード	個人法区分	台帳地目	現況地目	台帳地積	現況地積	一般用地積	小規模地積	評価額合計	課税標準額	用途	戸数	住宅率	画地NC
1	福岡二丁目	0002	0008	000	166	個人	宅地	宅地	0.00	144.70	0.00	47.68	61594	2629100	商業地域_普通商業...	1	35	1011
2	福岡三丁目	0002	0001	000	370	個人	宅地	宅地	0.00	300.46	0.00	98.18	5775	547351	商業地域_普通商業...	1	100	
3	福岡三丁目	0002	0009	000	252	個人	宅地	宅地	0.00	507.63	0.00	23.53	5719	129867	商業地域_普通商業...	2	100	78
4	福岡三丁目	0002	0007	000	190	個人	宅地	宅地	0.00	234.25	0.00	0.00	57179	4082990	商業地域_普通商業...	0	0	
5	福岡三丁目	0002	0006	000	191	個人	宅地	宅地	0.00	324.83	0.00	0.00	5779	6675105	商業地域_普通商業...	0	0	
6	福岡三丁目	0002	0005	000	2	個人	宅地	宅地	0.00	158.25	0.00	99.90	5909	529476	商業地域_普通商業...	1	100	



20-7 印刷設定

レイアウト印刷を、登録図面に関連つけて登録可能です。
操作に関しては同様な「11-4 レイアウト印刷」を参照してください。



20-8 索引図用登録

登録図面を索引図として使用する際の、パラメータファイル（基本設定ファイル）に必要な情報を書き込む際のチェックボックスです。

※ 2017/06/01 現在。索引図機能は廃止したため、このチェックボックスは意味がありません。

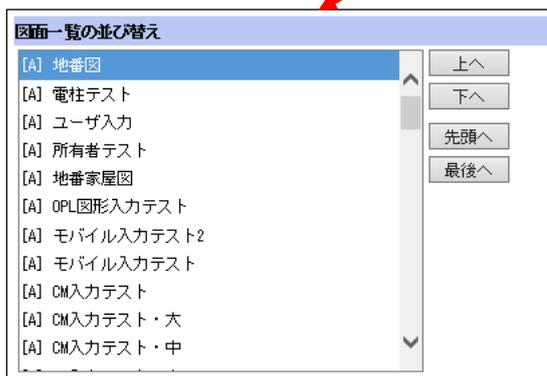
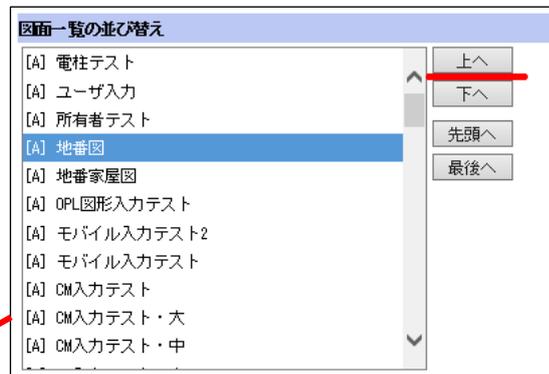
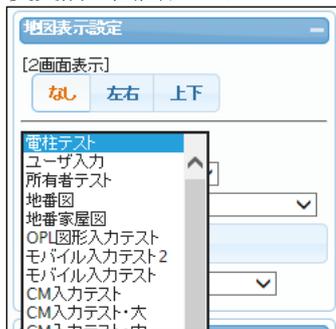
20-9 図面一覧の並び替え

図面の表示リストの並び替えを行います。

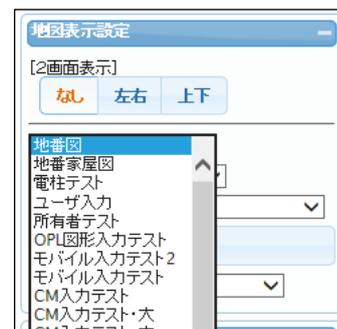


対象図面を選択し、「上へ」「下へ」「先頭へ」「最後へ」クリックで、任意の場所へ移動し「適用」クリックで、一覧表示のリストの並び替えが行えます。

変更前の図面リスト



適用後



変更前の図面リスト

2.1 ユーザ管理

システム利用ユーザの管理ウィンドウです。
ユーザはA～Dの4レベルを割り当てる事が出来ます。

※ 高レベル D > C > B > A 低レベル
レベルによる利用メニューの設定は、システム導入時に、お客様ごとに設定してあります。

Dレベルのユーザの場合、全ユーザの管理が可能です。

ユーザ管理 終了						
NO	ユーザID	パスワード	初期表示座標		レベル	処理
0	<input type="text"/>	<input type="text"/>	X座標 <input type="text"/>	Y座標 <input type="text"/>	A ▼	登録
1	userb	ub	X座標 -27299.037	Y座標 72000.140	D ▼	変更 削除
2	matsudo	999	X座標 353178.320	Y座標 -16873.842	D ▼	変更 削除
3	userc	uc	X座標 47168.623	Y座標 212757.407	D ▼	変更 削除
4	root	111	X座標 <input type="text"/>	Y座標 <input type="text"/>	D ▼	変更
5	usera	ua	X座標 <input type="text"/>	Y座標 <input type="text"/>	A ▼	変更 削除

起動ボタンも「ユーザ管理」の表示となります。



管理者ユーザ「root」はパスワードの変更のみが可能です。
ユーザ「root」は、削除することは出来ません。

ユーザ管理 終了						
NO	ユーザID	パスワード	初期表示座標		レベル	処理
0	<u>sample1</u>	<u>sample1</u>	X座標 <u><input type="text"/></u>	Y座標 <u><input type="text"/></u>	B ▼	登録
1	userb	ub	X座標 -27299.037	Y座標 72000.140	D ▼	変更 削除
2	matsudo	999	X座標 353178.320	Y座標 -16873.842	D ▼	変更 削除
3	userc	uc	X座標 47168.623	Y座標 212757.407	D ▼	変更 削除
4	root	111	X座標 <input type="text"/>	Y座標 <input type="text"/>	D ▼	変更
5	usera	ua	X座標 <input type="text"/>	Y座標 <input type="text"/>	A ▼	変更 削除

「ユーザID」と「パスワード」を入力し、「レベル」を指定し、登録ボタンを押します。
「初期表示座標」が指定された場合、そのユーザがログインした際に指定した座標を中心にして
地図が表示されます。
「初期表示座標」を指定しない場合は標準の座標で表示されます

Dレベル以外のユーザの場合、ログインユーザの「パスワード」「初期表示座標」のみが
変更可能です。

パスワード変更 終了					
ユーザID	パスワード	初期表示座標		レベル	処理
usera	ua	X座標 <input type="text"/>	Y座標 <input type="text"/>	A	変更

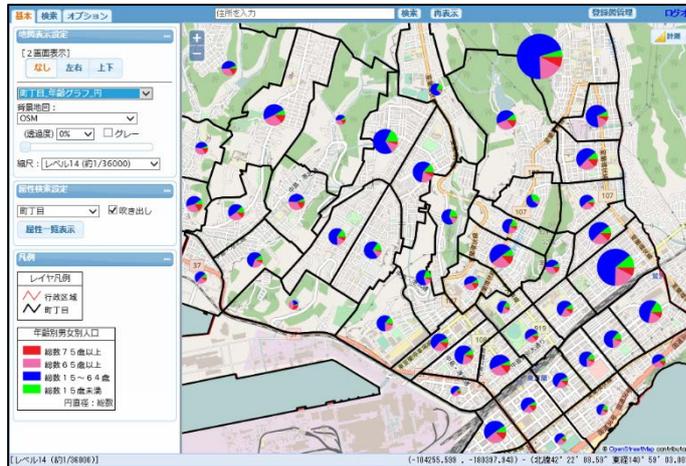
起動ボタンも「パスワード変更」の表示となります。



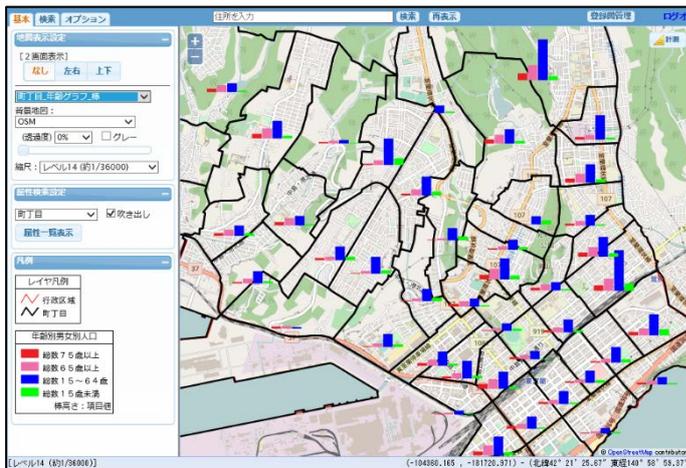
2.2 グラフ表示

地図上にグラフを表示することが可能です。
 グラフ表示の地図も、登録図面として登録可能です。
 グラフは3種類。

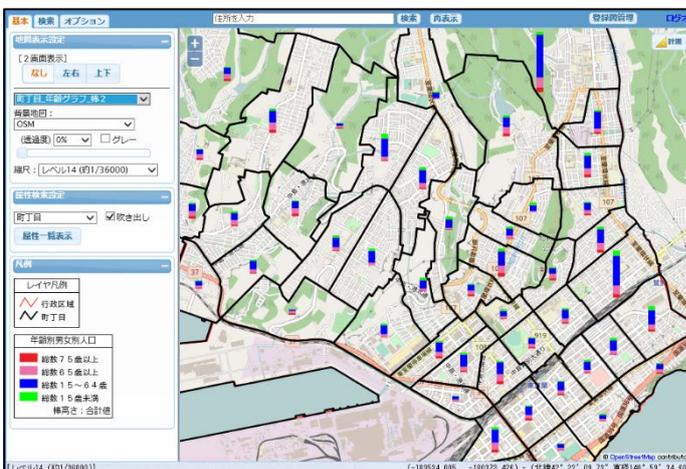
- ・円グラフ



- ・棒グラフ



- ・積み上げ棒グラフ

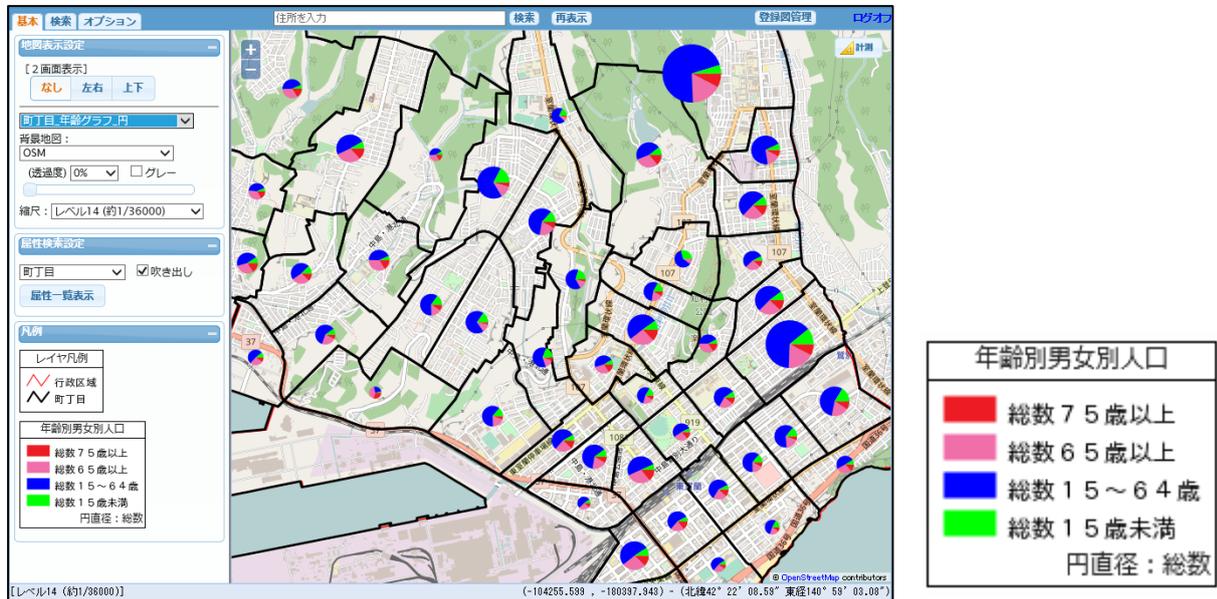


22-1 円グラフ

地物の属性によって、円グラフを作成します。

下図は、町丁目ごとに年齢別の人口割合を円グラフとして表示しています。

円の直径は、人口総数を表します。



設定は、「登録図面管理メニュー」の「グラフ表示」で行います。

登録図面管理メニュー

登録図面: 町丁目 年齢グラフ円 仕様削除 町丁目 年齢グラフ円 A 仕様登録 図面一覧の並び替え

設定: レイヤ ランク 属性表示 (その他設定) 属性制限 領域制限

グラフ表示設定メニュー

NO	名称	レイヤ	属性ファイル	要素項目数	タイプ	サイズ
1	年齢別男女別人口	町丁目	年齢別男女別人口	総数75歳以上、他3項目	円	10~80 (総数で変動)
2						
3						
4						
5						
6						
7						

表示設定

グラフ名: 年齢別男女別人口

レイヤ	要素項目 [色・項目名・要素名]	タイプ	サイズ
町丁目	総数75歳以上	円	固定の大きさ 40 ピクセル
属性ファイル	総数65歳以上		総数 で変動
属性ファイル	総数15~64歳		要素項目の合計値で変動
属性ファイル	総数15歳未満		(最小) 10 ピクセル
属性ファイル	未設定		(最大) 80 ピクセル
属性ファイル	未設定		データ名
属性ファイル	未設定		(最小値) 0 取得
属性ファイル	未設定		(最大値) 5000 取得

- ・レイヤ: グラフを表示するレイヤを選択します。
- ・属性ファイル: グラフで表示する属性ファイルを選択します。

- 要素項目【色・項目名・要素名】：
円グラフ内の各要素を指定します。

要素項目【色・項目名・要素名】		
	総数75歳以上	総数75歳以上
	総数65歳以上	総数65歳以上
	総数15~64歳	総数15~64歳
	総数15歳未満	総数15歳未満
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	

- 色： 「使用可能色ウィンドウ」から選択します。
- 項目名： 円グラフ内の各要素の項目名を指定します。
この要素で、円グラフ内が分割されます。
- 要素名： 凡例に表示する要素名を指定します。
デフォルトは項目名。

- タイプ： グラフのタイプを選択します。
円／棒／積み上げ棒
- サイズ： グラフのサイズを指定します。
固定、項目、要素項目の合計からの選択となります。

固定

サイズ	
<input checked="" type="radio"/>	固定の大きさ 40 ピクセル
<input type="radio"/>	総数 で変動
<input type="radio"/>	要素項目の合計値で変動
(最小)	10 ピクセル
(最大)	80 ピクセル
データ名	
(最小値)	0 取得
(最大値)	5000 取得

円の直径は固定（全て同じ大きさ）となります。

円の直径をピクセル値で指定します。

項目

サイズ	
<input type="radio"/>	固定の大きさ 40 ピクセル
<input checked="" type="radio"/>	総数 で変動
<input type="radio"/>	要素項目の合計値で変動
(最小)	10 ピクセル
(最大)	80 ピクセル
データ名	
(最小値)	0 取得
(最大値)	5000 取得

円の直径を表す項目を指定します。

それぞれの円の直径はこの項目値に依存します。

円の直径範囲（最小、最大）を指定します。（ピクセル）

円の直径範囲を表す項目値（最小、最大）を指定します。

左図の場合、値が0の時10ピクセル、
値が5000の時80ピクセル

となります。

データ名：凡例に表示するタイトルを指定します。

取得ボタン：実際のデータから最小値、最大値を取得
します。

要素項目の合計値

サイズ	
<input type="radio"/>	固定の大きさ 40 ピクセル
<input type="radio"/>	総数 で変動
<input checked="" type="radio"/>	要素項目の合計値で変動
(最小)	10 ピクセル

円の直径を要素項目の合計値とします。

それぞれの円の直径はこの合計値に依存します。

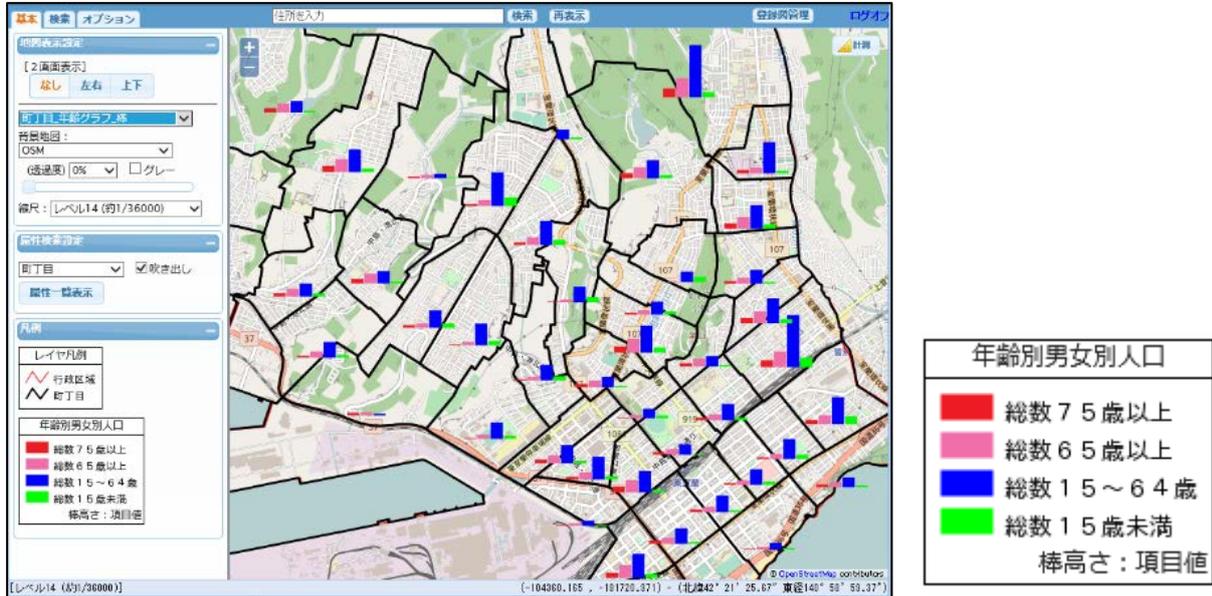
その他の設定は、上記「項目」と同様です。

22-2 棒グラフ

地物の属性によって、棒グラフを作成します。

下図は、町丁目ごとに年齢別の人口割合を棒グラフとして表示しています。

バーの高さは、要素値を表します。



設定は、「登録図面管理メニュー」の「グラフ表示」で行います。

登録図面管理メニュー

登録図面: 町丁目 年齢グラフ 棒 仕様削除 町丁目 年齢グラフ 棒 A 仕様登録 図面一覧の並び替え

設定: レイヤ ランク 属性表示 (その他設定) 属性制限 領域制限

グラフ表示設定メニュー

NO	名称	レイヤ	属性ファイル	要素項目数	タイプ	サイズ
1	年齢別男女別人口	町丁目	年齢別男女別人口	総数75歳以上、他3項目	棒	60 (項目値で変動)
2						
3						
4						
5						
6						
7						

表示設定

グラフ名: 年齢別男女別人口

レイヤ	要素項目【色・項目名・要素名】	タイプ	サイズ
町丁目	総数75歳以上	棒	バーの高さ 60 ピクセル <input checked="" type="checkbox"/> 要素項目値の範囲で変動 データ名 (最小値) 0 取得 (最大値) 2000 取得
属性ファイル	総数65歳以上		
年齢別男女別人口	総数15~64歳		
	総数15歳未満		
	未設定		

- ・レイヤ: グラフを表示するレイヤを選択します。
- ・属性ファイル: グラフで表示する属性ファイルを選択します。

- 要素項目【色・項目名・要素名】：
棒グラフ内の各要素を指定します。

要素項目【色・項目名・要素名】		
	総数75歳以上	総数75歳以上
	総数65歳以上	総数65歳以上
	総数15~64歳	総数15~64歳
	総数15歳未満	総数15歳未満
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	

- 色： 「使用可能色ウィンドウ」から選択します。
- 項目名： 各棒グラフの項目名を指定します。
この要素数分、棒グラフが横並びで作成されます。
- 要素名： 凡例に表示する要素名を指定します。
デフォルトは項目名。

- タイプ： グラフのタイプを選択します。
円／棒／積み上げ棒
- サイズ： グラフのサイズを指定します。
固定、要素項目値の範囲で変動からの選択となります。

固定

サイズ	
バーの高さ	<input type="text" value="60"/> ピクセル
<input type="checkbox"/>	要素項目値の範囲で変動
データ名	<input type="text"/>
(最小値)	<input type="text" value="0"/> <input type="button" value="取得"/>
(最大値)	<input type="text" value="2000"/> <input type="button" value="取得"/>

バーの高さは固定（指定要素の最大値がすべて同じ高さになる）となります。

バーの高さをピクセル値で指定します。
指定要素内の最大値がこのピクセル値となります。

要素項目値の範囲で変動

サイズ	
バーの高さ	<input type="text" value="100"/> ピクセル
<input checked="" type="checkbox"/>	要素項目値の範囲で変動
データ名	<input type="text"/>
(最小値)	<input type="text" value="0"/> <input type="button" value="取得"/>
(最大値)	<input type="text" value="2000"/> <input type="button" value="取得"/>

バーの高さ範囲を表す項目値（最小、最大）を指定します。

全指定要素内の最小、最大です。
左図の場合、値が0の時0ピクセル、
値が2000の時100ピクセル
となります。

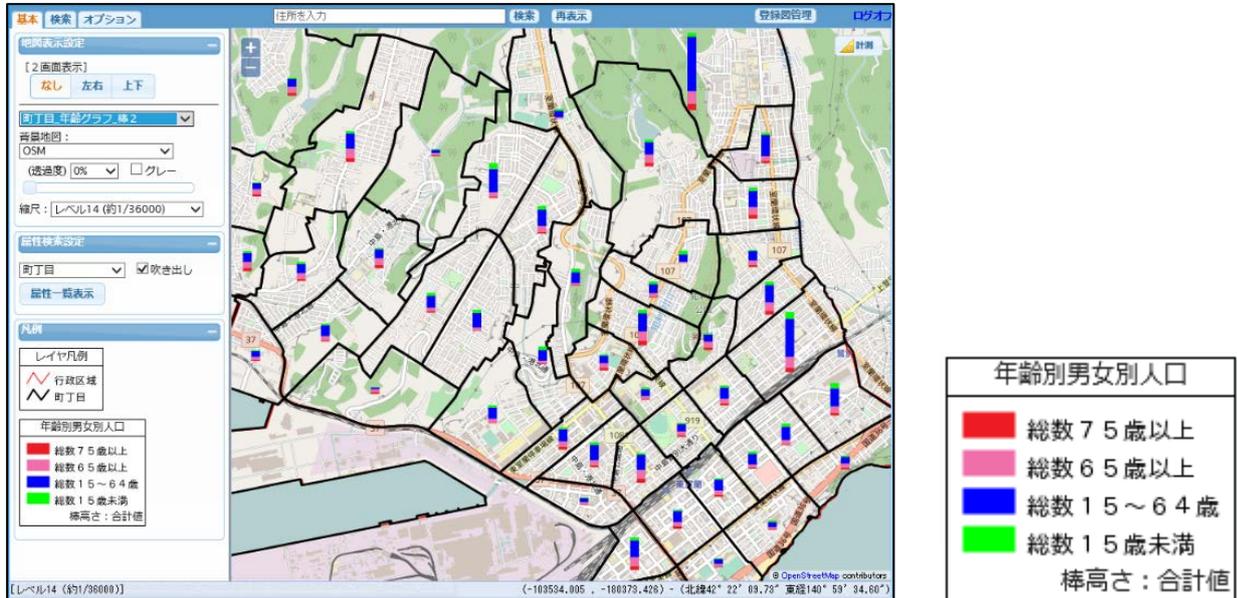
データ名：凡例に表示するタイトルを指定します。
取得ボタン：全指定要素の実際のデータから最小値、
最大値を取得します。

22-3 積み上げ棒グラフ

地物の属性によって、積み上げ棒グラフを作成します。

下図は、町丁目ごとに年齢別の人口割合を積み上げ棒グラフとして表示しています。

バーの高さは、要素合計値（人口総数）を表します。



設定は、「登録図面管理メニュー」の「グラフ表示」で行います。

登録図面管理メニュー

登録図面: 町丁目 年齢グラフ 棒2 仕様削除 町丁目 年齢グラフ 棒2 A 仕様登録 図面一覧の並び替え

設定: レイヤ ランク 属性表示 **その他設定** 属性制限 領域制限

グラフ表示設定メニュー

NO	名称	レイヤ	属性ファイル	要素項目数	タイプ	サイズ
1	年齢別男女別人口	町丁目	年齢別男女別人口	総数75歳以上、他3項目	積み上げ棒	40(合計値で変動)
2						
3						
4						
5						
6						
7						

表示設定

グラフ名: 年齢別男女別人口

レイヤ	要素項目【色・項目名・要素名】	タイプ	サイズ
町丁目	総数75歳以上	積み上げ棒	バーの高さ 40 ピクセル <input checked="" type="checkbox"/> 要素項目の合計値で変動 データ名: _____ (最大値) 2000 取得
	総数65歳以上		
	総数15～64歳		
	総数15歳未満		
	未設定		

- ・レイヤ: グラフを表示するレイヤを選択します。
- ・属性ファイル: グラフで表示する属性ファイルを選択します。

- 要素項目【色・項目名・要素名】：
棒グラフ内の各要素を指定します。

要素項目【色・項目名・要素名】		
	総数75歳以上	総数75歳以上
	総数65歳以上	総数65歳以上
	総数15~64歳	総数15~64歳
	総数15歳未満	総数15歳未満
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	

- 色： 「使用可能色ウィンドウ」から選択します。
- 項目名： 棒グラフ内の各要素の項目名を指定します。
この要素で、棒グラフが分割されます。
- 要素名： 凡例に表示する要素名を指定します。
デフォルトは項目名。

- タイプ： グラフのタイプを選択します。
円／棒／積み上げ棒
- サイズ： グラフのサイズを指定します。
固定、要素項目の合計値で変動からの選択となります。

固定

サイズ	
バーの高さ	<input type="text" value="40"/> ピクセル
<input type="checkbox"/>	要素項目の合計値で変動
データ名	<input type="text"/>
(最大値)	<input type="text" value="2000"/> <input type="button" value="取得"/>

バーの高さは固定（すべて同じ高さ）となります。

バーの高さをピクセル値で指定します。

要素項目の合計値で変動

サイズ	
バーの高さ	<input type="text" value="40"/> ピクセル
<input checked="" type="checkbox"/>	要素項目の合計値で変動
データ名	<input type="text"/>
(最大値)	<input type="text" value="2000"/> <input type="button" value="取得"/>

バーの高さを表す項目値（最大）を指定します。
全指定要素の合計値の最大です。

左図の場合、全指定要素の合計値が 2000 の時
40 ピクセル

となります。

データ名：凡例に表示するタイトルを指定します。

取得ボタン：全指定要素の実際のデータから最大値を
取得します。